# 神栖市国民健康保険 第2期データヘルス計画 第3期特定健康診査等実施計画

平成30年3月 神栖市



# -目次-

第1章	神栖市国民健康保険の概況	
	1. 計画策定の背景	5
	2. 神栖市の特性把握	6
	(1)基本情報	6
	(2)医療費等の状況	8
	(3)特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	9
	(4)介護保険の状況	13
	(5)主たる死因の状況	17
	(6)死亡数及び標準化死亡比	19
	3. 医療情報分析結果	20
	(1)基礎統計	20
	(2)高額レセプトの件数及び医療費	22
	(3)疾病別医療費	28
第2章	第2期データヘルス計画	
	1. 計画策定について	49
	(1)基本方針	49
	(2)データヘルス計画の位置づけ	50
	(3)計画期間	51
	2. 過去の取り組みの振り返りと評価	51
	3. 保健事業実施に係る分析結果	59
	(1)健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	59
	(2)特定保健指導に係る分析	60
	(3) 健診異常値放置者に係る分析	61
	(4)生活習慣病治療中断者に係る分析	63
	(5)糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	65
	(6)受診行動適正化に係る分析	69
	(7)ジェネリック医薬品普及率に係る分析	72
	(8)薬剤併用禁忌に係る分析	75
	(9)服薬情報に係る分析	77
	4. 分析結果に基づく健康課題の把握	79
	(1)分析結果	79
	(2)分析結果に基づく課題とその対策	85
	5. 保健事業実施計画	87
	(1)各事業の目的と概要一覧	87
	(2) 全体スケジュール	91
	(3)各事業の実施内容と評価方法	92
	6. その他	104
	(1)データヘルス計画の見直し	104
	(2)計画の公表・周知	104
	(3)本計画の位置付け	105

## -目次-

	n //	
	(4)事業運営上の留意事項	107
	(5)個人情報の保護	108
参考資	料 中学校区における医療費	
	1.上位3疾病のレセプト件数の多い上位3医療機関	111
	2. 中分類上位5疾病	121
	3. 大分類による疾病別医療費統計	130
	4. 中分類による疾病別医療費統計	139
第3章	第3期特定健康診査等実施計画	
	1. 第3期特定健康診査等実施計画の概要	149
	(1)趣旨	149
	(2)計画の内容	149
	(3)計画の位置付け	149
	(4)計画の期間	149
	(5)計画の策定体制	149
	2. 第2期特定健康診査等実施計画の評価	150
	(1)特定健康診査の取り組み及び健診データの評価について	150
	(2)特定保健指導の取り組み及び健診データの評価について	152
	(3)メタボリックシンドローム該当・予備群減少率のデータ評価について	155
	3. 特定健康診査の実施方法に関する基本的な事項	156
	(1)神栖市国民健康保険の目標値	156
	(2)特定健康診査の実施方法	156
	(3)特定保健指導の実施方法	158
	4. 特定健康診査等の達成目標と取り組み	159
	(1)特定健康診査等の実施に係る目標	159
	(2)受診率等の向上対策	160
	5. 個人情報の保護	161
	6. 特定健康診査等実施計画の公表・周知	161
	7. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し	161
補足資	타	
	1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
	2. 用語解説集	
	3. 疾病分類表	

# 第1章 神栖市国民健康保険の概況

## 1. 計画策定の背景

我が国は、国民皆保険制度のもと、誰もが安心して医療を受けることができる医療制度を実現し、世界最長レベルの平均寿命や高い保健医療水準を達成してきた。その一方で生活習慣病などの増加による医療費の増大、急速な少子高齢化や国民生活の様々な環境が変化してきており、医療制度を将来にわたり持続可能なものにするためには、生活の質の維持向上を確保しつつ、医療費の増大を防いでいく体制が必要となっている。

このような中、平成20年度から、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施が医療保険者に義務化され、神栖市国民健康保険においても、平成20年3月に「第1期特定健康診査等実施計画」を策定、続いて平成25年3月に「第2期特定健康診査等実施計画」を策定し、生活習慣病有病者・予備群への早期介入を図るとともに、重症化予防に取り組んできた。

また、近年になり、特定健康診査の実施や診療報酬明細書(レセプト)の電子化の進展、国保データベース(KDB)システム等の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を活用できる基盤整備が進み、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)において、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として、データヘルス計画の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされたことから、平成27年3月に「第1期データヘルス計画」を策定し、国民健康保険の保険者として保健事業の推進に取り組んできた。

このように、本市においては、特定健康診査等実施計画とデータへルス計画の二つの計画を両輪として保健事業を実施してきたが、現行の計画がともに平成29年度をもって終了することから、平成30年度から平成35年度までの新たな計画を策定し、平成30年度以降の特定健康診査や効果的かつ効率的な保健事業の実施に向けた新たな取組手法、目標を設定することにより、被保険者の健康の更なる保持増進を図るとともに、医療費の適正化を図るものである。

## 2. 神栖市の特性把握

## (1)基本情報

本市の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は17.2%であり、県との比較で0.8倍、同規模との比較で0.7倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は27,020人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は29.6%である。国民健康保険被保険者平均年齢は48.4歳である。

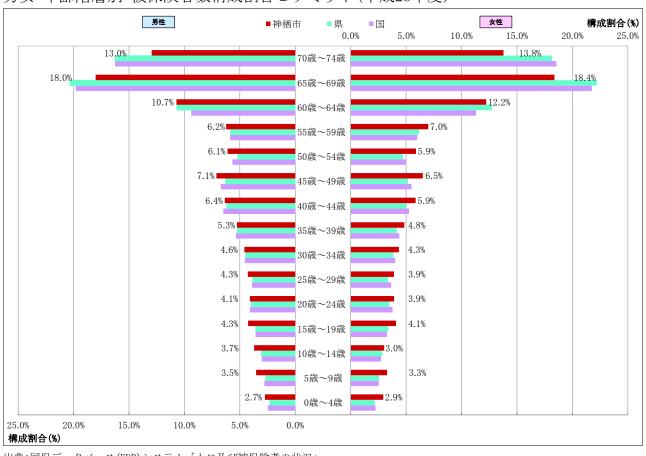
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
神栖市	91,321	17.2%	27,020	29.6%	48.4	10.6%	8.5%
県	2,914,135	22.8%	799,191	27.4%	51.1	8.2%	9.8%
同規模	68,973	24.1%	16,980	24.7%	52.8	8.4%	10.1%
国	124,852,975	23.2%	32,587,866	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は茨城県を指す。以下すべての表において同様である。

出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「人口及び被保険者の状況」

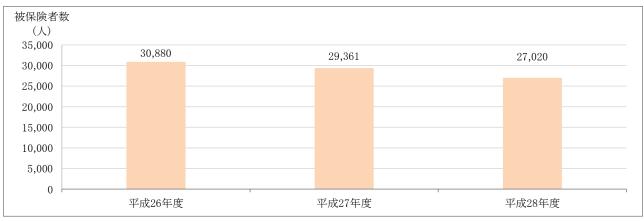
本市の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成28年度 を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数27,020人は平成26年度30,880人より 3,860人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢48.4歳は平成26年度46.5歳より1.9 歳上昇している。

年度別 人口構成概要

区分	Ì	人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
	平成26 年度	91,321	17.2%	30,880	33.8%	46.5	10.6%	8.5%
神栖市	平成27 年度	91,321	17.2%	29,361	32.2%	47.2	10.6%	8.5%
	平成28 年度	91,321	17.2%	27,020	29.6%	48.4	10.6%	8.5%
	平成26 年度	2,914,135	22.8%	878,261	30.1%	49.8	8.2%	9.8%
県	平成27 年度	2,914,135	22.8%	845,824	29.0%	50.4	8.2%	9.8%
	平成28 年度	2,914,135	22.8%	799,191	27.4%	51.1	8.2%	9.8%
	平成26 年度	68,299	24.2%	18,546	27.1%	51.7	8.3%	10.1%
同規模	平成27 年度	68,241	24.2%	17,773	26.1%	52.2	8.4%	10.1%
	平成28 年度	68,973	24.1%	16,980	24.7%	52.8	8.4%	10.1%
	平成26 年度	124,852,975	23.2%	32,318,324	28.8%	50.3	8.6%	9.6%
玉	平成27 年度	124,852,975	23.2%	33,767,446	28.2%	50.4	8.6%	9.6%
	平成28 年度	124,852,975	23.2%	32,587,866	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

#### 年度別 被保険者数



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## (2)医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。千人当たりの病院数は、同規模・国を下回っている。受診率は県・同規模・国を下回っている。医療費は、外来の割合が同規模・国より高い状況である。

## 医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	神栖市国保	県	同規模	玉
千人当たり				
病院数	0.2	0.2	0.3	0.3
診療所数	1.3	2.2	2.8	3.0
病床数	37.5	40.2	50.3	46.8
医師数	3.0	6.5	7.5	9.2
外来患者数	546.6	629.2	688.2	668.1
入院患者数	15.1	16.3	19.8	18.2
受診率	561.8	645.5	708.0	686.3
一件当たり医療費(円)	36,120	34,810	36,130	35,330
一般(円)	36,070	34,730	36,080	35,270
退職(円)	38,260	37,640	37,660	37,860
外来				
外来費用の割合	61.3%	62.2%	59.3%	60.1%
外来受診率	546.6	629.2	688.2	668.1
一件当たり医療費(円	3) 22,740	22,210	22,060	21,820
一人当たり医療費(円	12,430	13,980	15,180	14,580
一日当たり医療費(円	15,750	14,940	14,130	13,910
一件当たり受診回数	1.4	1.5	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	38.7%	37.8%	40.7%	39.9%
入院率	15.1	16.3	19.8	18.2
一件当たり医療費(円	519,840	521,880	524,900	531,780
一人当たり医療費(円	7,860	8,490	10,400	9,670
一日当たり医療費(円	38,320	34,550	32,470	34,030
一件当たり在院日数	13.6	15.1	16.2	15.6

## (3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

#### ①特定健康診查

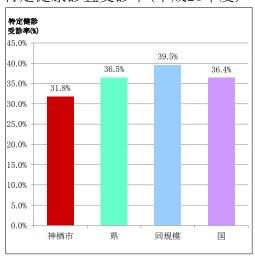
本市の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。受診率は、県・同規模・国を下回っている。

#### 特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
神栖市	31.8%
県	36.5%
同規模	39.5%
国	36.4%

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

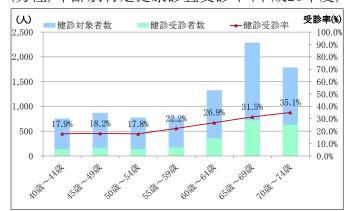
#### 特定健康診査受診率(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

男女別・年齢階層別特定健康診査受診率をみると、男女ともに年代が高いほど受診率が高い傾向がある。

## (男性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



#### (女性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

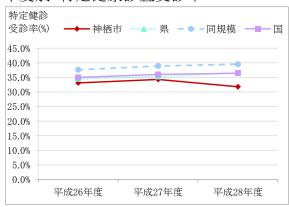
本市の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度 別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率31.8%は平成26年度33.1%より1.3ポイント低 下している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率						
	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度				
神栖市	33.1%	34.3%	31.8%				
県	34.5%	35.3%	36.5%				
同規模	37.6%	38.9%	39.5%				
国	35.0%	36.0%	36.4%				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

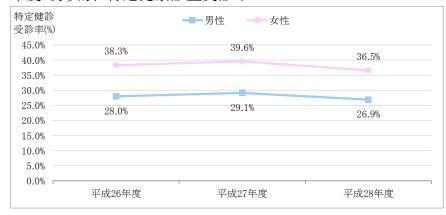
年度別 特定健康診査受診率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率26.9%は平成26年度28.0%より1.1ポイント低下し、女性の平成28年度受診率36.5%は平成26年度38.3%より1.8ポイント低下している。

年度·男女別 特定健康診査受診率



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題 |

## ②特定保健指導

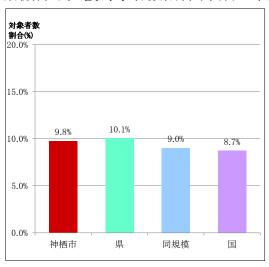
本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。支援対象者割合は 県・同規模・国より高く、特定保健指導の実施率は県・同規模・国より高い状況である。

#### 特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援 対象者数割合 対象者数割合 対象者数割合		支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
神栖市	9.8%	5.1%	14.9%	34.3%
県	10.1%	4.0%	14.0%	28.8%
同規模	9.0%	2.9%	11.9%	30.2%
玉	8.7%	3.2%	12.0%	21.1%

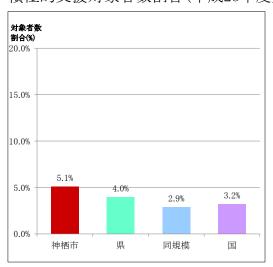
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。 出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



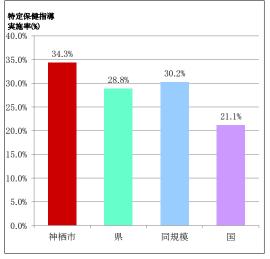
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

## 積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

## 特定保健指導実施率(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

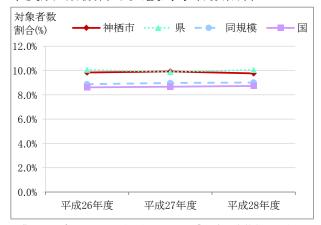
本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。 平成28年度の特定保健指導実施率34.3%は平成26年度30.9%より3.4ポイント上昇している。

年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援 対象者数割合		積極的支援 対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導患施率			
	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度
神栖市	9.8%	9.9%	9.8%	6.4%	5.8%	5.1%	16.2%	15.7%	14.9%	30.9%	35.3%	34.3%
県	10.1%	9.9%	10.1%	4.3%	4.1%	4.0%	14.4%	14.0%	14.0%	26.7%	26.3%	28.8%
同規模	8.9%	9.0%	9.0%	3.2%	3.0%	2.9%	12.1%	12.0%	11.9%	26.7%	28.3%	30.2%
玉	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	12.0%	19.9%	20.2%	21.1%

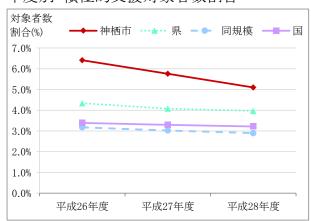
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。 出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

#### 年度別 動機付け支援対象者数割合



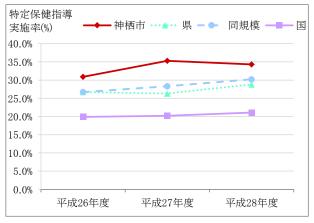
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 特定保健指導実施率



## (4)介護保険の状況

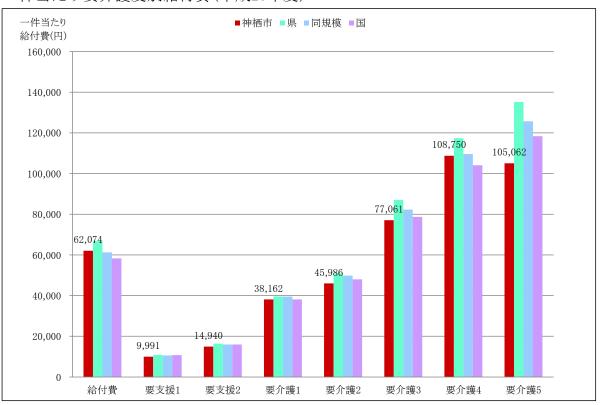
本市の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。本市の介護保険 認定率は、同規模・国より低いが、給付費は、全体では同規模・国より高い状況である。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	神栖市	県	同規模	国
認定率	18.3%	18.1%	20.2%	21.2%
認定者数(人)	3,041	125,310	913,855	6,037,083
第1号(65歳以上)	2,928	121,496	891,869	5,885,270
第2号(40~64歳)	113	3,814	21,986	151,813
一件当たり給付費(円)				
給付費	62,074	66,869	61,245	58,284
要支援1	9,991	10,844	10,581	10,735
要支援2	14,940	16,404	15,951	15,996
要介護1	38,162	39,596	39,503	38,163
要介護2	45,986	50,902	49,853	48,013
要介護3	77,061	86,980	82,314	78,693
要介護4	108,750	117,389	109,614	104,104
要介護5	105,062	135,198	125,728	118,361

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

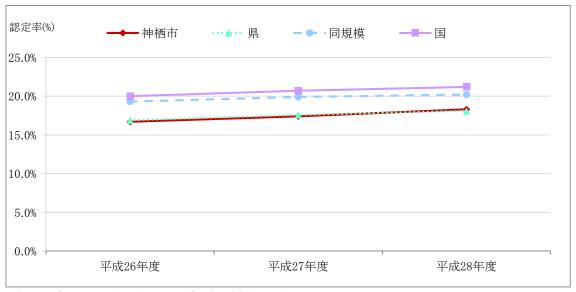
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率18.3%は平成26年度16.7%より1.6ポイント上昇しており、平成28年度の認定者数3,041人は平成26年度2,785人より256人増加している。

年度別 認定率及び認定者数

				認定者数(人)	
×	公分	認定率		第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳~64歳)
	平成26年度	16.7%	2,785	2,668	117
神栖市	平成27年度	17.4%	2,918	2,798	120
	平成28年度	18.3%	3,041	2,928	113
	平成26年度	16.9%	118,329	114,417	3,912
県	平成27年度	17.6%	122,073	118,207	3,866
	平成28年度	18.1%	125,310	121,496	3,814
	平成26年度	19.3%	883,689	860,333	23,356
同規模	平成27年度	19.9%	908,391	885,519	22,872
	平成28年度	20.2%	913,855	891,869	21,986
	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
国	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,037,083	5,885,270	151,813

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 認定率



本市の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると8,863人となり、認定者は平均2.9疾病を有していることがわかる。

認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を

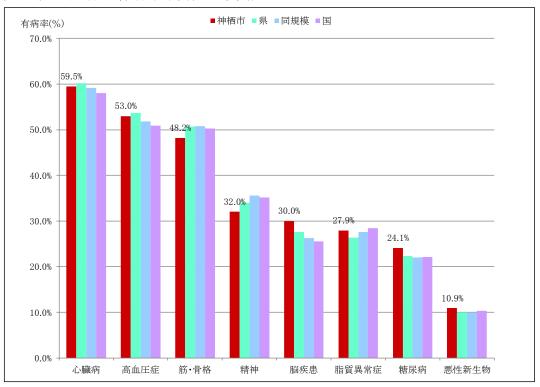
網掛け

表示する。

	区分	神栖市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)		3,041		125,310		913,701		6,034,085	
心臓病	実人数(人)	1,828	1	75,828	1	545,522	1	3,511,354	1
	有病率	59.4%		60.1%	1	59.1%		57.5%	
高血圧症	実人数(人)	1,625	2	67,726	2	478,594	2	3,085,109	2
	有病率	52.9%		53.6%		51.8%		50.5%	
筋·骨格	実人数(人)	1,473	3	64,130	3	468,953	3	3,051,816	3
	有病率	48.1%		50.6%		50.8%		49.9%	
精神	実人数(人)	1,009	4	43,367	4	330,813	4	2,141,880	4
	有病率	32.0%		33.9%	_	35.6%		34.9%	
脳疾患	実人数(人)	923	5	34,575	5	239,267	6	1,530,506	6
	有病率	30.0%		27.6%		26.2%		25.3%	
脂質異常症	実人数(人)	881	6	33,503	6	255,994	5	1,733,323	
	有病率	27.9%		26.2%	О	27.6%		28.2%	5
糖尿病	実人数(人)	767	7	28,273	7	203,607	7	1,343,240	7
	有病率	24.1%		22.2%		21.9%		21.9%	
悪性新生物	実人数(人)	343	8	12,754	8	92,924	8	629,053	- 8
	有病率	10.9%		10.0%	Ŏ	10.0%		10.1%	
合計	実人数(人)	8,849		360,156		2,615,674		17,026,281	
	有病数	2.9		2.9		2.9		2.8	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

#### 認定者の疾病別有病率(平成28年度)



本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数2.9疾病は平成26年度から横ばいである。

年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

F.				神栖	市				県			同規模		国		
区3	T)	平成26 年度	平成26 年度 順位 平成27 年度 順位 平度		平成28 年度	順位	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	
認定者	数(人)	2,785		2,918		3,041		118,329	122,073	125,310	883,689	908,391	913,855	5,324,880	5,751,982	6,037,083
心臓病	実人数(人)	1,679	1	1,759	1	1,832	1	71,637	74,328	76,051	491,660	534,422	546,239	2,914,608	3,261,576	3,529,682
	有病率(%)	59.7%	1	59.9%	1	59.5%	1	60.2%	60.4%	60.2%	54.3%	58.2%	59.2%	54.8%	56.7%	58.0%
高血圧症	実人数(人)	1,495	2	1,566	2	1,628	2	63,832	66,288	67,924	429,786	468,849	479,210	2,551,660	2,865,466	3,101,200
	有病率(%)	52.5%		53.1%		53.0%	-	53.5%	53.9%	53.7%	47.3%	50.9%	51.8%	47.9%	49.7%	50.9%
筋·骨格	実人数(人)	1,335	3	1,420	3	1,475	3	59,387	62,167	64,311	420,178	457,630	469,492	2,505,146	2,813,795	3,067,196
	有病率(%)	47.3%	٠	47.9%	٠	48.2%	٠	49.9%	50.4%	50.7%	46.3%	49.8%	50.8%	47.1%	48.9%	50.3%
精神	実人数(人)	906	4	958	4	1,011	4	39,795	41,764	43,508	288,192	318,349	331,335	1,720,172	1,963,213	2,154,214
	有病率(%)	32.9%		32.4%	*	32.0%	*	33.4%	33.8%	34.0%	31.6%	34.4%	35.6%	32.2%	33.8%	35.2%
脳疾患	実人数(人)	853	5	912	5	923	5	33,934	34,505	34,670	223,901	239,223	239,587	1,324,669	1,455,985	1,538,683
	有病率(%)	31.1%	J	30.7%	3	30.0%	J	28.8%	28.3%	27.6%	25.0%	26.2%	26.2%	25.2%	25.4%	25.5%
脂質異常症	実人数(人)	797	6	818	6	882	6	30,322	31,857	33,615	224,805	249,089	256,268	1,386,541	1,586,963	1,741,866
	有病率(%)	27.2%	0	27.7%	· ·	27.9%	<u> </u>	25.0%	25.8%	26.3%	24.5%	26.8%	27.6%	25.7%	27.3%	28.4%
糖尿病	実人数(人)	674	7	734	7	768	7	26,068	27,404	28,379	180,064	198,628	203,882	1,089,285	1,241,024	1,350,152
	有病率(%)	24.5%	<b>'</b>	24.6%	_ ′	24.1%	<b>'</b>	21.9%	22.1%	22.3%	19.7%	21.5%	22.0%	20.3%	21.4%	22.1%
悪性新生物	実人数(人)	267	8	312	8	344	8	11,498	12,103	12,783	80,701	89,488	93,015	493,808	569,967	631,950
	有病率(%)	10.0%	0	10.5%	0	10.9%	0	9.5%	9.8%	10.0%	8.8%	9.7%	10.0%	9.2%	9.8%	10.3%
合計	実人数(人)	8,006	$\Box$	8,479		8,863		336,473	350,416	361,241	2,339,287	2,555,678	2,619,028	13,985,889	15,757,989	17,114,943
	有病数	2.9	$\angle$	2.9	$\angle$	2.9	$\angle$	2.8	2.9	2.9	2.6	2.8	2.9	2.6	2.7	2.8

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 年度別 認定者の疾病別有病率



## (5)主たる死因の状況

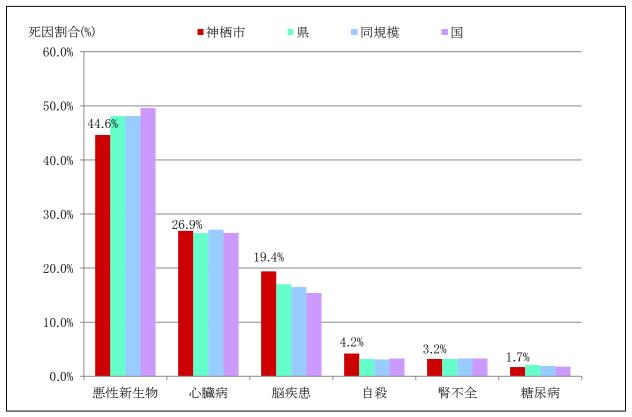
本市の平成28年度における主たる死因の状況を以下に示す。心臓病が県・国より高く、 脳疾患と自殺は県・同規模・国より高い状況である。

主たる死因の状況(平成28年度)

	神和	市			
疾病項目	人数(人)	割合(%)	県	同規模	国
悪性新生物	234	44.6%	48.1%	48.1%	49.6%
心臓病	141	26.9%	26.5%	27.1%	26.5%
脳疾患	102	19.4%	17.0%	16.5%	15.4%
自殺	22	4.2%	3.2%	3.1%	3.3%
腎不全	17	3.2%	3.2%	3.3%	3.3%
糖尿病	9	1.7%	2.1%	1.9%	1.8%
合計	525				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 主たる死因の割合(平成28年度)



本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数234人は平成26年度243人より9人減少しており、心臓病を死因とする人数141人は平成26年度110人より31人増加している。また、脳疾患を死因とする人数102人は平成26年度109人より7人減少している。

年度別 主たる死因の状況

		神栖市													
在中在日		人数(人)		四巾	割合(%)			県			同規模		国		
疾病項目	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度												
悪性新生物	243	242	234	48.7%	48.5%	44.6%	45.8%	46.8%	48.1%	46.7%	47.5%	48.1%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	110	112	141	22.0%	22.4%	26.9%	27.4%	26.4%	26.5%	27.2%	27.1%	27.1%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	109	93	102	21.8%	18.6%	19.4%	17.8%	18.1%	17.0%	17.2%	16.7%	16.5%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	14	21	22	2.8%	4.2%	4.2%	3.4%	3.4%	3.2%	3.4%	3.4%	3.1%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	13	22	17	2.6%	4.4%	3.2%	3.3%	3.1%	3.2%	3.5%	3.4%	3.3%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	10	9	9	2.0%	1.8%	1.7%	2.3%	2.1%	2.1%	2.0%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	499	499	525												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

#### 年度別 主たる死因の割合



#### (6) 死亡数及び標準化死亡比

2010年から2014年の本市の標準化死亡比を以下に示す。男女とも心疾患と脳血管疾患の死亡率が高い状況である。

男性の死亡数及び標準化死亡比(2010年~2014年)

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物	悪性新生物の	悪性新生物 肝及び肝内胆管の	肺の悪性新生物気管、気管支及び	糖尿病	(高血圧性を除く)	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	腎不全
標準化死亡比※1	1. 21	1. 19	1. 43	1. 19	1. 52	1. 20	0.93	1. 24	1.88	1. 61	1.50	1. 22	1. 90	1. 35
死亡数	2190	731	132	88	90	174	20	310	123	251	24	65	157	40
期待死亡数※2	1807. 5	616. 2	92. 3	73. 9	59. 2	145. 4	21.6	249. 5	65. 3	156. 2	16.0	53. 5	82.8	29. 6
期待死亡数との差	382. 5	114.8	39. 7	14. 1	30.8	28. 6	-1.6	60. 5	57. 7	94.8	8.0	11.5	74. 2	10.4
全国に比べて 有意に高い※3	0	0	0		0	0		0	0	0			0	
全国に比べて 有意に低い※4														

#### 女性の死亡数及び標準化死亡比(2010年~2014年)

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物	悪性新生物の	悪性新生物肝及び肝内胆管の	肺の悪性新生物気管、気管支及び	乳房の悪性新生物	子宮の悪性新生物	糖尿病	(高血圧性を除く)	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	腎不全
標準化死亡比※1	1. 17	1. 11	1. 30	1.07	1. 25	0.96	0.88	1. 25	1. 29	1. 20	1. 49	1. 91	1. 43	1. 34	2. 34	1. 26
死亡数	1792	446	59	62	35	52	35	23	22	308	69	298	32	52	212	40
期待死亡数※2	1529. 1	400.3	45. 3	57. 7	28.0	54. 1	39. 6	18. 5	17. 1	257. 2	46. 3	155. 7	22. 4	38. 7	90. 5	31.8
期待死亡数との差	262. 9	45. 7	13. 7	4. 3	7. 0	-2. 1	-4.6	4. 5	4. 9	50.8	22. 7	142. 3	9. 6	13. 3	121. 5	8. 2
全国に比べて 有意に高い※3	0	0								0	0	0			0	
全国に比べて 有意に低い※4																

出典: 茨城県立健康プラザ「平成29年茨城県市町村別健康指標」

- ※1 標準化死亡比…標準とする集団(全国)に比べ、どのくらい高いかを示す比率。全国を1とし、その比が1より大きい場合は 全国平均よりも死亡率が高く、1より小さい場合は全国平均よりも死亡率が低いことを意味する。
- ※2 期待死亡数…公衆衛生学上の専門用語で、全国と同じ死亡率なら何人死亡するはずか以下の計算式で求めたもの。 (期待死亡数) = (年齢階層別全国死亡率) × (年齢階層別市町村の人口) の総和
- ※3、4 有意に…統計学上、偶然ではない(何らかの原因が存在する)可能性が高いと推測されるという意味。

# 3. 医療情報分析結果

## (1) 基礎統計

当医療費統計は、神栖市国民健康保険における、平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均28,329人、レセプト件数は平均25,695件、患者数は平均12,178人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均47,479円となった。

#### 基礎統計

			平成28年3月	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月
А	被保険者数(人)		29,346	29,478	28,815	28,580	28,428	28,396	28,360
		入院外	16,820	15,601	15,196	15,568	15,654	15,013	15,069
В	レセプト件数(件)	入院	482	461	441	445	421	441	428
Ь	レビノド汗剱(汗)	調剤	10,707	9,983	9,633	9,664	9,895	9,426	9,392
		合計	28,009	26,045	25,270	25,677	25,970	24,880	24,889
С	医療費(円) ※		641,681,520	585,049,130	559,271,550	594,696,690	568,016,350	581,073,670	577,026,270
D	患者数(人) ※		13,166	12,330	12,034	12,189	12,227	11,861	11,875
C/A	被保険者一人当然 平均医療費(円)	<u>-</u> りの	21,866	19,847	19,409	20,808	19,981	20,463	20,346
C/B	レセプトー件当たり 平均医療費(円)	)の	22,910	22,463	22,132	23,161	21,872	23,355	23,184
C/D	患者一人当たりの 平均医療費(円)		48,738	47,449	46,474	48,790	46,456	48,990	48,592
В/А	受診率(%)		95.4%	88.4%	87.7%	89.8%	91.4%	87.6%	87.8%
D/A	有病率(%)		44.9%	41.8%	41.8%	42.6%	43.0%	41.8%	41.9%

			平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	12カ月平均	12カ月合計
А	被保険者数(人)		28,278	27,875	27,674	27,522	27,191	28,329	
		入院外	15,935	15,280	15,745	15,255	14,842	15,498	185,978
В	レセプト件数(件)	入院	444	420	391	381	419	431	5,174
D	レビノド件数(件)	調剤	10,034	9,631	10,011	9,572	9,240	9,766	117,188
		合計	26,413	25,331	26,147	25,208	24,501	25,695	308,340
С	医療費(円) ※		587,951,480	567,883,130	571,392,940	554,393,710	550,028,510	578,205,413	6,938,464,950
D	患者数(人) ※		12,418	11,954	12,306	12,058	11,719	12,178	146,137
C/A	被保険者一人当然 平均医療費(円)	<b>こ</b> りの	20,792	20,372	20,647	20,144	20,228	20,411	
C/B	レセプトー件当たり 平均医療費(円)	)の	22,260	22,419	21,853	21,993	22,449	22,503	
C/D	患者一人当たりの 平均医療費(円)		47,347	47,506	46,432	45,977	46,935	47,479	
В/А	受診率(%)		93.4%	90.9%	94.5%	91.6%	90.1%	90.7%	
D/A	有病率(%)		43.9%	42.9%	44.5%	43.8%	43.1%	43.0%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

<sup>※</sup>医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

<sup>※</sup>患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数28,329人は、平成26年度28,645人より316人減少しており、医療費69億3,846万円は平成26年度69億9,264万円より5,418万円減少している。また、一カ月平均の患者数12,178人は、平成26年度13,090人より912人減少している。

#### 年度別 基礎統計

			平成26年度	平成27年度	平成28年度
А	一カ月平均の被保険者	数(人)	28,645	30,232	28,329
		入院外	198,444	196,172	185,978
В	レセプト件数(件)	入院	5,387	5,154	5,174
D	レビノ下件数(件)	調剤	117,829	120,196	117,188
		合計	321,660	321,522	308,340
С	医療費(円) ※		6,992,638,620	7,241,697,080	6,938,464,950
D	一カ月平均の患者数(丿	() *	13,090	12,842	12,178
C/A	被保険者一人当たりの 平均医療費(円)		20,343	19,961	20,411
C/B	レセプトー件当たりの 平均医療費(円)		21,739	22,523	22,503
D/A	有病率(%)		45.7%	42.5%	43.0%

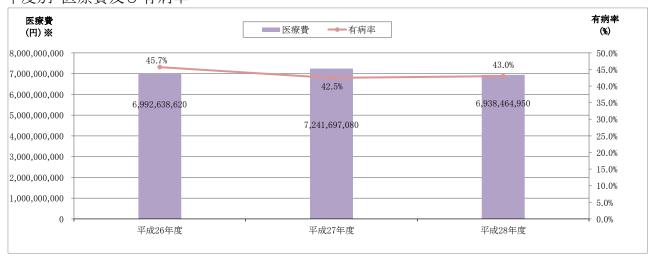
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

#### 年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

## (2)高額レセプトの件数及び医療費

#### ①高額レセプトの件数及び割合

平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは2,079件発生しており、レセプト件数全体の0.7%を占める。高額レセプトの医療費は21億8,854万円となり、医療費全体の31.5%を占める。

#### 高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年3月	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月
А	レセプト件数(件)	28,009	26,045	25,270	25,677	25,970	24,880	24,889
В	高額レセプト件数(件)	192	179	155	193	164	190	174
В/А	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.7%	0.6%	0.8%	0.6%	0.8%	0.7%
С	医療費(円) ※	641,681,520	585,049,130	559,271,550	594,696,690	568,016,350	581,073,670	577,026,270
D	高額レセプトの医療費(円) ※	205,705,780	176,749,380	170,173,220	201,119,780	171,834,100	194,629,690	186,801,720
Е	その他レセプトの医療費(円) ※	435,975,740	408,299,750	389,098,330	393,576,910	396,182,250	386,443,980	390,224,550
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	32.1%	30.2%	30.4%	33.8%	30.3%	33.5%	32.4%
								-
		平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	12カ月平均	12カ月合計
А	レセプト件数(件)	26,413	25,331	26,147	25,208	24,501	25,695	308,340
В	高額レセプト件数(件)	176	165	152	168	171	173	2,079
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	
С	医療費(円) ※	587,951,480	567,883,130	571,392,940	554,393,710	550,028,510	578,205,413	6,938,464,950
D	高額レセプトの医療費(円) ※	181,850,130	177,741,930	173,782,420	171,650,440	176,499,250	182,378,153	2,188,537,840

406,101,350

30.9%

397,610,520

30.4%

382,743,270

31.0%

373,529,260

32.1%

395,827,259

31.5%

4,749,927,110

390,141,200

31.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

その他レセプトの医療費(円) ※

D/C 総医療費に占める高額レセプトの割合(%)

Ε

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数2,079件は平成26年度2,033件より46件増加しており、平成28年度高額レセプトの医療費21億8,854万円は平成26年度19億9,262万円より1億9,592万円増加している。

#### 年度別 高額レセプトの件数及び医療費

			平成26年度	平成27年度	平成28年度
А	レも	アプト件数(件)	321,660	321,522	308,340
В	高額	額レセプト件数(件)	2,033	2,166	2,079
B/A	総Ⅰ	レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.7%	0.7%
С	医排	療費(円) ※	6,992,638,620	7,241,697,080	6,938,464,950
D		高額レセプトの医療費(円) ※	1,992,615,710	2,255,343,330	2,188,537,840
Е		その他レセプトの医療費(円) ※	5,000,022,910	4,986,353,750	4,749,927,110
D/C	総[	医療費に占める高額レセプトの割合(%)	28.5%	31.1%	31.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

#### 年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

## ②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「白血病」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」「自律神経系の障害」等となった。

#### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

			T					
順位	中分類	中分類名	主要傷病名 ※	患者数 (人)		医療費(円) ※		患者一人当たり
POR 132	1 27 794	1 33 394-1	(上位3疾病まで記載)	*	入院	入院外	合計	医療費(円) ※
1	0209	白血病	慢性骨髄性白血病, 急性前骨髄球性白血病, 急性 リンパ性白血病	9	61,621,250	20,409,500	82,030,750	9,114,52
2	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症 候群	脳性麻痺,片麻痺	2	14,875,340	2,000	14,877,340	7,438,67
3	0605	自律神経系の障害	多系統萎縮症	1	6,954,750	0	6,954,750	6,954,7
4	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, マントル細胞 リンパ腫, 濾胞性リンパ腫	7	35,412,550	8,267,220	43,679,770	6,239,9
5	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎前性腎不全	27	62,493,740	86,315,520	148,809,260	5,511,4
6	0507	その他の精神及び行動の障害	レット症候群、器質性精神病	2	10,964,820	0	10,964,820	5,482,4
7	0106	その他のウイルス性疾患	HIV感染症,後天性免疫不全症候群,サイトメガロウイルス感染症	8	27,373,080	15,667,310	43,040,390	5,380,0
8	0905	脳内出血	脳出血,被殼出血,脳皮質下出血	6	28,994,340	826,910	29,821,250	4,970,2
9	1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症,脊柱側弯症,腰椎分離症	3	13,193,340	1,283,840	14,477,180	4,825,7
10	1109	肝硬変(アルコール性のものを除 く)	肝硬変症,肝硬変に伴う食道静脈瘤	2	9,078,880	548,550	9,627,430	4,813,7
11	0109	その他の感染症及び寄生虫症	敗血症, 敗血症性ショック, MRSA敗血症	9	40,251,670	1,448,710	41,700,380	4,633,3
12	1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝硬変,慢性アルコール性肝障害	2	8,430,380	383,410	8,813,790	4,406,8
13	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型肝硬変	41	7,247,720	167,569,620	174,817,340	4,263,8
14	0301	貧血	貧血, 自己免疫性溶血性貧血	3	12,153,000	537,380	12,690,380	4,230,1
15	0904	くも膜下出血	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血、くも膜下出血	6	24,662,110	637,120	25,299,230	4,216,5
16	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	下肢皮膚潰瘍,皮膚潰瘍,褥瘡	6	22,261,250	2,869,330	25,130,580	4,188,4
17	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌,直腸S状部結腸癌	19	51,274,710	27,165,170	78,439,880	4,128,4
18	1011	その他の呼吸器系の疾患	自然気胸, 誤嚥性肺炎, 間質性肺炎	8	30,229,960	2,356,910	32,586,870	4,073,3
19	0606	その他の神経系の疾患	水頭症,細菌性髄膜炎,ギラン・バレー症候群	15	53,767,900	5,529,080	59,296,980	3,953,1
20	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物 <腫瘍>	肺癌, 上葉肺癌, 下葉肺癌	31	59,228,540	55,326,650	114,555,190	3,695,3

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

## 年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位		疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	患者一人当たり の医療費(円) ※
平成26年度	1	0904	くも膜下出血	くも膜下出血,前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	3	6,877,800
	2	0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	小児麻痺後遺症	1	6,794,450
	3	0209	白血病	急性骨髄性白血病,慢性骨髄性白血病,急性リンパ性白血病	13	6,662,578
	4	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	41	5,130,821
	5	0107	真菌症	肺アスペルギルス症、侵襲性肺アスペルギルス症	2	4,669,605
平成27年度	1	0209	白血病	急性骨髄性白血病,慢性骨髄性白血病,急性リンパ性白血病	13	10,118,436
	2	0208	悪性リンパ腫	ALK陽性未分化大細胞リンパ腫,悪性リンパ腫,中枢神経系原発びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	4	8,445,645
	3	0904	くも膜下出血	くも膜下出血	2	6,523,700
	4	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	36	5,210,273
	5	0507	その他の精神及び行動の障害	器質性精神病、レット症候群	3	4,667,433
平成28年度	1	0209	白血病	慢性骨髄性白血病,急性前骨髄球性白血病,急性リンパ性白血病	9	9,114,528
	2	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 片麻痺	2	7,438,670
	3	0605	自律神経系の障害	多系統萎縮症	1	6,954,750
	4	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫,マントル細胞リンパ腫,濾胞性リンパ腫	7	6,239,967
	5	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎前性腎不全	27	5,511,454

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

#### 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

- ※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。
- ※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。
- ※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「虚血性心疾患」「その他の心疾患」である。

#### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

入院 174,137,150	入院外 131,594,320	合計	医療費(円) ※
	131,594,320		
		305,731,470	3,397,016
143,268,860	37,777,340	181,046,200	2,382,187
114,986,610	26,656,820	141,643,430	2,623,026
84,054,800	13,157,340	97,212,140	1,800,225
108,045,450	11,178,300	119,223,750	2,384,475
7,247,720	167,569,620	174,817,340	4,263,838
40,724,470	14,594,870	55,319,340	1,728,729
72,753,690	16,465,530	89,219,220	2,878,039
59,228,540	55,326,650	114,555,190	3,695,329
58,072,410	11,337,760	69,410,170	2,313,672
33,403,030	6,449,590	39,852,620	1,476,023
62,493,740	86,315,520	148,809,260	5,511,454
50,876,770	20,371,740	71,248,510	3,097,761
18,791,880	7,309,010	26,100,890	1,134,821
16,075,750	6,529,400	22,605,150	1,076,436
49,404,990	8,209,190	57,614,180	2,743,532
51,274,710	27,165,170	78,439,880	4,128,415
17,669,920	9,087,430	26,757,350	1,573,962
23,749,370	4,982,820	28,732,190	1,690,129
35,827,330	4,202,710	40,030,040	2,354,708
	84,054,800 108,045,450 7,247,720 40,724,470 72,753,690 59,228,540 58,072,410 33,403,030 62,493,740 50,876,770 18,791,880 16,075,750 49,404,990 51,274,710 17,669,920 23,749,370	84,054,800     13,157,340       108,045,450     11,178,300       7,247,720     167,569,620       40,724,470     14,594,870       72,753,690     16,465,530       59,228,540     55,326,650       33,403,030     6,449,590       62,493,740     86,315,520       50,876,770     20,371,740       18,791,880     7,309,010       16,075,750     6,529,400       49,404,990     8,209,190       51,274,710     27,165,170       17,669,920     9,087,430       23,749,370     4,982,820	84,054,800       13,157,340       97,212,140         108,045,450       11,178,300       119,223,750         7,247,720       167,569,620       174,817,340         40,724,470       14,594,870       55,319,340         72,753,690       16,465,530       89,219,220         59,228,540       55,326,650       114,555,190         58,072,410       11,337,760       69,410,170         33,403,030       6,449,590       39,852,620         62,493,740       86,315,520       148,809,260         50,876,770       20,371,740       71,248,510         18,791,880       7,309,010       26,100,890         16,075,750       6,529,400       22,605,150         49,404,990       8,209,190       57,614,180         51,274,710       27,165,170       78,439,880         17,669,920       9,087,430       26,757,350         23,749,370       4,982,820       28,732,190

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

- ※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。
- ※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。
- ※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

#### 平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

#### 年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位		疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	患者一人当たり の医療費(円) ※
平成26年度	1	0902	虚血性心疾患	狭心症, 不安定狭心症, 急性心筋梗塞	83	2,158,708
	2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌,多発性骨髓腫,胸部食道癌	69	3,312,983
	3	1901	骨折	大腿骨頚部骨折, 大腿骨転子部骨折, 橈骨遠位端骨折	56	1,919,058
	4	0906	脳梗塞	脳梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症	54	2,410,534
	5	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全,発作性心房細動,心房細動	44	3,987,188
平成27年度	1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌,多発性骨髓腫,膵頭部癌	84	3,396,020
	2	0902	虚血性心疾患	狭心症, 労作性狭心症, 不安定狭心症	71	2,298,641
	3	0906	脳梗塞	脳梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、出血性脳梗塞	53	2,576,551
	4	0903	その他の心疾患	心房細動、うつ血性心不全、非弁膜症性心房細動	52	3,135,949
	5	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	48	4,462,744
平成28年度	1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌,多発性骨髓腫,膵頭部癌	90	3,397,016
	2	0902	虚血性心疾患	狭心症, 不安定狭心症, 陳旧性心筋梗塞	76	2,382,187
	3	0903	その他の心疾患	心房細動, 非弁膜症性心房細動, 発作性心房細動	54	2,623,026
	4	1901	骨折	大腿骨頚部骨折, 橈骨遠位端骨折, 鎖骨骨折	54	1,800,225
	5	0906	脳梗塞	脳梗塞、アテローム血栓性脳梗塞・急性期、小脳梗塞	50	2,384,475

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

#### 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

<sup>※</sup>患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

<sup>※</sup>患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

## (3)疾病別医療費

#### ①大分類による疾病別医療費統計

平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費総計、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の17.3%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の14.6%と高い割合を占めている。

#### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する

人分類による疾病別医療質統計	*	各項目毎に	上位5疾病を	和掛	網掛け		う。
	A		В	С	С		
疾病項目(大分類)	医療費総計(円)※	   構成比     (%)	レセプト 件数 ※	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	354,305,609	5.1% 9	28,308   1	7,609	8	46,564	12
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	1,007,373,829	14.6% 2	25,837 1	2 6,759	10	149,042	2
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	90,538,916	1.3% 15	9,251 1	5 2,508	15	36,100	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	708,802,784	10.2% 3	105,006	2 11,136	3	63,650	8
V. 精神及び行動の障害	407,632,901	5.9% 8	30,360	9 3,007	14	135,561	3
VI. 神経系の疾患	300,118,671	4.3% 10	48,671	5,051	12	59,418	9
VII. 眼及び付属器の疾患	242,369,524	3.5% 11	25,728 1	3 7,478	9	32,411	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	26,493,882	0.4% 18	6,593 1	6 1,968	16	13,462	20
IX. 循環器系の疾患	1,195,004,787	17.3% 1	111,712	1 10,281	4	116,234	4
X. 呼吸器系の疾患	438,577,845	6.3% 7	70,530	4 13,954	1	31,430	17
X I . 消化器系の疾患 ※	536,325,066	7.8% 4	88,824	3 12,145	2	44,160	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	153,196,340	2.2% 13	33,680	7,923	6	19,336	18
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	504,184,252	7.3% 5	67,833	5 9,417	5	53,540	10
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	464,927,222	6.7% 6	29,383 1	0 6,571	11	70,754	7
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	36,090,610	0.5% 16	1,199 1	9 329	19	109,698	5
XVI. 周産期に発生した病態 ※	15,920,805	0.2% 20	165 2	1 90	21	176,898	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	24,791,748	0.4% 19	887 2	294	20	84,326	6
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	139,210,020	2.0% 14	32,263	7,872	7	17,684	19
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	233,812,116	3.4% 12	12,854   1	4 4,386	13	53,309	11
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	33,201,018	0.5% 17	4,691 1	7 913	18	36,365	14
XXⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%	0	0		0	İ
分類外	4,262,665	0.1% 21	2,589 1	8 1,165	17	3,659	21
合計	6,917,140,610		305,880	24,587		281,333	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「消化器系の疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費で過半数を占める。

## 疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費総計を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

	平成26	年度		平成27年度			平成28年度		
疾病分類(大分類)	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	217,244,721	3.1%	12	411,612,994	5.7%	8	354,305,609	5.1%	9
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	897,749,765	12.9%	2	950,026,812	13.2%	2	1,007,373,829	14.6%	2
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	98,872,201	1.4%	15	110,486,134	1.5%	15	90,538,916	1.3%	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	741,195,787	10.6%	3	745,294,225	10.3%	3	708,802,784	10.2%	3
V. 精神及び行動の障害	402,520,506	5.8%	8	401,951,533	5.6%	9	407,632,901	5.9%	8
VI. 神経系の疾患	277,178,621	4.0%	9	312,465,135	4.3%	10	300,118,671	4.3%	10
VII. 眼及び付属器の疾患	258,501,944	3.7%	10	269,814,192	3.7%	11	242,369,524	3.5%	11
WII. 耳及び乳様突起の疾患	27,963,210	0.4%	18	35,629,538	0.5%	17	26,493,882	0.4%	18
IX. 循環器系の疾患	1,305,673,539	18.7%	1	1,283,322,403	17.8%	1	1,195,004,787	17.3%	1
X. 呼吸器系の疾患	477,158,630	6.9%	7	495,893,498	6.9%	6	438,577,845	6.3%	7
X I. 消化器系の疾患 ※	552,710,344	7.9%	4	581,258,497	8.1%	4	536,325,066	7.8%	4
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	165,006,072	2.4%	13	152,287,240	2.1%	13	153,196,340	2.2%	13
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	534,201,472	7.7%	5	507,389,149	7.0%	5	504,184,252	7.3%	5
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	512,377,353	7.4%	6	492,598,782	6.8%	7	464,927,222	6.7%	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	39,055,879	0.6%	16	38,882,402	0.5%	16	36,090,610	0.5%	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	28,824,619	0.4%	17	25,225,734	0.3%	18	15,920,805	0.2%	20
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	20,621,691	0.3%	19	19,467,726	0.3%	20	24,791,748	0.4%	19
XWII. 症状, 微候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	147,884,972	2.1%	14	150,684,178	2.1%	14	139,210,020	2.0%	14
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	241,550,265	3.5%	11	205,109,073	2.8%	12	233,812,116	3.4%	12
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	13,851,209	0.2%	20	23,234,618	0.3%	19	33,201,018	0.5%	17
ХХⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	5,062,660	0.1%	21	4,270,847	0.1%	21	4,262,665	0.1%	21
合計	6,965,205,460			7,216,904,710			6,917,140,610		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

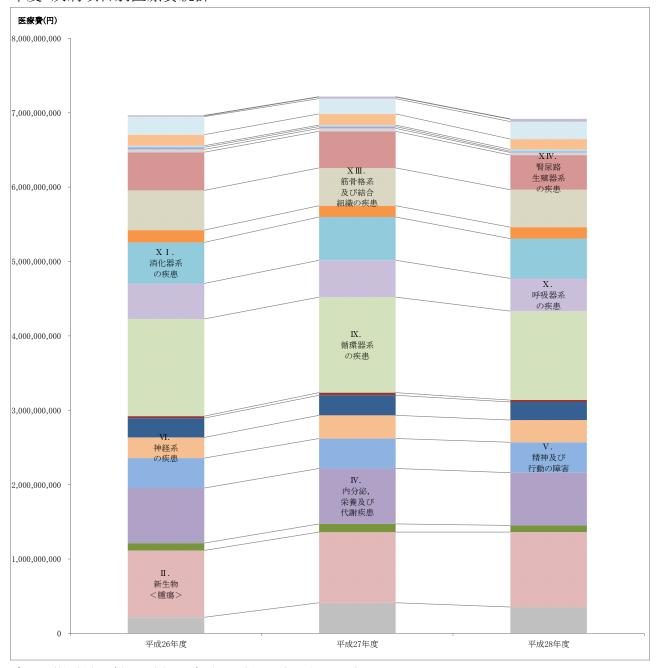
対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

#### 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

- ※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
- ※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。
- ※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

## 年度•疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

## ②大分類による男女年齢別の医療費・患者数・診療日数上位3疾病

平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、大分類による男女別年齢別の医療費・患者数・疾病日数の上位3疾病を以下に示す。

## 【男性】医療費上位3疾病

	男性					
年齢階層	1位	2位	3位			
0歳~9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	XVII. 先天奇形,変形及び染色体異常			
10歳~19歳	X. 呼吸器系の疾患	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患			
20歳~29歳	V. 精神及び行動の障害	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響			
30歳~39歳	V. 精神及び行動の障害	IX. 循環器系の疾患	XI. 消化器系の疾患			
40歳~49歳	V. 精神及び行動の障害	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患			
50歳~59歳	IX. 循環器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患			
60歳~69歳	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患			
70歳~	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患			
全年齢	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患			

#### 【男性】患者数上位3疾病

	男性				
年齢階層	1位	2位	3位		
0歳~9歳	X. 呼吸器系の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患		
10歳~19歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患		
20歳~29歳	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	I . 感染症及び寄生虫症		
30歳~39歳	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	I . 感染症及び寄生虫症		
40歳~49歳	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患		
50歳~59歳	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患	IX. 循環器系の疾患		
60歳~69歳	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患		
70歳~	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患		
全年齢	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患		

## 【男性】診療日数上位3疾病

	男性					
年齢階層	1位	2位	3位			
0歳~9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症			
10歳~19歳	X. 呼吸器系の疾患	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患			
20歳~29歳	X I. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患			
30歳~39歳	X I. 消化器系の疾患	VI. 神経系の疾患	V. 精神及び行動の障害			
40歳~49歳	X I. 消化器系の疾患	IX. 循環器系の疾患	V. 精神及び行動の障害			
50歳~59歳	IX. 循環器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患			
60歳~69歳	Ⅸ. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患			
70歳~	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患			
全年齢	IX. 循環器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※資料日数についてはレセプト毎に記載傷病すべてに該当レセプトの診療日数をそのまま設定し集計する。

## 【女性】医療費上位3疾病

	女性				
年齢階層	1位	2位	3位		
0歳~9歳	X. 呼吸器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	I. 感染症及び寄生虫症		
10歳~19歳	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	X. 呼吸器系の疾患	I. 感染症及び寄生虫症		
20歳~29歳	V. 精神及び行動の障害	X V. 妊娠, 分娩及び産じょく	X. 呼吸器系の疾患		
30歳~39歳	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	XV. 妊娠, 分娩及び産じょく		
40歳~49歳	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	V. 精神及び行動の障害	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患		
50歳~59歳	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患		
60歳~69歳	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患		
70歳~	IX. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患		
全年齢	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患		

## 【女性】患者数上位3疾病

	女性				
年齢階層	1位	2位	3位		
0歳~9歳	X. 呼吸器系の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患		
10歳~19歳	X. 呼吸器系の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患		
20歳~29歳	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	I . 感染症及び寄生虫症		
30歳~39歳	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患		
40歳~49歳	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患		
50歳~59歳	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患		
60歳~69歳	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	IX. 循環器系の疾患	XI. 消化器系の疾患		
70歳~	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患		
全年齢	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患		

## 【女性】診療日数上位3疾病

	工工的从中外工匠的作						
	女性						
年齢階層	1位	2位	3位				
0歳~9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症				
10歳~19歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症				
20歳~29歳	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	V. 精神及び行動の障害				
30歳~39歳	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	XI. 消化器系の疾患				
40歳~49歳	XI. 消化器系の疾患	VI. 神経系の疾患	V. 精神及び行動の障害				
50歳~59歳	XI. 消化器系の疾患	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患				
60歳~69歳	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患				
70歳~	IX. 循環器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患				
全年齢	XI. 消化器系の疾患	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患				

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※資料日数についてはレセプト毎に記載傷病すべてに該当レセプトの診療日数をそのまま設定し集計する。

## ②中分類による疾病別医療費統計

平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

#### 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	388,423,565	5.6%	7,856
2	0901	高血圧性疾患	383,056,428	5.5%	7,766
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	344,522,176	5.0%	2,777
4	1402	腎不全	301,701,067	4.4%	471
5	0903	その他の心疾患	276,078,024	4.0%	4,036
6	1113	その他の消化器系の疾患	262,879,197	3.8%	6,852
7	0902	虚血性心疾患	223,685,437	3.2%	2,866
8	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	211,729,641	3.1%	724
9	0403	脂質異常症	194,114,004	2.8%	5,812
10	0105	ウイルス性肝炎	190,782,452	2.8%	1,060

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

#### 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 <sup>(人)</sup> ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	139,210,020	7,872	32.0%
2	0402	糖尿病	388,423,565	7,856	32.0%
3	0901	高血圧性疾患	383,056,428	7,766	31.6%
4	1006	アレルギー性鼻炎	68,746,669	6,921	28.1%
5	1113	その他の消化器系の疾患	262,879,197	6,852	27.9%
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	68,153,789	6,541	26.6%
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	47,056,580	6,212	25.3%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	63,686,593	5,901	24.0%
9	1003	その他の急性上気道感染症	33,006,997	5,844	23.8%
10	0403	脂質異常症	194,114,004	5,812	23.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

## 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	患者数 (人)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	0209	白血病	69,629,070	41	1,698,270
2	1402	腎不全	301,701,067	471	640,554
3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	69,680,058	150	464,534
4	0904	くも膜下出血	25,388,519	55	461,609
5	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	29,532,929	82	360,158
6	0208	悪性リンパ腫	40,736,442	131	310,965
7	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	211,729,641	724	292,444
8	0105	ウイルス性肝炎	190,782,452	1,060	179,983
9	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	27,831,382	171	162,757
10	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,089,323	58	156,712

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。 ※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計 できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位		疾病分類(中分類)	医療費	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
平成26年度	1	0901	高血圧性疾患	435,718,786	6.3%	7,875
	2	0402	糖尿病	404,097,913	5.8%	7,867
	3	1402	腎不全	345,333,463	5.0%	471
	4	0903	その他の心疾患	301,492,877	4.3%	4,091
	5	1113	その他の消化器系の疾患	265,767,481	3.8%	6,767
	6	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	261,651,155	3.8%	2,808
	7	0902	虚血性心疾患	230,418,934	3.3%	3,055
	8	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	211,907,270	3.0%	653
	9	0403	脂質異常症	207,858,596	3.0%	5,825
	10	0606	その他の神経系の疾患	160,795,497	2.3%	4,649
平成27年度	1	0901	高血圧性疾患	416,779,680	5.8%	7,834
	2	0402	糖尿病	399,765,505	5.5%	7,824
	3	1402	腎不全	335,530,429	4.6%	453
	4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	323,884,655	4.5%	2,914
	5	0903	その他の心疾患	297,603,844	4.1%	4,079
	6	1113	その他の消化器系の疾患	281,724,457	3.9%	6,944
	7	0105	ウイルス性肝炎	239,716,665	3.3%	1,147
	8	0902	虚血性心疾患	217,355,807	3.0%	3,005
	9	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	215,964,731	3.0%	698
	10	0403	脂質異常症	208,563,947	2.9%	5,887
平成28年度	1	0402	糖尿病	388,423,565	5.6%	7,856
	2	0901	高血圧性疾患	383,056,428	5.5%	7,766
	3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	344,522,176	5.0%	2,777
	4	1402	腎不全	301,701,067	4.4%	471
	5	0903	その他の心疾患	276,078,024	4.0%	4,036
	6	1113	その他の消化器系の疾患	262,879,197	3.8%	6,852
	7	0902	虚血性心疾患	223,685,437	3.2%	2,866
	8	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	211,729,641	3.1%	724
	9	0403	脂質異常症	194,114,004	2.8%	5,812
	10	0105	ウイルス性肝炎	190,782,452	2.8%	1,060

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位		疾病分類(中分類)	医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	147,884,972	7,968	30.3%
	2	0901	高血圧性疾患	435,718,786	7,875	29.9%
	3	0402	糖尿病	404,097,913	7,867	29.9%
	4	1105	胃炎及び十二指腸炎	71,736,328	6,825	25.9%
	5	1113	その他の消化器系の疾患	265,767,481	6,767	25.79
	6	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	54,831,692	6,585	25.09
	7	1202	皮膚炎及び湿疹	78,822,432	6,567	24.99
	8	1006	アレルギー性鼻炎	71,372,903	6,479	24.69
	9	1003	その他の急性上気道感染症	40,339,487	6,448	24.59
	10	0703	屈折及び調節の障害	24,277,620	6,110	23.29
平成27年度	1	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	150,684,178	8,184	31.79
	2	0901	高血圧性疾患	416,779,680	7,834	30.49
	3	0402	糖尿病	399,765,505	7,824	30.39
	4	1006	アレルギー性鼻炎	75,210,541	7,169	27.89
	5	1105	胃炎及び十二指腸炎	76,286,548	7,047	27.39
	6	1113	その他の消化器系の疾患	281,724,457	6,944	26.99
	7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	57,524,557	6,677	25.99
	8	1202	皮膚炎及び湿疹	71,092,088	6,391	24.89
	9	1003	その他の急性上気道感染症	36,019,087	6,258	24.39
	10	0703	屈折及び調節の障害	23,588,262	5,999	23.39
平成28年度	1	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	139,210,020	7,872	32.09
	2	0402	糖尿病	388,423,565	7,856	32.09
	3	0901	高血圧性疾患	383,056,428	7,766	31.69
	4	1006	アレルギー性鼻炎	68,746,669	6,921	28.19
	5	1113	その他の消化器系の疾患	262,879,197	6,852	27.99
	6	1105	胃炎及び十二指腸炎	68,153,789	6,541	26.69
	7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	47,056,580	6,212	25.39
	8	1202	皮膚炎及び湿疹	63,686,593	5,901	24.0
	9	1003	その他の急性上気道感染症	33,006,997	5,844	23.8
	10	0403	脂質異常症	194,114,004	5,812	23.69

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

# 年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位		疾病分類(中分類)	医療費 (円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの 医療費(円)
平成26年度	1	0209	白血病	73,511,181	45	1,633,582
	2	1402	腎不全	345,333,463	471	733,192
	3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	78,295,486	162	483,305
	4	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	211,907,270	653	324,513
	5	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	102,004,886	324	314,830
	6	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	21,859,735	70	312,282
	7	0904	くも膜下出血	17,109,619	58	294,993
	8	0208	悪性リンパ腫	29,707,995	107	277,645
	9	0601	パーキンソン病	39,788,560	214	185,928
	10	0507	その他の精神及び行動の障害	50,462,113	311	162,258
平成27年度	1	0209	白血病	84,648,864	53	1,597,148
	2	1402	腎不全	335,530,429	453	740,685
	3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	69,339,893	154	450,259
	4	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	37,395,066	96	389,532
	5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	215,964,731	698	309,405
	6	0501	血管性及び詳細不明の認知症	8,155,457	27	302,054
	7	0208	悪性リンパ腫	31,638,713	114	277,533
	8	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	18,666,067	75	248,881
	9	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	76,945,518	355	216,748
	10	0105	ウイルス性肝炎	239,716,665	1,147	208,994
平成28年度	1	0209	白血病	69,629,070	41	1,698,270
	2	1402	腎不全	301,701,067	471	640,554
	3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	69,680,058	150	464,534
	4	0904	くも膜下出血	25,388,519	55	461,609
	5	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	29,532,929	82	360,158
	6	0208	悪性リンパ腫	40,736,442	131	310,965
	7	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	211,729,641	724	292,444
	8	0105	ウイルス性肝炎	190,782,452	1,060	179,983
	9	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	27,831,382	171	162,757
	10	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,089,323	58	156,712

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

# 中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網牌は

表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数   ※
	6,917,140,610	305,880	24,587

	疾病項目	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I.感	染症及び寄生虫症	354,305,609	5.1%		28,308	9.3%		7,609	30.9%		46,564	
0101	腸管感染症	17,044,787	0.2%	81	7,519	2.5%	40	2,906	11.8%	26	5,865	110
0102	結核	9,538,235	0.1%	90	745	0.2%	96	272	1.1%	90	35,067	56
0103	主として性的伝播様式をとる 感染症	3,382,991	0.0%	105	1,247	0.4%	86	596	2.4%	72	5,676	111
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴う ウイルス性疾患	16,252,471	0.2%	82	3,261	1.1%	65	1,097	4.5%	54	14,815	90
0105	ウイルス性肝炎	190,782,452	2.8%	10	4,912	1.6%	55	1,060	4.3%	56	179,983	8
0106	その他のウイルス性疾患	40,415,610	0.6%	54	1,188	0.4%	89	553	2.2%	77	73,084	30
0107	真菌症	28,899,124	0.4%	64	6,188	2.0%	45	1,524	6.2%	44	18,963	80
0108	感染症及び寄生虫症の 続発・後遺症	2,347,397	0.0%	110	110	0.0%	114	19	0.1%	118	123,547	18
0109	その他の感染症及び寄生虫症	45,642,542	0.7%	49	6,277	2.1%	44	2,184	8.9%	33	20,899	76
Ⅱ.新	生物<腫瘍>	1,007,373,829	14.6%		25,837	8.4%		6,759	27.5%		149,042	ļ
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	76,937,328	1.1%	26	4,132	1.4%	61	1,555	6.3%	43	49,477	41
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	84,124,031	1.2%	21	3,280	1.1%	64	1,223	5.0%	50	68,785	31
0203	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物<腫瘍>	69,680,058	1.0%	29	881	0.3%	94	150	0.6%	100	464,534	3
0204	肝及び肝内胆管の 悪性新生物<腫瘍>	43,018,812	0.6%	51	2,225	0.7%	77	686	2.8%	69	62,710	35
0205	気管, 気管支及び肺の 悪性新生物<腫瘍>	104,223,939	1.5%	16	2,437	0.8%	74	832	3.4%	65	125,269	16
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	54,433,408	0.8%	42	1,772	0.6%	82	370	1.5%	84	147,117	13
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	17,335,433	0.3%	80	947	0.3%	93	429	1.7%	83	40,409	49
0208	悪性リンパ腫	40,736,442	0.6%	53	511	0.2%	101	131	0.5%	101	310,965	6
0209	白血病	69,629,070	1.0%	30	258	0.1%	108	41	0.2%	114	1,698,270	1
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	344,522,176	5.0%	3	9,873	3.2%	33	2,777	11.3%	30	124,063	17
0211	良性新生物<腫瘍>及び その他の新生物<腫瘍>	102,733,132	1.5%	17	7,346	2.4%	41	3,102	12.6%	25	33,118	61
	液及び造血器の疾患 免疫機構の障害	90,538,916	1.3%		9,251	3.0%		2,508	10.2%		36,100	
0301	貧血	30,268,573	0.4%	61	5,924	1.9%	47	1,521	6.2%	45	19,900	77
0302	その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	60,270,343	0.9%	38	3,758	1.2%	62	1,293	5.3%	48	46,613	44
IV. 内	分泌, 栄養及び代謝疾患	708,802,784	10.2%		105,006	34.3%		11,136	45.3%		63,650	i
0401	甲状腺障害	41,425,221	0.6%	52	8,665	2.8%	38	2,185	8.9%	32	18,959	81
0402	糖尿病	388,423,565	5.6%	1	55,981	18.3%	3	7,856	32.0%	2	49,443	42
0403	脂質異常症	194,114,004	2.8%	9	62,871	20.6%	2	5,812	23.6%	10	33,399	59
0404	その他の内分泌, 栄養及び 代謝疾患	84,839,994	1.2%	20	21,948	7.2%	13	3,475	14.1%	22	24,414	70
V. 精	神及び行動の障害	407,632,901	5.9%		30,360	9.9%		3,007	12.2%		135,561	
0501	血管性及び詳細不明の認知症	2,758,926	0.0%	107	62	0.0%	116	27	0.1%	115	102,182	22
0502	精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	7,876,896	0.1%	94	648	0.2%	98	125	0.5%	103	63,015	34
0503	統合失調症,統合失調症型障害 及び妄想性障害	211,729,641	3.1%	8	9,027	3.0%	36	724	2.9%	67	292,444	7

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,917,140,610	305,880	24,587

	疾病項目	医療費総計 (円)	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	83,901,015	1.2%	22	13,461	4.4%	24	1,077	4.4%	55	77,903	27
0505	神経症性障害, ストレス関連障害 及び身体表現性障害	52,773,359	0.8%	44	16,705	5.5%	19	1,901	7.7%	38	27,761	67
0506	知的障害<精神遅滞>	1,254,963	0.0%	117	143	0.0%	111	53	0.2%	111	23,679	72
0507	その他の精神及び行動の障害	47,338,101	0.7%	46	2,118	0.7%	78	306	1.2%	87	154,700	11
VI. 神	経系の疾患	300,118,671	4.3%		48,671	15.9%	 	5,051	20.5%		59,418	
0601	パーキンソン病	37,826,700	0.5%	56	2,837	0.9%	67	245	1.0%	95	154,395	12
0602	アルツハイマー病	24,758,111	0.4%	69	1,454	0.5%	85	172	0.7%	97	143,943	15
0603	てんかん	46,067,636	0.7%	48	5,575	1.8%	49	562	2.3%	75	81,971	25
0604	脳性麻痺及びその他の 麻痺性症候群	29,532,929	0.4%	62	518	0.2%	100	82	0.3%	106	360,158	5
0605	自律神経系の障害	8,251,297	0.1%	93	2,474	0.8%	73	248	1.0%	94	33,271	60
0606	その他の神経系の疾患	153,681,998	2.2%	11	41,792	13.7%	5	4,528	18.4%	15	33,940	58
VII. 眼	及び付属器の疾患	242,369,524	3.5%		25,728	8.4%	İ	7,478	30.4%		32,411	
0701	結膜炎	21,829,354	0.3%	74	11,075	3.6%	31	3,702	15.1%	19	5,897	109
0702	白内障	63,796,588	0.9%	35	9,168	3.0%	34	2,061	8.4%	35	30,954	63
0703	屈折及び調節の障害	20,425,276	0.3%	76	17,183	5.6%	17	5,481	22.3%	11	3,727	117
0704	その他の眼及び付属器の疾患	136,318,306	2.0%	13	17,446	5.7%	16	4,661	19.0%	14	29,247	65
VII. 耳.	及び乳様突起の疾患	26,493,882	0.4%		6,593	2.2%		1,968	8.0%		13,462	
0801	外耳炎	2,112,898	0.0%	113	1,236	0.4%	87	457	1.9%	81	4,623	114
0802	その他の外耳疾患	2,226,831	0.0%	111	1,192	0.4%	88	559	2.3%	76	3,984	116
0803	中耳炎	9,220,351	0.1%	91	2,616	0.9%	69	800	3.3%	66	11,525	95
0804	その他の中耳及び 乳様突起の疾患	2,139,288	0.0%	112	505	0.2%	102	265	1.1%	91	8,073	107
0805	メニエール病	4,104,227	0.1%	104	1,124	0.4%	90	237	1.0%	96	17,317	85
0806	その他の内耳疾患	1,561,331	0.0%	115	404	0.1%	103	102	0.4%	105	15,307	89
0807	その他の耳疾患	5,128,956	0.1%	101	1,816	0.6%	81	583	2.4%	74	8,798	106
IX. 循	環器系の疾患	1,195,004,787	17.3%		111,712	36.5%	İ	10,281	41.8%		116,234	!
0901	高血圧性疾患	383,056,428	5.5%	2	94,632	30.9%	1	7,766	31.6%	3	49,325	43
0902	虚血性心疾患	223,685,437	3.2%	7	23,960	7.8%	11	2,866	11.7%	27	78,048	26
0903	その他の心疾患	276,078,024	4.0%	5	26,505	8.7%	9	4,036	16.4%	18	68,404	32
0904	くも膜下出血	25,388,519	0.4%	68	219	0.1%	109	55	0.2%	110	461,609	4
0905	脳内出血	26,949,880	0.4%	66	1,010	0.3%	92	352	1.4%	86	76,562	28
0906	脳梗塞	122,228,825	1.8%	14	9,032	3.0%	35	1,309	5.3%	47	93,376	24
0907	脳動脈硬化(症)	56,769	0.0%	120	22	0.0%	121	5	0.0%	122	11,354	96
0908	その他の脳血管疾患	55,917,722	0.8%	40	6,079	2.0%	46	1,604	6.5%	42	34,861	57
0909	動脈硬化(症)	23,793,425	0.3%	71	7,712	2.5%	39	1,502	6.1%	46	15,841	88
0911	低血圧(症)	1,846,952	0.0%	114	368	0.1%	106	68	0.3%	108	27,161	68
0912	その他の循環器系の疾患	56,002,806	0.8%	39	5,024	1.6%	53	978	4.0%	59	57,263	37
X. 呼	吸器系の疾患	438,577,845	6.3%		70,530	23.1%		13,954	56.8%		31,430	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	6,917,523	0.1%	95	5,304	1.7%	52	2,595	10.6%	31	2,666	120
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	23,210,547	0.3%	73	13,308	4.4%	25	5,236	21.3%	12	4,433	115
1003	その他の急性上気道感染症	33,006,997	0.5%	57	16,997	5.6%	18	5,844	23.8%	9	5,648	112

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け

網掛け表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,917,140,610	305,880	24,587

			1 1		1 1		!!!					
	疾病項目	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
1004	肺炎	45,123,512	0.7%	50	2,781	0.9%	68	1,177	4.8%	52	38,338	52
1005	急性気管支炎及び 急性細気管支炎	47,056,580	0.7%	47	20,138	6.6%	15	6,212	25.3%	7	7,575	108
1006	アレルギー性鼻炎	68,746,669	1.0%	31	27,406	9.0%	8	6,921	28.1%	4	9,933	101
1007	慢性副鼻腔炎	16,009,048	0.2%	83	6,282	2.1%	43	1,624	6.6%	41	9,858	103
1008	急性又は慢性と明示されない 気管支炎	10,106,894	0.1%	88	4,524	1.5%	58	1,809	7.4%	39	5,587	113
1009	慢性閉塞性肺疾患	26,913,131	0.4%	67	5,438	1.8%	50	911	3.7%	63	29,542	64
1010	喘息	81,567,588	1.2%	24	16,014	5.2%	20	2,806	11.4%	28	29,069	66
1011	その他の呼吸器系の疾患	79,919,356	1.2%	25	11,720	3.8%	28	4,676	19.0%	13	17,091	86
х І.	消化器系の疾患	536,325,066	7.8%		88,824	29.0%		12,145	49.4%	ļ	44,160	į
1101	う蝕 ※	1,845	0.0%	124	1	0.0%	124	1	0.0%	124	1,845	122
1102	歯肉炎及び歯周疾患	32,620	0.0%	121	26	0.0%	120	14	0.1%	120	2,330	121
1103	その他の歯及び歯の支持組織の 障害	75,195	0.0%	119	56	0.0%	117	24	0.1%	116	3,133	119
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	66,069,219	1.0%	34	21,040	6.9%	14	2,780	11.3%	29	23,766	71
1105	胃炎及び十二指腸炎	68,153,789	1.0%	33	34,109	11.2%	6	6,541	26.6%	6	10,419	99
1106	痔核	10,979,424	0.2%	87	2,595	0.8%	71	553	2.2%	77	19,854	78
1107	アルコール性肝疾患	6,563,287	0.1%	97	624	0.2%	99	109	0.4%	104	60,214	36
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	5,353,597	0.1%	100	2,115	0.7%	79	289	1.2%	89	18,525	82
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	13,081,283	0.2%	85	1,537	0.5%	84	255	1.0%	92	51,299	40
1110	その他の肝疾患	32,487,962	0.5%	59	11,556	3.8%	29	3,240	13.2%	23	10,027	100
1111	胆石症及び胆のう炎	50,563,607	0.7%	45	4,138	1.4%	60	962	3.9%	61	52,561	39
1112	膵疾患	20,084,041	0.3%	77	1,743	0.6%	83	531	2.2%	79	37,823	54
1113	その他の消化器系の疾患	262,879,197	3.8%	6	50,940	16.7%	4	6,852	27.9%	5	38,365	51
ХΙΙ.,	皮膚及び皮下組織の疾患	153,196,340	2.2%		33,680	11.0%		7,923	32.2%	 	19,336	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	18,676,164	0.3%	78	5,404	1.8%	51	2,012	8.2%	36	9,282	104
1202	皮膚炎及び湿疹	63,686,593	0.9%	36	23,462	7.7%	12	5,901	24.0%	8	10,793	98
1203	その他の皮膚及び 皮下組織の疾患	70,833,583	1.0%	27	14,508	4.7%	22	3,661	14.9%	20	19,348	79
ХШ. ;	筋骨格系及び結合組織の疾患	504,184,252	7.3%		67,833	22.2%		9,417	38.3%	ļ	53,540	į
1301	炎症性多発性関節障害	93,067,168	1.3%	18	11,537	3.8%	30	1,719	7.0%	40	54,140	38
1302	関節症	83,580,877	1.2%	23	13,237	4.3%	26	1,962	8.0%	37	42,600	47
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	68,276,464	1.0%	32	12,941	4.2%	27	2,169	8.8%	34	31,478	62
1304	椎間板障害	38,553,879	0.6%	55	4,426	1.4%	59	1,016	4.1%	58	37,947	53
1305	頚腕症候群	9,601,873	0.1%	89	5,893	1.9%	48	971	3.9%	60	9,889	102
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	61,170,593	0.9%	37	25,171	8.2%	10	4,294	17.5%	17	14,246	91
1307	その他の脊柱障害	14,554,961	0.2%	84	2,597	0.8%	70	648	2.6%	70	22,461	73
1308	肩の傷害<損傷>	11,991,674	0.2%	86	6,334	2.1%	42	1,031	4.2%	57	11,631	94
1309	骨の密度及び構造の障害	53,333,148	0.8%	43	10,314	3.4%	32	1,202	4.9%	51	44,370	45
1310	その他の筋骨格系及び 結合組織の疾患	70,053,615	1.0%	28	13,974	4.6%	23	3,202	13.0%	24	21,878	74

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,917,140,610	305,880	24,587

						1 1						
	疾病項目	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
XIV.	腎尿路生殖器系の疾患	464,927,222	6.7%		29,383	9.6%		6,571	26.7%		70,754	
1401	糸球体疾患及び 腎尿細管間質性疾患	23,677,616	0.3%	72	2,363	0.8%	75	601	2.4%	71	39,397	50
1402	腎不全	301,701,067	4.4%	4	4,734	1.5%	56	471	1.9%	80	640,554	2
1403	尿路結石症	24,066,165	0.3%	70	2,260	0.7%	76	593	2.4%	73	40,584	48
1404	その他の腎尿路系の疾患	55,683,677	0.8%	41	15,482	5.1%	21	4,414	18.0%	16	12,615	93
1405	前立腺肥大(症)	30,905,495	0.4%	60	4,982	1.6%	54	711	2.9%	68	43,468	46
1406	その他の男性生殖器の疾患	1,410,102	0.0%	116	307	0.1%	107	126	0.5%	102	11,191	97
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	6,261,367	0.1%	99	1,854	0.6%	80	454	1.8%	82	13,792	92
1408	乳房及びその他の女性生殖器の 疾患	21,221,733	0.3%	75	2,965	1.0%	66	1,259	5.1%	49	16,856	87
XV.	妊娠,分娩及び産じょく	36,090,610	0.5%		1,199	0.4%	 	329	1.3%	 	109,698	! !
1501	流産	4,435,678	0.1%	102	137	0.0%	112	70	0.3%	107	63,367	33
1502	妊娠高血圧症候群	2,390,476	0.0%	109	34	0.0%	118	21	0.1%	117	113,832	20
1503	単胎自然分娩	2,612	0.0%	123	2	0.0%	123	2	0.0%	123	1,306	123
1504	その他の妊娠,分娩及び産じょく	29,261,844	0.4%	63	1,109	0.4%	91	298	1.2%	88	98,194	23
XVI.	周産期に発生した病態	15,920,805	0.2%		165	0.1%	i I	90	0.4%	 	176,898	i
1601	妊娠及び胎児発育に 関連する障害	9,089,323	0.1%	92	112	0.0%	113	58	0.2%	109	156,712	10
1602	その他の周産期に発生した病態	6,831,482	0.1%	96	67	0.0%	115	47	0.2%	113	145,351	14
XVII.	先天奇形,変形及び染色体異常	24,791,748	0.4%		887	0.3%	į	294	1.2%	į	84,326	ļ
1701	心臓の先天奇形	6,295,434	0.1%	98	183	0.1%	110	52	0.2%	112	121,066	19
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	18,496,314	0.3%	79	722	0.2%	97	253	1.0%	93	73,108	29
	症状, 徴候及び異常臨床 異常検査所見で他に分類 いもの	139,210,020	2.0%		32,263	10.5%		7,872	32.0%		17,684	
1800	症状,徴候及び異常臨床 所見・異常検査所見で他に分類 されないもの	139,210,020	2.0%	12	32,263	10.5%	7	7,872	32.0%	1	17,684	83
XIX.	損傷、中毒及びその他の外因の影響	233,812,116	3.4%		12,854	4.2%	į	4,386	17.8%	į	53,309	į
1901	骨折	107,169,143	1.5%	15	3,401	1.1%	63	958	3.9%	62	111,868	21
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	27,831,382	0.4%	65	372	0.1%	105	171	0.7%	98	162,757	9
1903	熱傷及び腐食	2,678,733	0.0%	108	397	0.1%	104	152	0.6%	99	17,623	84
1904	中毒	3,278,187	0.0%	106	772	0.3%	95	361	1.5%	85	9,081	105
1905	その他の損傷及びその他の外因 の影響	92,854,671	1.3%	19	8,991	2.9%	37	3,517	14.3%	21	26,402	69
	. 健康状態に影響を及ぼす要因 健サービスの利用	33,201,018	0.5%		4,691	1.5%		913	3.7%		36,365	
2101	検査及び診査のための保健 サービスの利用者	334,825	0.0%	118	30	0.0%	119	16	0.1%	119	20,927	75
2102	予防接種	0	0.0%		0	0.0%	<u> </u> 	0	0.0%	<u> </u> 	0	
2103	正常妊娠及び産じょくの管理 並びに家族計画	8,511	0.0%	122	11	0.0%	122	7	0.0%	121	1,216	124
2104	歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%	! !	0	0.0%	! !	0	

※大分類毎の集計を 網掛け

表示する ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を

網掛け

表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数   ※
	6,917,140,610	305,880	24,587

	疾病項目	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	  順位 
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	  -  -  -  -
	その他の理由による保健サービス の利用者	32,857,682	0.5%	58	4,652	1.5%	57	893	3.6%	64	36,795	55
ххп	. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	<u> </u>	0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	i
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	İ
分類外		4,262,665	0.1%		2,589	0.8%		1,165	4.7%		3,659	
9999	分類外	4,262,665	0.1%	103	2,589	0.8%	72	1,165	4.7%	53	3,659	118

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

#### 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費総計…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計でき ない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。 ※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

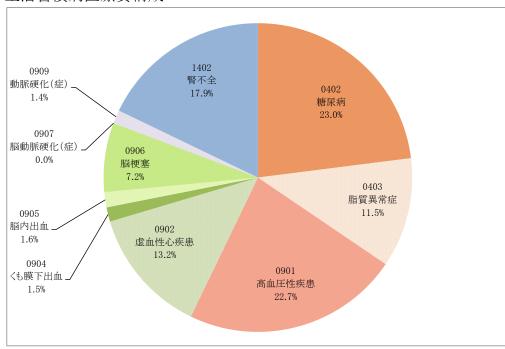
### ③生活習慣病に係る医療費

平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出した。糖尿病医療費は3億8,842万円、脂質異常症医療費は1億9,411万円、高血圧性疾患医療費は3億8,303万円となっている。

#### 生活習慣病医療費

	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの 医療費(円)
0402	糖尿病	388,422,757	7,855	49,449
0403	脂質異常症	194,114,004	5,812	33,399
0901	高血圧性疾患	383,034,695	7,766	49,322
0902	虚血性心疾患	223,675,062	2,866	78,044
0904	くも膜下出血	25,388,519	55	461,609
0905	脳内出血	26,949,880	352	76,562
0906	脳梗塞	122,228,825	1,309	93,376
0907	脳動脈硬化(症)	56,769	5	11,354
0909	動脈硬化(症)	23,793,425	1,502	15,841

#### 生活習慣病医療費構成



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。 ※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。 また、平成26年度から平成28年度における、生活習慣病医療費を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、糖尿病医療費3億8,842万円は、平成26年度4億410万円より1,568万円減少している。また、脂質異常症医療費1億9,411万円は、平成26年度2億786万円より1,375万円減少しており、高血圧性疾患医療費3億8,303万円は、平成26年度4億3,572万円より5,269万円減少している。

#### 年度別 生活習慣病医療費

(古八卷)		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	404,097,913	21.8%	399,647,803	22.2%	388,422,757	23.0%
0403	脂質異常症	207,858,596	11.2%	208,563,947	11.6%	194,114,004	11.5%
0901	高血圧性疾患	435,718,786	23.6%	416,779,680	23.1%	383,034,695	22.7%
0902	虚血性心疾患	230,418,934	12.5%	217,355,807	12.1%	223,675,062	13.2%
0904	くも膜下出血	17,109,619	0.9%	9,965,682	0.6%	25,388,519	1.5%
0905	脳内出血	47,648,135	2.6%	48,438,487	2.7%	26,949,880	1.6%
0906	脳梗塞	126,193,381	6.8%	138,321,510	7.7%	122,228,825	7.2%
0907	脳動脈硬化(症)	42,465	0.0%	35,594	0.0%	56,769	0.0%
0909	動脈硬化(症)	35,171,146	1.9%	28,368,795	1.6%	23,793,425	1.4%
1402	腎不全	345,333,463	18.7%	335,530,429	18.6%	301,701,067	17.9%
	合計	1,849,592,438		1,803,007,734		1,689,365,003	

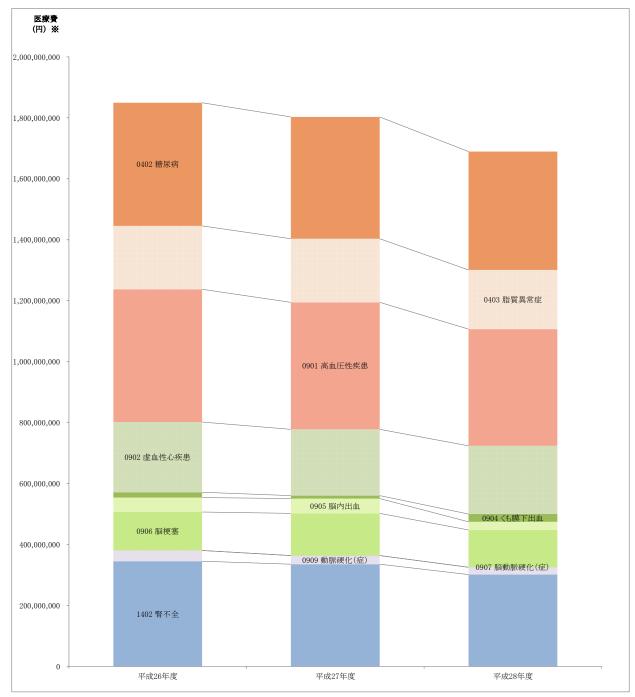
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。 ※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合 集計できない。そのため他統計と一致しない。

# 第2章 第2期データヘルス計画

# 1. 計画策定について

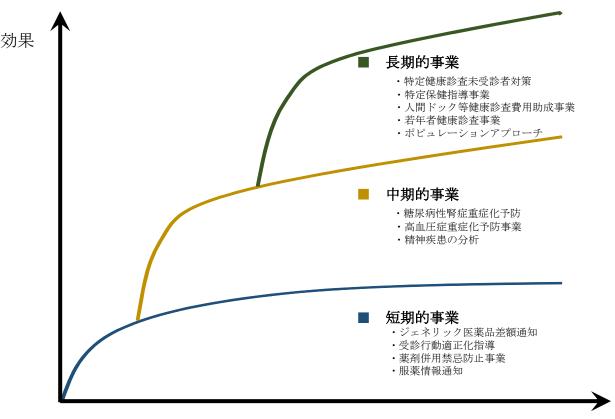
#### (1) 基本方針

データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

- 1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
- 2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の 見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
- 3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの 目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客 観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載す ることとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな 医療費削減につながる中・長期的な事業がある。下記の保健事業を神栖市国民健康保険の 実情に合わせて、効率良く実施する。



### (3)データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏ま えるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用 いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

#### (4) 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度までの6年間とする。

### ■計画期間

平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
				/I
	平成31年度	平成31年度 平成32年度	平成31年度 平成32年度 平成33年度	平成31年度 平成32年度 平成33年度 平成34年度

# ■データ分析期間

- ・国保データベース (KDB) システムデータ 平成26年度~平成28年度(3年分)
- ・入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト 単年分析

平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)

# 年度分析

平成26年度…平成26年3月~平成27年2月診療分(12カ月分) 平成27年度…平成27年3月~平成28年2月診療分(12カ月分)

平成28年度…平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)

# 健康診査データ

平成28年4月~平成29年3月健診分(12カ月分)

# 2. 過去の取り組みの振り返りと評価

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。 なお、評価は、5:目標達成、4:改善している、3:横ばい、2:悪化している、1:評価できない、の5段階で評価する。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成27 年度 から 平成29 年度	特定健康診査 未受診者対策 (特定健診受診率向上)	被保険者の生活習慣病予防	特定健診を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように訪問による個別勧奨、受診勧奨通知を行う。
平成27 年度 から 平成29 年度	特定保健指導事業	被保険者の生活習慣病予防	特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。方法は厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿うこととする。保険者が特定健診受診後、順次、特定保健指導対象者を特定し実施する。
平成27 年度 から 平成29 年度	健診異常値放置者 受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の 医療機関受診	特定健診の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。通知書の内容は、検査値をレーダーチャートで分かりやすく表現し、場合によっては将来の生活習慣病の発症リスク等を記載する。

※計画策定時に設定した目標値のうち、現時点での評価が可能な指標に対して、達成状況の記載及び評価を行っている。 ※1 受診勧奨を実施することにより、通知後、医療機関を受診した人数の割合。

5:目標達成

4:改善している

3:横ばい

2:悪化している 1:評価できない

	1		T	
実施内容	目標値(平成29年度末)		達成状況 ※	評価
大地には在	アウトプット	アウトカム		н іш
【平成27年度】 健診未受診者を選定し、3年間未受診 の60代に家庭訪問を実施。未受診の理 由を把握し、各階層毎の内容別に応じ た受診勧奨を実施する。健診受診率等 を評価し、受診勧奨に有用な健診未受 診者を選定する。 【平成28年度】 4年以上の健診未受診者の中から対象 者を選定し家庭訪問を行う。未受診の 理由を把握し、内容別に応じた受診勧 奨を実施する。年度内未受診者に対し、 受診勧奨通知を実施する。 【平成29年度】 継続	・再勧奨対象者へ の通知率 100% ・訪問実施人数を モニタリングする	特定健診受診者数の増加	・再勧奨対象への通知率 100% ・未受診者訪問 H27年度対象者 4,234人 訪問実施者 924人 (内健診受診者109人新規86人) H28年度対象者 308人 訪問実施者数 23人 (内健診受診者23人) ・特定健診受診者数 H27年度 6,294人 H28年度 5,486人	2
【平成27年度】 神栖市国民健康保険第2期特定健康診 査等実施計画に基づき、指導対象者に 対して適切な保健指導を行う。 【平成28年度】 神栖市国民健康保険第2期特定健康診 査等実施計画に基づき、指導対象者に 対して適切な保健指導を行う。 健診データより検査値の推移を確認す る。 【平成29年度】 継続	・指導対象者の指 導実施率向上 (法定報告確認)	・積極的支援及び 動機付け支援対象 者数が減少する (階層化人数で確認 していく)	<ul> <li>・特定保健指導実施率 H26年度 31.3% H27年度 35.5% H28年度 33.7%</li> <li>・積極的支援対象者数 H26年度 404人 H27年度 366人 H28年度 280人</li> <li>・動機付け支援対象者 H26年度 620人 H27年度 631人 H28年度 536人</li> </ul>	4
【平成27年度】 健診異常値放置者に医療機関受診勧奨 通知を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。 【平成28年度】 健診異常値放置者に医療機関受診勧奨 通知を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。 受診がない対象者にはフォローを行う。 【平成29年度】 継続	・対象者への通知率 100% ・対象者の医療機 関受診率 20% ※1	・健診異常値放置 者数 20%減少	・通知率 100% ・医療機関受診率 58.2%	4

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成27 年度 から 平成29 年度	糖尿病性腎症 重症化予防事業	被保険者の糖尿病重症化予防	特定健診の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職より対象者個人に面談指導と電話指導を行う。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように日常に根付いたものとする。
平成27 年度 から 平成29 年度	高血圧症 重症化予防事業	高血圧症患者の減少	特定健診の検査値と高血圧症に関わるレセプト及び日本高血圧学会の高血圧治療ガイドライン2014に基づいて対象者を特定し、専門職より対象者個人に面談指導と電話指導を行う。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように日常に根付いたものとする。
平成27 年度 から 平成29 年度	受診行動適正化指導事業 (重複受診、頻回受診、 重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトから、医療機関への過度な受診が 確認できる対象者、また重複して服薬して いる対象者を特定し、指導する。
平成27 年度 から 平成29 年度	ジェネリック医薬品 差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。通知書の内容は、先発医薬品からジェネリック医薬品へ切り替えることで、どのくらい薬剤費が軽減できるか、ジェネリック医薬品とは何か等の情報を記載する。

※計画策定時に設定した目標値のうち、現時点での評価が可能な指標に対して、達成状況の記載及び評価を行っている。

<sup>※2</sup> 受診行動適正化指導を実施することにより、指導前と指導後で受診行動が適正化された人数の割合。 ※3 受診行動適正化指導を実施することにより、指導前と指導後で指導実施完了者の医療費が削減された割合。

5:目標達成

4:改善している

3:横ばい

2:悪化している 1:評価できない

	目標値(平原	戊29年度末)	**************************************	<b>⇒</b> π: /π:
実施内容	アウトプット	アウトカム	達成状況 ※	評価
【平成27年度】 健診結果から指導対象者を抽出し、指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 【平成28年度】 健診結果から指導対象者を抽出し、指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導実施者に対し、健診、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認。 【平成29年度】 継続	・指導対象者の指 導実施率の向上 (実施人数を確認し ていく)	・指導実施後の対 象者のCKD重症 度分類を悪化させ ない	<ul> <li>対象者数</li> <li>H27年度 13人</li> <li>H28年度 21人</li> <li>・保健指導実施者数</li> <li>H27年度 11人</li> <li>H28年度 10人</li> <li>・CKD重症度分類</li> <li>H27年度</li> <li>正常または軽度低下 72.3%</li> <li>軽度~中等度低下 13.8%</li> <li>中等度~高度低下 1.3%</li> <li>高度低下 0.2%</li> <li>H28年度</li> <li>正常または軽度低下 71.9%</li> <li>軽度~中等度低下 15.2%</li> <li>中等度~高度低下 1.6%</li> <li>高度低下 0.2%</li> </ul>	4
【平成27年度】 健診結果から指導対象者を抽出し、適 切な保健指導を行う。 【平成28年度】 健診結果から指導対象者を抽出し、適 切な指導を行う。健診、レセプトデー タより検査値の推移、定期的な通院の 有無等を確認。 【平成29年度】 継続	・指導対象者の指 導実施率の向上	・指導実施後の対 象者の血圧値が低 下する	<ul> <li>・対象者数 H27年度 33人 H28年度 23人</li> <li>・保健指導実施者数 H27年度 23人 H28年度 13人</li> <li>・保健指導実施者数 H27年度 13人 ※27年度 13人 ※27年度保健指導実施者13人中3人 がH28年度健能診を受診し、2名改善。 他2名が後期高齢へ移行し、1名が 国保離脱。8名が健診未受診。</li> </ul>	1
【平成27年度】 指導対象者に対して適切な指導を行う。 【平成28年度】 指導対象者に対して適切な指導を行う。 指導後に医療機関への受診行動が適正 化されているか確認する。 【平成29年度】 継続	・指導実施元「有	・重複・頻回受診者 数、重複服薬者数 20%減少	<ul> <li>通知率 100%</li> <li>・受診行動適正化</li> <li>83.3%(20人/24人)</li> <li>・通知後の医療費 27.9%減少</li> <li>・多受診患者 5.2%減少 (内訳) 平成26年度 1,004人 平成28年度 952人</li> </ul>	5
【平成27年度】 年2回、3,000通程度を想定。 対象者特定方法や効果検証方法、実施 後の効果を考慮し、継続を検討する。 【平成28年度】 継続 【平成29年度】 継続	・対象者への通知 率 100%	・ジェネリック医 薬品普及率(数量 ベース)通知開始時 平均より 5%向上	・通知率 100% ・ジェネリック医薬品普及率 (数量ベース) 直近(H29年2月診療分) 67.3% 通知開始時(H27年5月診療分) 55.9%	5

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成27 年度 から 平成29 年度	薬剤併用禁忌防止事業	薬剤併用禁忌の発生件数減少	レセプトから、薬剤併用禁忌の発生状況を 把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを 作成する。
平成27 年度 から 平成29 年度	人間ドック等 健康診査費用助成事業	被保険者の生活習慣病・疾病の予防	人間ドック等の検査費用の助成を実施する。 受診者のうち特定保健指導対象者を特定し、 特定保健指導を実施する。
平成27 年度 から 平成29 年度	若年者健康診査事業	生活習慣病の早期予防	16歳〜39歳の市民を対象に健康診査を実施する。健康診査後、保健指導実施の周知を 行い、希望者へ保健指導を実施する。

※計画策定時に設定した目標値のうち、現時点での評価が可能な指標に対して、達成状況の記載及び評価を行っている。 ※4 初年度の基準となったレセプトデータ時における併用禁忌発生人数との比較。

5:目標達成

4:改善している

3:横ばい

2:悪化している 1:評価できない

p+++p	目標値(平原	戊29年度末)		≑π /π÷
実施内容	アウトプット	アウトカム	達成状況 ※	評価
【平成27年度】 薬剤併用禁忌の対象者リストを作成 【平成28年度】 継続 【平成29年度】 継続	・薬剤併用禁忌 割合 10%減少 ※4	・併用禁忌薬剤に よる健康被害 0%	・薬剤併用禁忌割合 3.3%減少 (内訳) 平成26年度 632人 平成28年度 611人	3
【平成27年度】 40歳以上の国民健康保険被保険者の 人間ドック等検診利用者に対し、検診 費用の助成を行う(契約医療機関の み)。 特定健診の検査項目を必須とし、特定 健診受診率向上を図るとともに、特定 保健指導該当者には、特定保健指導を 実施する。 【平成28年度】 継続 【平成29年度】	事業の周知をすす めるとともに、 事業が円滑に進む よう関係各課 や関係機関との調整を行う。	人間ドック等健康 診査費用助成 事業利用者の増加	・助成事業利用者数 H27年度 420人 H28年度 390人	3
	若年者への健康診 査事業の周知 方法の拡大	受診者を増加させる	・健診受診者数 H27年度 1,288人 H28年度 1,245人	3

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平年か平年 27 年 27 年 27 年 27 年 27 年 27 年 27 年 27	ポピュレーション アプローチ (健康づくりに関する 普及啓発)事業	健康に対する意識を向上させ、健康的な生活習慣を定着させる	生活習慣病予防をはじめとした健康づくりに関する講演や教室、健康増進事業を実施する。

5:目標達成

4:改善している

3:横ばい

2:悪化している 1:評価できない

cts 44- cts	目標値(平原	成29年度末)	**************************************	<b>⇒</b> π /π·
実施内容	アウトプット	アウトカム	- 達成状況 <b>※</b>	評価
【平成27年度】 ・生活習慣病予防対策として、市民健康 講座・ウォーキング教室・エアを新力とのは をボクササイズなどの運動教室の開催。 ・健康づくり教室の開発として、中のの事務では、市内での健康が大型店舗に出ってのの健康がある。 ・市民自らの、生活習慣改善や健康づくりに関する「かみす健康マイレージ」の実施。 ・大学との協働で、市民の塩分摂取に関する。 ・大学との協働で、市民の塩分摂取に関する。 【平成28年度】 継続 【平成29年度】 継続	健康では は 東では の 関係 で の 関係 で の 関本 の 関本 の の の の の の の の の の の の の	健康づくり事業の参加者が増加する	<ul> <li>・市民健康 H27年度 10回 H28年度 233人 H28年度 128人</li> <li>・ウオーロ数 H27年度 19回 H28年度 19回 H28年度 19回 H28年度 19回 H28年度 19回 H28年度 19回 H28年度 19回 H28年度 30回 H28年度 30回 H28年度 30回 H28年度 37人</li> <li>・運動教室 H27年度 30回 H28年度 30回 H28年度 37人</li> <li>・運動教室 H27年度 30回 H28年度 30回 H28年度 470人</li> <li>・運動教室 H27年度 360人 H28年度 1,445人 H28年度 1,654人</li> <li>・健康加人数 H27年度 360人 H28年度 1,654人</li> <li>・健康加人数 H27年度 1,445人 H28年度 1,654人</li> <li>・投票 中塩分濃度 1,654人</li> <li>・投票 中塩分濃度 20分</li></ul>	3

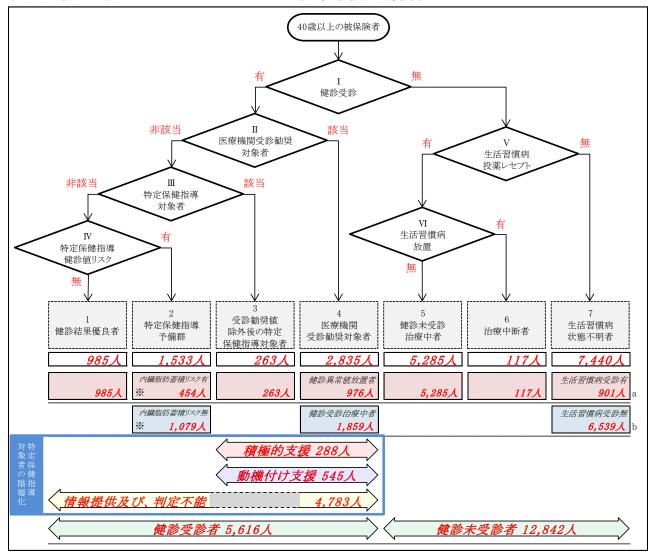
# 3. 保健事業実施に係る分析結果

# (1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者 について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの 有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

#### 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月~平成29年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…平成29年2月28日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

# (2) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は833人である。このうち、積極的支援の対象者は288人、動機付け支援の対象者は545人である。

#### 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

	IJ.	スク半 (該当	j定 に●)		対象者			
特定保健指導対象者	① 血 糖	②血圧	③ 脂 質	④ 喫 煙		833人		
積極的支援	0	•	0	0	15人 47人 12人 30人 23人 47人 31人 12人 12人 19人 0人 0人	288人	35%	
動機付け支援	0	0	0	0	12人 59人 12人 12人 10人 80人 49人 31人 10人 7人 5人 108人 95人 0人	545人	65%	

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月~平成29年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…平成29年2月28日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

- リスク判定の詳細は以下の通りとする。
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

### (3) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、 異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対 象者をレセプトにより見極める。

「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する976人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

.条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	976 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月~平成29年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…平成29年2月28日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

#### 除外設定(健診異常値放置)

Ⅱ.除外	設定		
			除外理由別人数
	除外	がん、難病等	250 人
		除外患者を除いた候補者数	726 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月~平成29年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…平成29年2月28日時点。 次に、残る対象者726人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を 設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

#### 優先順位(健診異常値放置)

[.優先	順位	←良	効率    悪→
		喫煙	非喫煙
•	医療機関受診勧奨 判定異常値因子数	候補者A	候補者C
高	30	2 人	8 人
効	医療機関受診勧奨 判定異常値因子数	候補者B	候補者D
	2つ	26 人	114 人
低	医療機関受診勧奨 判定異常値因子数	候補者E	候補者F
<b>V</b>	1つ	115 人	461 人
	效	726 人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月~平成29年3月健診分(12カ月分)。 資格確認日…平成29年2月28日時点。

# (4) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者151人が対象となる。

#### 条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

9特定	
つて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定	期受診を中断した患者
	候補者人数
6 治療中断者	117 人
上記以外のグループ	34 人
:件設定により対象となった候補者数 (合計)	151 人
	の特定 つて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定 6 治療中断者 上記以外のグループ 2件設定により対象となった候補者数 (合計)

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年2月28日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

#### 除外設定(生活習慣病治療中断者)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。 資格確認日…平成29年2月28日時点。 次に、残る対象者146人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

#### 優先順位(生活習慣病治療中断者)

		4カ月以上の定期受診				
生活習慣病有病数 3つ 高	候補者A1	候補者A2	候補者A3			
	1 人	5 人	4 A			
効 生活習慣病有病数 2つ	候補者B1	候補者B2	候補者B3			
		1 人	6 人	8 人		
生活習慣病有病数		候補者C1	候補者C2	候補者C3		
	10	6 J	61 人	54 人		
Г						
	効果:	146 人				

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。 資格確認日…平成29年2月28日時点。

# (5)糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

人工透析の患者は減少傾向にあるが、起因が明らかとなった患者のうち、Ⅱ型糖尿病を 起因として透析となる、糖尿病性腎症と本態性高血圧の割合は増えている。

#### 対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類		透析患者数 (人)	
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
血液透析のみ	77	73	71
腹膜透析のみ	2	2	1
血液透析及び腹膜透析	2	2	1
透析患者合計	81	77	73

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。 現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

#### 透析患者の起因分析

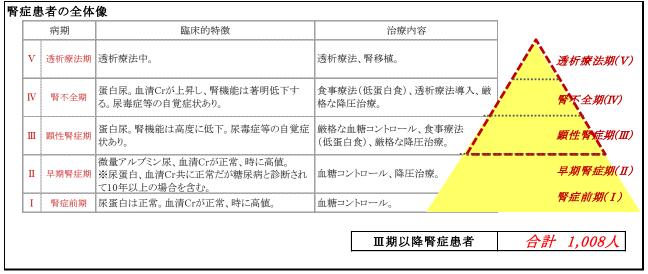
	学校 たて よ 七田	平成26	年度	平成27	年度	平成28	年度	生活習慣を	食事療法等指導することで
	透析に至った起因	透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	起因とする疾病	重症化を遅延できる 可能性が高い疾病
1	糖尿病性腎症 I 型糖尿病	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	ı	-
2	糖尿病性腎症 Ⅱ型糖尿病	53	65.4%	46	60.0%	49	67.1%	•	•
3	糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	-
4	糸球体腎炎 その他	8	9.9%	6	7.7%	6	8.2%	-	•
(5)	腎硬化症 本態性高血圧	5	6.2%	5	6.4%	5	6.8%	•	•
6	腎硬化症 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-	-
7	痛風腎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	•	•
8	起因が特定できない患者 ※	15	18.5%	20	25.9%	13	17.8%	-	-
	透析患者合計	81		77		73			

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。 現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。 「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者1,008人中288人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

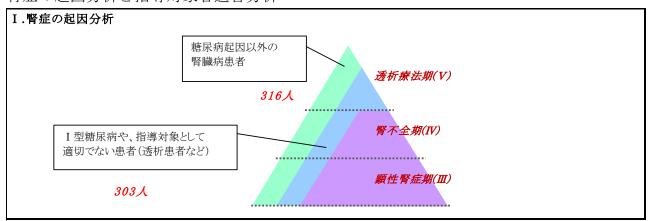
#### 腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。 資格確認日…平成29年2月28日時点。

「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、316人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、303人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

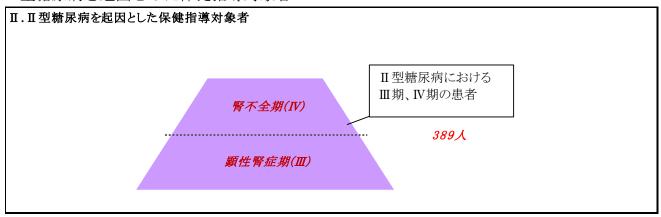
### 腎症の起因分析と指導対象者適合分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。 資格確認日…平成29年2月28日時点。

次に、「II型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて389人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

#### Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

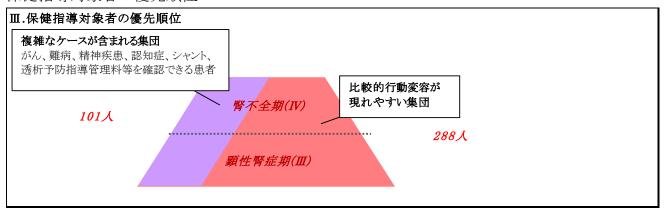


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。 資格確認日…平成29年2月28日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。389人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、101人存在する。

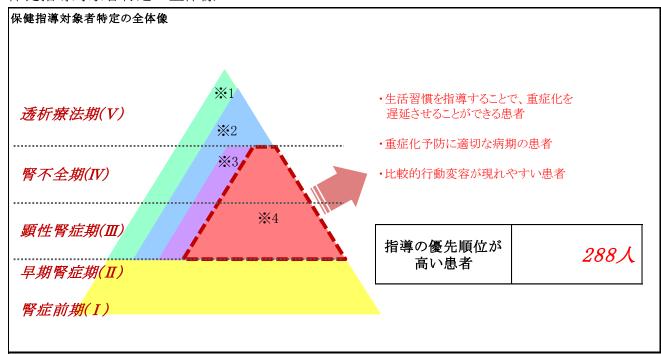
一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、288人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。 「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

### 保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。 資格確認日…平成29年2月28日時点。 以上の分析のように「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、288人となった。この分析の全体像を以下に示す。

#### 保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

#### 資格確認日…平成29年2月28日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2… I 型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

# (6) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

#### 重複受診者数

12カ月間の延べ人数 242		平成28年3月	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	7月 平成28年8月 平成28年9月 平成28年10月 平成28年11月 平成28年12月 平成29年1月 平成29年								
	重複受診者数(人) ※	23	22	17	16	24	16	21	23	17	27	14	22		
19カ日間の宝人粉 146							12カ月間の延べ人数								
140月间0天八数									148						

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

#### 資格確認日…平成29年2月28日時点。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

#### 頻回受診者数

	平成28年3月	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	7月 平成28年8月 平成28年9月 平成28年10月 平成28年11月 平成28年12月 平成29年1月 平成29年								
頻回受診者数(人) ※	29	30	39	43	37	40	49	50	38	43	34	38		
						12カ月間の延べ人数								
							193							

#### データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

#### 資格確認日…平成29年2月28日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

#### 重複服薬者数

		平成28年3月	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成29年1月	平成29年2月			
重複服薬者数(人)	*	109	176	127	115	119	112	108	119	124	124	102	96
									1,431				
									678				

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

#### 資格確認日…平成29年2月28日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は148人、頻回受診者は193人、重複服薬者は678 人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに 「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定する のではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年3 月~平成29年2月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特 定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を 併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

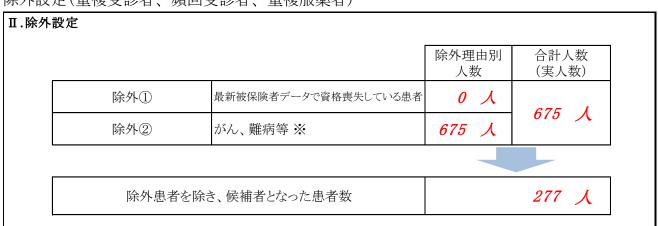
条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I.条件設定による指導対象者の特定	
・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者	
・頻回受診患者 …1カ月間で <b>同一医療機関に12回以上</b> 受診している患者	
・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品	品の日数合計が60日を超える患者
条件設定により候補者となった患者数	952 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。 資格確認日…平成29年2月28日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。 必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定 できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年2月28日時点。

※疑い病名を含む。

次に、残る対象者277人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5~6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳~59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A~候補者Fは13人となった。

# 優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

5~ 重複·頻回 該当~ 最新6カ月	レセプトのうち 6カ月 ・重複服薬に ける患者	60歳以上 候補者A <b>5</b> 人	50~59歳 候補者C <i>0</i> 人	50歳未満
5~ 重複·頻回 該当~ 最新6カ月	6カ月 ・重複服薬に テる患者			
該当 <sup>-</sup> 最新6カ月	ける患者 ニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 人	0 X	
取利0万月		l e		<i>1</i> -2.
	ンセプトのうち 4カ月	候補者B	候補者D	ー
	・重複服薬に する患者	6 人	1 人	とし
2:	レセプトのうち カ月 ・重複服薬に	候補者E	候補者F	ない
該当で (ただし直近	インス から から ある と かり かり と で に 該 当 )	1 人	0 X	264 人
	)他の 重複服薬患者			_

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。 資格確認日…平成29年2月28日時点。

# (7) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。 ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患 者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は37.4%(金額ベース)、65.5%(数量ベース)である。

### ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

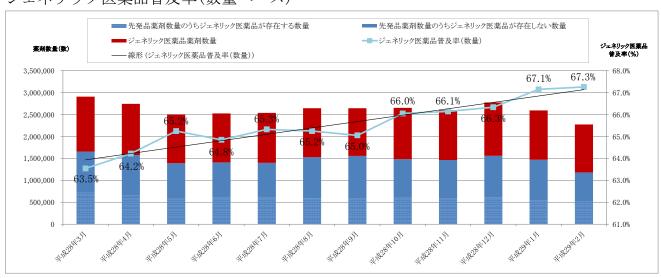


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

#### ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

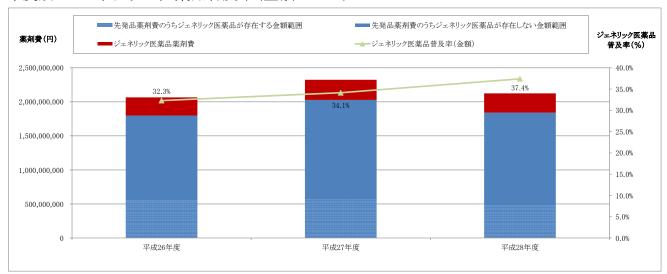


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬 品が存在する数量) 平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)37.4%は、平成26年度32.3%より5.1ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)65.5%は、平成26年度58.6%より6.9ポイント上昇している。

#### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



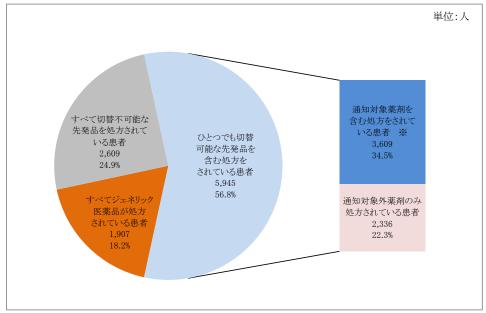
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成26年3月~平成29年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年2月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は10,461人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は5,945人で患者数全体の56.8%を占める。さらにこのうち通知対象薬剤のみに絞り込むと、3,609人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の34.5%となる。

### 薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成29年2月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のものは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

# (8)薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、 患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、 すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は860人、実人数は611人である。

#### 薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年3月	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月
薬剤併用禁忌対象者数(人) ※	72	57	38	51	45	55	55	86	71	99	125	106
							12カ	月間の延~	(人数			860
						12カ月間の実人数 61					611	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年2月28日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

# 薬剤併用禁忌 医薬品リスト

実人数(人)	611
件数合計(件)	1,272

	(A)	(A)	(A)	(B)	(B)	(B)	/11- 16/
No.	剤型名	医薬品 コード	医薬品名	剤型名	医薬品 コード	医薬品名	件数
1	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	-
2		620160501	PL配合顆粒	内服	621498101	カフコデ <b>N配</b> 合錠	1
	内服	621498101	カフコデN配合錠	,	620002023		1
3	内服	620160501	PL配合顆粒	内服 内服	620002023	カロナール錠200 200mg カロナール錠300 300mg	
5	内服 内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒   SG配合顆粒   SG配合	_
5 6	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	
7	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	622081101	トラムセット配合錠	-
8	内服	620160301	PL配合頼和 カロナール錠200 200mg	内服	620160801	トーワチーム配合顆粒	-
9	内服	620002023	カロナール錠200 200mg カロナール錠200 200mg	内服	620160801	ピーエイ配合錠	_
0	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	611170749	コントミン糖衣錠100mg	_
1	1	611170692	バルネチール錠100 100mg バルネチール錠100 100mg	内服	611170749	コントミン糖衣錠50mg	_
2	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ペレックス配合顆粒	_
3	内服			内服		プロムペリドール錠3mg「アメル」	_
4	内服	620155101	スルトプリド塩酸塩錠200mg「アメル」		620152501		_
	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	611170192	セレネース錠1mg	_
5	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	_
3	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	_
7	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	611170326	ヒルナミン錠(5mg)	_
3	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	620158001	ベゲタミン-A配合錠	
9	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	_
)	内服	610443020	ネオーラル50mgカプセル	内服	622271901	ピタバスタチンカルシウム錠2mg「日医工」	
l	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	610453103	ヒルナミン錠(25mg)	
2	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	610409341	リスパダール錠2mg	
3	内服	616240001	小児用バクシダール錠50mg	内服	620090601	イブプロフェン錠100mg「タイヨー」	
4	内服	620071204	アセトアミノフェン細粒20%「JG」	内服	620160501	PL配合顆粒	
5	内服	616290177	イトリゾールカプセル50 50mg	内服	611120055	ハルシオン0. 25mg錠	
5	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	
7	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620161401	ピーエイ配合錠	
3	内服	622041001	シュアポスト錠0.5mg	内服	622031401	グリメピリド錠1mg「杏林」	
)	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620160801	トーワチーム配合顆粒	
)	内服	620008279	アセトアミノフェン原末「マルイシ」	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	
1	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160801	トーワチーム配合顆粒	
2	内服	620155101	スルトプリド塩酸塩錠200mg「アメル」	内服	621508801	ハロペリドール錠1.5mg「アメル」	
3	内服	620155101	スルトプリド塩酸塩錠200mg「アメル」	内服	620131101	レボメプロマジン錠25mg「アメル」	
Į	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	
5	内服	620155101	スルトプリド塩酸塩錠200mg「アメル」	内服	620005635	リスペリドン内用液1mg/mL「ヨシトミ」 0.1%	
5	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	610453063	セレネース錠0.75mg	
7	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	610453151	レボトミン錠25mg	
3	内服	620008279	アセトアミノフェン原末「マルイシ」	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	
9	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	
)	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160301	ペレックス配合顆粒	
l	内服	621499601	クリアミン配合錠A1.0	内服	616140105	クラリス錠200 200mg	
2	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	
3	内服	620008279	アセトアミノフェン原末「マルイシ」	内服	620160301	ペレックス配合顆粒	
1	内服	620001908	グルファスト錠10mg	内服	610443002	アマリール1mg錠	
5	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421115	ホクナリンテープ0.5mg	
5	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160301	ペレックス配合顆粒	
7	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160801	トーワチーム配合顆粒	
8	内服	620160301	ペレックス配合顆粒	内服	620160501	PL配合顆粒	
9	内服	622028201	インヴェガ錠3mg	内服	620005621	リスペリドン錠2mg「CH」	
0	内服	622028401	インヴェガ錠9mg	内服	620005621	リスペリドン錠2mg「CH」	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年2月28日時点。

※リストは51件以上省略

# (9) 服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起こりやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起こりやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関の受診があり6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者は1,120人である。

#### 薬剤種類数別対象者数

対象者数(人)										
	年齢階層	~39歳	40歳 ~44歳	45歳 ~49歳	50歳 ~54歳	55歳 ~59歳	60歳 ~64歳	65歳 ~69歳	70歳~	合計
被	保険者数(人)	8, 313	1,635	1,821	1,599	1,772	3, 101	4,903	3,627	26, 771
	1種類	69	11	8	18	20	32	67	51	276
	2種類	63	13	20	14	21	41	88	69	329
	3種類	52	13	20	25	28	54	101	110	403
	4種類	49	9	13	22	27	62	102	99	383
	5種類	30	11	8	9	16	56	112	127	369
	6種類	16	5	14	7	16	40	95	89	282
	7種類	11	4	10	8	14	22	64	85	218
	8種類	12	10	9	13	10	17	55	61	187
-14-	9種類	6	4	5	9	7	15	30	43	119
薬剤	10種類	6	5	6	4	2	9	26	32	90
種	11種類	5	2	0	0	6	14	25	28	80
類	12種類	2	2	3	2	4	6	12	12	43
数	13種類	2	1	1	1	0	3	11	15	34
	14種類	0	1	1	0	2	5	5	6	20
	15種類	3	0	0	0	0	1	1	4	9
	16種類	0	0	0	1	0	2	3	2	8
	17種類	1	1	0	1	0	0	2	1	6
	18種類	1	0	1	0	0	4	1	4	11
	19種類	0	1	1	0	0	1	0	1	4
	20種類	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	21種類以上	0	0	1	0	1	2	2	1	7
	合計	328	93	121	134	174	387	802	841	2,880



1,120

長期多剤服薬者数(人)※

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年11月~平成29年2月診療分(4カ月分)。

資格確認日…平成29年2月28日時点。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

また、長期多剤服薬者1,120人が被保険者全体に占める割合は4.2%、長期服薬者全体に 占める割合は38.9%である。

# 長期多剤服薬者の状況

		~39歳	40歳 ~44歳	45歳 ~49歳	50歳 ~54歳	55歳 ~59歳	60歳 ~64歳	65歳 ~69歳	70歳~	合計
A	被保険者数(人)	8, 313	1, 635	1, 821	1, 599	1,772	3, 101	4, 903	3, 627	26, 771
В	長期服薬者数(人)※	328	93	121	134	174	387	802	841	2, 880
С	長期多剤服薬者数(人)※	65	36	52	46	62	142	332	385	1, 120
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.8%	2.2%	2. 9%	2. 9%	3. 5%	4. 6%	6. 8%	10.6%	4. 2%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	19.8%	38. 7%	43.0%	34. 3%	35. 6%	36. 7%	41.4%	45. 8%	38. 9%

#### データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年11月~平成29年2月診療分(4カ月分)。

#### 資格確認日…平成29年2月28日時点。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期服薬者数…1種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

# 4. 分析結果に基づく健康課題の把握

# (1)分析結果

平成28年4月から平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果と平成26年度から平成28年度における分析結果を以下にまとめた。

神栖市国民健康保険の抱える課題は、生活習慣病及び新生物への対策が課題であると言える。

# ①疾病大分類

### 【平成28年度】

医療費が高い疾病では循環器系の疾患が1位、内分泌,栄養及び代謝疾患が3位、患者数で内分泌,栄養及び代謝疾患が3位と生活習慣病が上位を占めていた。また新生物も医療費と患者一人当たりの医療費で2位であった。患者一人当たりの医療費の1位が周産期に発生した病態、3位が精神及び行動の障害であった。母子部門・福祉部門へ情報提供し、連携を取る。

医療費力	ぶ高い疾病	構成比
1位	循環器系の疾患	17. 3%
2位	新生物<腫瘍>	14. 6%
3位	内分泌,栄養及び代謝疾患	10. 2%

患者数点	が多い疾病	患者数
1位	呼吸器系の疾患	13,954人
2位	消化器系の疾患	12,145人
3位	内分泌,栄養及び代謝疾患	11,136人

患者一人	し当たりの医療費が高額な疾病	患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	176, 898円
2位	新生物<腫瘍>	149, 042円
3位	精神及び行動の障害	135, 561円

### 【平成26年度~平成28年度】

大分類で医療療費が高い疾病を3年度で見てみると、順位に変動はなく、1位は循環器系の疾患、2位は新生物、3位は内分泌,栄養及び代謝疾患であった。循環器系の疾患は割合は減少傾向で、新生物は増加傾向にある。

医	療費が高	高い疾病	構成比
平成	1位	循環器系の疾患	18. 7%
26	2位	新生物<腫瘍>	12. 9%
年度	3位	内分泌,栄養及び代謝疾患	10.6%
平成	1位	循環器系の疾患	17.8%
27	2位	新生物<腫瘍>	13. 2%
年度	3位	内分泌,栄養及び代謝疾患	10.3%
平成	1位	循環器系の疾患	17. 3%
28	2位	新生物<腫瘍>	14. 6%
年度	3位	内分泌,栄養及び代謝疾患	10.2%

# ②疾病中分類別

# 【平成28年度】

大分類を細分化し、中分類で分析を行った結果、医療費が高い疾病では、糖尿病が1位、高血圧性疾患が2位、その他の悪性新生物が3位であった。患者数が多い疾病では、糖尿病が2位、高血圧性疾患が3位、患者一人あたりの医療費が高額な疾病では、腎不全が2位であった。

	, C 0	
医療費	が高い疾病	構成比
1位	糖尿病	5.6%
2位	高血圧性疾患	5. 5%
3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	5. 0%
患者数	が多い疾病	患者数
1位	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類 されないもの	7,872人
2位	糖尿病	7,856人
3位	高血圧性疾患	7,766人
患者一	人当たりの医療費が高額な疾病	患者一人当たりの医療費
1位	白血病	1,698,270円
2位	腎不全	640, 554円
3位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	464, 534円

### 【平成26年度~平成28年度】

中分類で医療費が高い疾病を3年度でみると、平成26年度と平成27年度の1位は高血圧性疾患、2位は糖尿病、3位は腎不全であった。平成28年度は1位は糖尿病、2位は高血圧性疾患、3位はその他の悪性新生物であった。

医	療費が高	い疾病	構成比
平	1位	高血圧性疾患	6. 3%
成 26 年	2位	糖尿病	5. 8%
度	3位	腎不全	5. 0%
平成	1位	高血圧性疾患	5. 8%
双 27 年	2位	糖尿病	5. 5%
度	3位	腎不全	4. 6%
平成	1位	糖尿病	5. 6%
双 28 年	2位	高血圧性疾患	5. 5%
度	3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	5.0%

# ③高額(5万点以上)レセプトの件数と割合、疾病傾向

高額レセプトの発生件数の割合は、平成26年度は0.6%であったが、平成27年度に0.7% に増え、平成28年度も0.7%であった。医療費全体における割合では、平成26年度は28.5%、平成27年度は31.1%、平成28年度は31.5%で、医療費割合は増えている。

平成	高額レセプト件数	2,033件
26	高額レセプト件数割合	0.6%
年度	高額レセプト医療費割合	28.5%
平成	高額レセプト件数	2,166件
27	高額レセプト件数割合	0.7%
年度	高額レセプト医療費割合	31.1%
平成	高額レセプト件数	2,079件
28年度	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	31. 5%

高額レセプトの患者一人あたりの医療費の高い疾病では、腎不全が3年連続で5位以内に入っている。また、くも膜下出血が平成26年度は1位、平成27年度は3位であった。

1, , , ,	-	ト発生患者の疾病傾向 たりの医療費順(中分類)	患者数	患者一人当たりの 医療費
	1位	くも膜下出血	3人	6,877,800円
平成	2位	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	1人	6, 794, 450円
26	3位	白血病	13人	6, 662, 578円
年度	4位	腎不全	41人	5, 130, 821円
	5位	真菌症	2人	4, 669, 605円
	1位	白血病	13人	10, 118, 436円
平成	2位	悪性リンパ腫	4人	8, 445, 645円
27	3位	くも膜下出血	2人	6, 523, 700円
年度	4位	腎不全	36人	5, 210, 273円
	5位	その他の精神及び行動の障害	3人	4,667,433円
	1位	白血病	9人	9, 114, 528円
平	2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2人	7, 438, 670円
成 28	3位	自律神経系の障害	1人	6, 954, 750円
年度	4位	悪性リンパ腫	7人	6, 239, 967円
	5位	腎不全	27人	5, 511, 454円

高額レセプトが発生している患者数の多い疾病では、虚血性心疾患が平成26年度に1位、 平成27年度と平成28年度に2位であった。また、その他の悪性新生物が、平成26年度は2 位、平成27年度と平成28年度は1位であった。脳梗塞、その他の心疾患は3年連続で5位以 内に入っている。

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者数順(中分類)			患者数	患者一人当たりの 医療費
	1位	虚血性心疾患	83人	2,158,708円
平成	2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	69人	3,312,983円
26	3位	骨折	56人	1,919,058円
年度	4位	脳梗塞	54人	2,410,534円
	5位	その他の心疾患	44人	3,987,188円
	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	84人	3,396,020円
平成	2位	虚血性心疾患	71人	2,298,641円
27	3位	脳梗塞	53人	2,576,551円
年度	4位	その他の心疾患	52人	3,135,949円
	5位	ウイルス性肝炎	48人	4,462,744円
	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	90人	3,397,016円
平	2位	虚血性心疾患	76人	2,382,187円
成 28	3位	その他の心疾患	54人	2,623,026円
年度	4位	骨折	54人	1,800,225円
	5位	脳梗塞	50人	2,384,475円

### ④特定健康診査及びレセプトデータによる分析

平成28年度の特定健康診査とレセプトデータによる分析の結果、健診異常値を放置している人は976人、生活習慣病の治療を中断している人は151人、生活習慣病の状態不明者は7,440人であった。

健診異常値放置者	976人
生活習慣病治療中断者	151人
生活習慣病状態不明者	7,440人

# ⑤人工透析患者の実態

平成26年度から平成28年度のレセプトデータより、人工透析患者を分析したところ、人工透析患者は減少傾向にあるが、II型糖尿病が起因である患者の割合は増えている。

	平成20	6年度	平成2	7年度	平成2	8年度
人工透析患者	81人		77人		73人	
※うちⅡ型糖尿病 起因患者	53人	65. 4%	46人	60.0%	49人	67. 1%

### ⑥医療機関受診状況

平成28年度のレセプトデータより、医療機関の受診状況に問題のある被保険者を分析した結果、多受診の重複受診者が148人、頻回受診者が193人、重複服薬者が678人にいた。また、服薬に問題のある薬剤併用禁忌対象者は611人、長期多剤服薬者は1,120人いた。

重複受診者	148人
頻回受診者	193人
重複服薬者	678人
薬剤併用禁忌対象者	611人
長期多剤服薬者	1,120人

# (7)ジェネリック医薬品普及率(数量ベース/医科・調剤レセプト)

数量ベースのジェネリック医薬品の普及率は、平成26年度が58.6%、平成27年度が61.8%、 平成28年度が65.5%であった。直近の平成29年3月の普及率は、67.3%である。

※2020年(平成32年)9月までに普及率80%目標/厚生労働省

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	58. 6%	61.8%	65. 5%

# (2)分析結果に基づく課題とその対策

# 分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額な状況である。特に糖尿病と高血 圧は患者が多く、それらが重症化した心疾患や脳疾患、腎不全の医療費も高額化 している。また特定健康診査の受診率と保健指導の実施率は、28年度は31.8%、 34.3%で、さらなる受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことによ り生活習慣病を予防する。	<ul><li>・特定健康診査未受診者 対策</li><li>・特定保健指導事業</li><li>・人間ドック等健康診査 費用助成事業</li><li>・若年者健康診査事業</li></ul>
◆生活習慣病の予防と知識普及啓発 生活習慣病の予防と早期発見・早期治療のため、市民に広く健康づくりを意識 し、生活習慣改善に取り組めるよう、啓発活動を行う。	・ポピュレーション アプローチ (健康づくりに関する 普及啓発)事業
◆糖尿病性腎症 人工透析に至ってしまった患者の半数以上がⅡ型糖尿病が起因である(平成28 年度 73人中49人)。また中分類疾病の分析では3年連続で医療費の高い疾病の上 位に糖尿病が上がっている。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。 腎症以外の合併症も併発し、医療費が高額となると同時に患者のQOLの低下が問 題となる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化 を遅延させることができると考える。	•糖尿病性腎症 重症化予防
◆高血圧症患者 高血圧症の患者が多く、虚血性心疾患や脳梗塞など重症化し、医療費が高額と なった患者が多く存在する。早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、 重症化を予防する。	• 高血圧症重症化予防 事業
◆重複·頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在している(平成28年度 重複受 診者148人、頻回受診者193人、重複服薬者678人)。それらの患者を正しい受診行 動に導く指導が必要である。	・受診行動適正化指導 事業
◆ジェネリック医薬品の普及率 直近の普及率(数量ベース)は、67.3%で、国が定める目標(80%以上)と比較して 低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。	・ジェネリック医薬品 差額通知
◆薬剤併用禁忌 多数の薬剤併用禁忌対象者が存在する(平成28年度 611人)。医療機関等に情報 提供し、併用禁忌となる薬剤の処方を防止する。またお薬手帳の啓発活動を行い 健康被害の減少を目指す。	・薬剤併用禁忌防止
◆服薬の状況 多数の長期多剤服薬者が存在する(平成28年度 6剤以上1,120人)。多剤服薬は 副作用が起こりやすく様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要がある。	・服薬情報通知
◆精神疾患 統合失調症やうつ病など、精神疾患者が多く存在しており、一人当たり医療費 も高額であるため(平成28年度大分類で、一人当たり医療費3位)、被保険者の精 神的な健康増進を図る必要がある。	・精神疾患の分析

# 5. 保健事業実施計画

# (1)各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査 未受診者対策 (特定健診受診率向上)	被保険者の生活習慣病予防	特定健診を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点 から受診するように訪問による個別勧奨、受診勧奨通知を 行う。
特定保健指導事業	被保険者の生活習慣病予防	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。
糖尿病性腎症重症化 予防事業	被保険者の糖尿病重症化予防	特定健診の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職より対象者個人に面談指導と電話指導を行う。 指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導 完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように日常 に根付いたものとする。
高血圧症重症化 予防事業	高血圧症患者の減少	特定健診の検査値と高血圧症に関わるレセプト及び日本高血圧学会の高血圧治療ガイドライン2014に基づいて対象者を特定し、専門職より対象者個人に面談指導と電話指導を行う。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように日常に根付いたものとする。
受診行動適正化 指導事業 (重複·頻回受診、 重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬 者数の減少	レセプトデータから、医療機関への過度な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、通知書を送付する。
ジェネリック 医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、 ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一 定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付するこ とで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
薬剤併用禁忌防止事業	薬剤併用禁忌の発生件数減少	レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。 薬剤併用禁忌の対象者リストを作成する。
服薬情報通知事業	服薬の適正化	レセプトデータから、長期多剤服薬者を特定し通知書を送付する。また、通知後のレセプトデータから効果を確認する。

実施内容	目標値			
平成30年度~平成35年度	アウトプット	アウトカム		
4年以上の健診未受診者の中から対象者を 選定し家庭訪問を行う。未受診の理由を把 握し、内容別に応じた受診勧奨を実施する。 年度内未受診者に対し、受診勧奨通知を実 施する。	再勧奨対象者への通知率 100% 訪問実施人数のモニタリング	特定健診受診者数の増加		
神栖市国民健康保険第2期特定健康診査等 実施計画に基づき、指導対象者に対して適 切な保健指導を行う。健診データより検査 値の推移を確認する。	指導対象者の指導実施率向上 (法定報告確認)	積極的支援及び動機付け支援対象者 数が減少する(階層化人数で確認して いく)		
健診結果から指導対象者を抽出し、指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導実施者に対し、健診、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認。	指導対象者の指導実施率の向上 (実施人数を確認していく)	指導実施後の対象者のCKD重症度 分類を悪化させない		
健診結果から指導対象者を抽出し、適切な 指導を行う。健診、レセプトデータより検 査値の推移、定期的な通院の有無等を確認。	指導対象者の指導実施率の向上	指導実施後の対象者の血圧値が低下 する		
対象者に対して適切な受診行動に促す案内文書を送付する。	対象者への通知率 100% 以上	対象者の受診行動適正化 50% 通知後の医療費 50% 減少 重複・頻回受診者、重複服薬者 20% 減少		
年3回、2,000通/回 程度を想定。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、 継続を検討する。	対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率(数量 ベース)32年9月までに80%		
薬剤併用禁忌の対象者リストを作成。	薬剤併用禁忌割合 10%減少	併用禁忌薬剤による健康被害 0%		
対象者を特定し、服薬情報通知書を発送する。通知後に対象者の服薬状況が適正と なっているかを確認する。	対象者への通知率 100%	対象者における服薬の適正化 5% 減少 長期多剤服薬者割合 5ポイント 減少		

事業名	事業目的	事業概要
人間ドック等健康診査 費用助成事業	被保険者の生活習慣病・疾病の予防	人間ドック等の検査費用の助成を実施する。受診者のうち 特定保健指導対象者を特定し、特定保健指導を実施する。
若年者健康診査事業	生活習慣病の早期予防	16歳〜39歳の市民を対象に健康診査を実施する。健康診査 後、保健指導実施の周知を行い、希望者へ保健指導を実施 する。
ポピュレーション アプローチ (健康づくりに関する 普及啓発) 事業	健康に対する意識を向上させ、 健康的な生活習慣を定着させる	生活習慣病予防をはじめとした健康づくりに関する講演や 教室、健康増進事業を実施する。 年6回の医療費通知の送付を実施する。
精神疾患の分析	被保険者の精神的な健康増進 (精神疾患者の減少)	精神及び行動の障害の分析による傾向、課題の把握

実施内容	目標	票値
平成30年度~平成35年度	アウトプット	アウトカム
40歳以上の国民健康保険被保険者の人間 ドック等検診利用者に対し、検診費用の助 成を行う(契約医療機関のみ)。特定健診の 検査項目を必須とし、特定健診受診率向上 を図るとともに、特定保健指導該当者には、 特定保健指導を実施する。	事業の周知をすすめるとともに、事業が円滑に進むよう関係各課や関係機関との調整を行う。	人間ドック等健康診査費用助成 事業利用者の増加
16~39歳の市民を対象に、生活習慣病予防 や疾病の早期発見を目的にした健康診査を 実施。健診受診者に健康講座や保健師相談 の周知をし、保健指導につなげる。	若年者への健康診査事業の周知方法 の拡大	受診者を増加させる
生活習慣病予防対策として、市民健康講座・ウォーキング教室を実の健康相談や健康づくり教室の開催。 健康づくりの啓発や普及対策として、市内大型店舗に出向いての健康チェックのの政策が表して、市内大型店舗に出向での健康チェックのの設置。市民自らの、生活習慣改善や健康づくりに関する取り組みやきっかけを応援する「かみす健康育サポーターを育成し、減塩等の講話・調理実習を通し食生活と連携し、幼稚園の親子を対象に食育と減塩教育を実施。食生活の協働で、分析し有効な対策を立て実施。第波大学の先生の協力により小中学校を対象に喫煙予防教室を実施。年6回の医療費通知の送付を実施。	健康づくり事業の効果的な開催時期	健康づくり事業の参加者が増加する
精神疾患者を特定し、疾病の経緯や要因を 資格履歴等を勘案して調査を実施	レセプトの分析や他保険者との連携 による傾向や現状の把握	精神疾患発生の仕組みや原因を調べ ることで精神疾患者の減少を図る

# (2)全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

		第1期				第2	期		
事業名	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度 35	平成 5年度
特定健康診査 未受診者対策		実施		P	D		P	D	
//XW-1/1///			評価	P		CA CA	P		СА
特定保健指導事業		実施	評価	νĮ	D	C A	ν [	D	C A
生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業		実施	評価	P	D	CA	P	D	C A
糖尿病性腎症 重症化予防事業		実施	評価	P	D		P	D	
高血圧症 重症化予防事業		実施		P	D	CA	P	D	CA
受診行動適正化 指導事業		実施	評価	P	D	CA	P	D	C A
(重複・頻回受診、重複服薬) ジェネリック 医薬品差額通知事業		実施	評価	P	D	CA	P [	D	СА
薬剤併用禁忌 防止事業		実施	評価	P	D	CA C	P	D	CA
服薬情報通知事業			評価 [	P	D	CA	P	D	CA
人間ドック等		実施	$\rightarrow$	P	D	CA	P	D	СА
健康診査費用助成事業		実施	評価	P	D	CA	P	D	СΑ
若年者健康診査事業 ポピュレーションアプローチ			評価	P		CA	P		СА
ホミュレーションテラローデ 健康づくりに関する普及啓発)事 業		実施	評価	\ \	D : [	CA	/[ 	D	СА
精神疾患の分析				P	D	CA	P	D	

# (3)各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

# ①特定健康診査未受診者対策

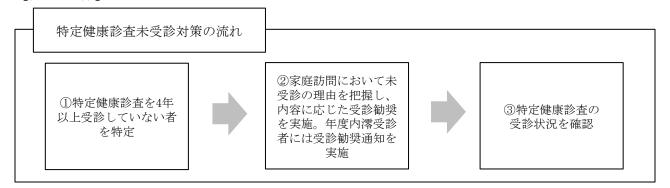
#### 【事業目的】

被保険者の生活習慣病予防

### 【事業概要】

特定健康診査を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように訪問による個別勧奨、受診勧奨通知を行う。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット		アウトカム								
7 9 1 9 1		目標値	評価方法							
再勧奨対象者への通知率 100%	短期	受診勧奨対象者の特定健 康診査受診者数の増加	事業対象者のうち特定健康診査を 受診した人数より確認する。							
訪問実施人数のモニタリング	中長期	特定健康診査受診率 45%	特定健康診査受診率を確認する。							

# 【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D(安仁)	対象者特定、準備	$\bigcup$											
	D(実行)	指導実施			Ų.								$\widehat{\prod}$	
亚什么在第	0/4/用測点)	効果測定												
平成30年度~ 平成32年度	C(効果測定)	効果確認												
	A(改善)	改善計画												$\bigoplus$
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												$\bigoplus$

# ②特定保健指導事業

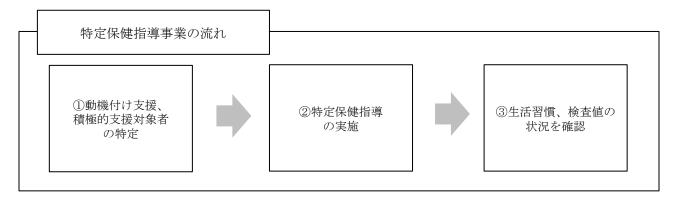
### 【事業目的】

被保険者の生活習慣病予防

#### 【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話で行う。

### 【事業内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット		アウトカム								
7 9 17 9 1		目標	評価方法							
指導対象者への指導実施率向上	短期	積極的支援及び動機付け 支援対象者数が減少する	指導前後の階層化人数で確認する							
(法定報告確認)	中長期	積極的支援及び動機付け 支援対象者15% 減少	特定保健指導対象者割合の推移を 確認する							

# 【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (1444=)	対象者特定、準備				$\overline{\parallel}$								$\Longrightarrow$
	D(実行)	指導実施	$\overline{\parallel}$		l	l								
Ti-books the		効果測定												
平成30年度~ 平成32年度	C(効果測定)	効果確認												$\langle \Rightarrow \rangle$
	A(改善)	改善計画												$\bigoplus$
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												$\iff$

# ③糖尿病性腎症重症化予防事業

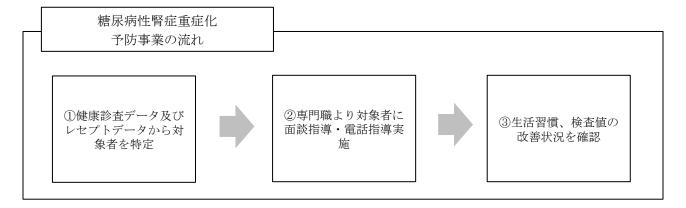
### 【事業目的】

被保険者の糖尿病重症化予防

### 【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に指導を行う。

### 【実施内容】



### 【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット		アウトカム								
7 9 1 9 1		目標値	評価方法							
指導対象者の指導実施率の向上	短期	指導実施後の対象者のCKD 重症度分類を悪化させない	指導後の結果から生活習慣や検査 値の改善状況を確認する。							
	中長期	糖尿病治療患者に占める 新規人口透析患者割合の 維持(H28年度 1.19%)	レセプトデータより新規人工透析 患者数の推移を確認する。							

# 【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (4445)	対象者特定、準備					 						I	$\qquad \qquad $
	D(実行)	指導実施	K											
Ti-book tr	a /취 및 게 수\	効果測定												
平成30年度~ 平成32年度	C(効果測定)	効果確認												
	A(改善)	改善計画												
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												$\Longleftrightarrow$

# ④高血圧症重症化予防事業

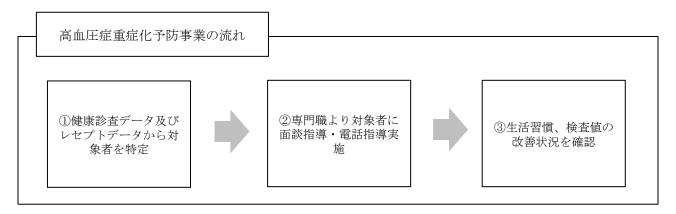
### 【事業目的】

高血圧症患者の減少

#### 【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に指導を行う。

### 【実施内容】



### 【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット		アウトカム								
		目標値	評価方法							
	短期	指導実施後の対象者の血 圧値が低下する	指導後の検査値の改善状況を確認 する							
指導対象者の指導実施の向上	中長期	高血圧患者の減少	レセプトデータより高血圧患者数 の推移を確認する。							

# 【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (H+4=)	対象者特定、準備												
	D(実行)	指導実施	$\bigcup$											$\Longrightarrow$
Ti-books to	a /취 및 게 수\	効果測定												$ \Longrightarrow$
平成30年度~ 平成32年度	C(効果測定)	効果確認											•	$\bigoplus$
	A(改善)	改善計画											•	
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)											•	$\Longrightarrow$

# ⑤受診行動適正化指導事業(重複·頻回受診、重複服薬)

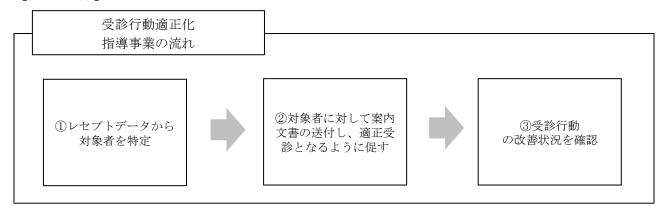
### 【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

#### 【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して 服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について通知書を送付する。

### 【実施内容】



#### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット		アウトカム								
7 9 1 9 1		目標値	評価方法							
対象者への通知率 100% 以上	短期	対象者の受診行動適正化 50% 通知後の医療費 50% 減少	通知後の医療機関受診状況を確認 する。							
	中長期		多受診対象者数の推移により確認 する。							

# 【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (4445)	対象者特定、準備		igg										
	D(実行)	指導実施				Ų.			$\widehat{\prod}$					
亚		効果測定					$\bigvee$			$\bigcap$				
平成30年度~ 平成32年度	C(効果測定)	効果確認												$\bigoplus$
	A(改善)	改善計画												
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												$\qquad \qquad \Longleftrightarrow \qquad \qquad$

# ⑥ジェネリック医薬品差額通知事業

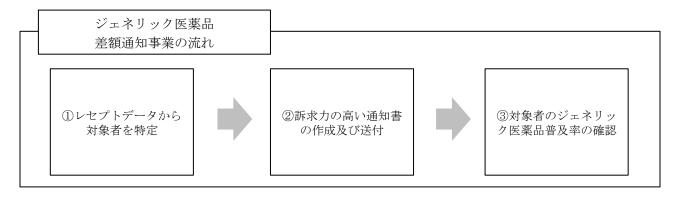
# 【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

#### 【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

# 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウ	トカム
7 9 1 2 9 1	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	通知対象者のジェネリック医薬品 普及率(数量ベース) 32年9月まで に80%	通知前後のジェネリック医薬品普 及率(数量ベース)を確認する。

# 【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (4445)	対象者特定、準備	$\overline{\parallel}$									$\widehat{\prod}$		
	D(実行)	指導実施	·											
Ti-book tr		効果測定				$\vdash$	l							
平成30年度~ 平成32年度	C(効果測定)	効果確認												
	A(改善)	改善計画												
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												$\Longrightarrow$

# ⑦薬剤併用禁忌防止事業

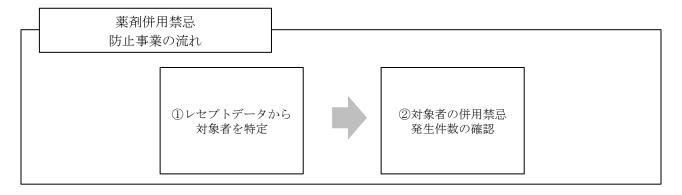
### 【事業目的】

薬剤併用禁忌の発生件数減少

### 【事業概要】

レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成する。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウ	トカム
7 9 1 2 9 1	目標値	評価方法
薬剤併用禁忌の対象者リストを 作成	対象者の薬剤併用禁忌発生 10% 減少	併用禁忌薬剤による健康被害 0%

# 【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (4445)	対象者特定、準備 4												
	D(実行)	指導実施				$\overline{\parallel}$								
亚		効果測定												
平成30年度~ 平成32年度	C(効果測定)	効果確認				$\bigoplus$								
	A(改善)	改善計画					$\bigcup$							
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												$\left  \bigoplus_{i \in I} \right $

# ⑧服薬情報通知事業

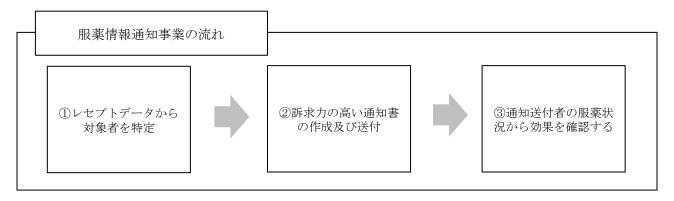
#### 【事業目的】

服薬の適正化

#### 【事業概要】

レセプトデータから、長期多剤服薬者を特定し通知書を送付する。また、通知後のレセプトデータから効果を確認する。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム								
		目標値	評価方法						
	短期	対象者の長期多剤服薬 5% 減少	通知前後の服薬状況から確認する。						
対象者への通知率 100%	中長期	長期多剤服薬者割合 5ポイント 減少	長期多剤服薬者割合の推移により 確認する。						

# 【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		対象者特定、準備												
	D(実行)	指導実施					$\widehat{\mathbb{Q}}$							
亚母20年度。	C(効果測定)	効果測定					•					}		
平成30年度~ 平成32年度	((効未例足)	効果確認											$\leftarrow$	
	A(改善)	改善計画												$\langle \Box \rangle$
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												$\bigoplus$

# ⑨人間ドック等健康診査費用助成事業

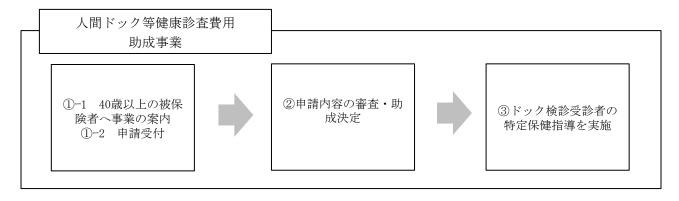
### 【事業目的】

被保険者の生活習慣病・疾病の予防

#### 【実施概要】

人間ドック等の検査費用の助成を実施する。受診者のうち特定保健指導対象者を特定 し、特定保健指導を実施する。

# 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウ	ヘカム
7 9 1 9 1	目標値	評価方法
事業の周知を進めるとともに、事業が円滑に進むよう関係各課や関係機関との調整を行う	人間ドック等健康診査費用助成 事業利用者の増加	利用状況の確認

# 【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (H+A=)	対象者特定、準備	$\prod$											
	D(実行)	指導実施												1
7 5	- (dd P7 )7d da)	効果測定												
平成30年度~ 平成32年度	C(効果測定)	効果確認												
	A(改善)	改善計画												
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												$\Longleftrightarrow$

# ⑩若年者健康診查事業

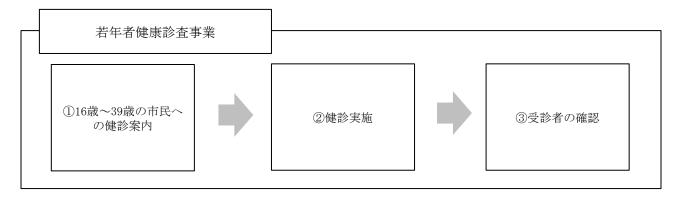
# 【事業目的】

生活習慣病の早期予防

#### 【実施概要】

16歳~39歳の市民を対象に健康診査を実施する。健康診査後、保健指導実施の主値を行い、希望者へ保健指導を実施する。

### 【実施内容】



#### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウ	トカム
7 9 1 2 9 1	目標値	評価方法
若年者への健康診査事業の周知 方法の拡大	受診者を増加させる	受診状況の確認

# 【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (4445)	対象者特定、準備	$\overline{\parallel}$	$\Longrightarrow$										
	D(実行)	指導実施						$\Rightarrow$						
亚		効果測定												$\bigoplus$
平成30年度~ 平成32年度	C(効果測定)	効果確認												$\bigoplus$
	A(改善)	改善計画												$\bigoplus$
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												

⑪ポピュレーションアプローチ(健康づくりに関する普及啓発)事業

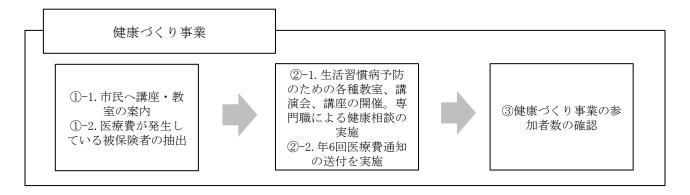
### 【事業目的】

健康に対する意識を向上させ、健康的な生活習慣を定着させる

#### 【実施概要】

生活習慣病予防をはじめとした健康づくりに関する講演や教室、健康増進事業を実施する。年6回の医療費通知の送付を実施する。

### 【実施内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウト	トカム
7 9 5 7 9 5	目標値	評価方法
健康づくり事業の効果的な開催時期や期間を見直しながら、実施回数を増加させる	健康づくり事業の参加者が増加する	健康づくり事業の参加者数の確認

# 【実施スケジュール】

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D (##4=)	対象者特定、準備				i I		i						
	D(実行)	指導実施	$\overline{\parallel}$											
Ti-bas for the		効果測定												$\Longleftrightarrow$
平成30年度~ 平成32年度	C(効果測定)	効果確認												$\bigoplus$
	A(改善)	改善計画												$\bigoplus$
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												$\bigoplus$

# ⑫精神疾患の分析

#### 【事業目的】

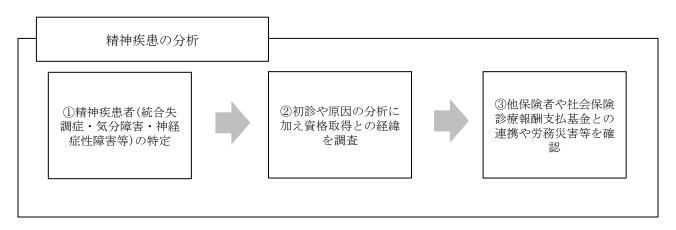
被保険者の精神的な健康増進

#### 【実施概要】

精神及び行動の障害の分析

### 【実施内容】

傷病分類において0500番台の数値が与えられているレセプトを持つ患者の以前の受診 行動や治療内容が当該年度以降の受診行動に与える可能性を分析、また調剤の向精神薬 (抗不安薬・睡眠薬)との関連調査



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム							
7 9 17 9 1	目標値	評価方法						
精神及び行動の障害の分析から 傾向や現状の把握	精神疾患にかかる医療費の削減 精神疾患者の減少	精神疾患発生の仕組みや原因究明自殺の減少						

# 【実施スケジュール】

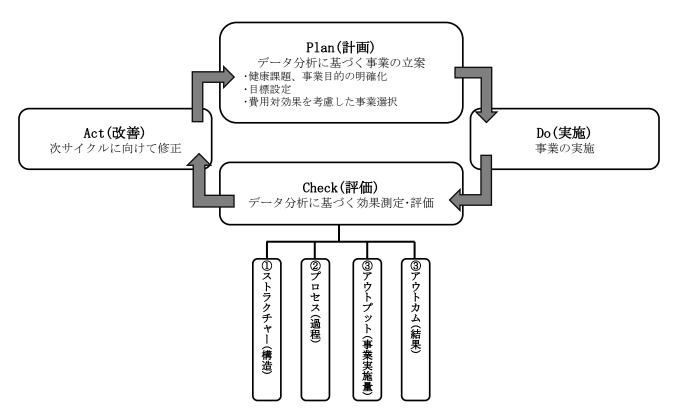
実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度~ 平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		IJ	$\widehat{\prod}$									
		指導実施				$\widehat{\mathbb{H}}$								
	C(効果測定)	効果測定					$\bigcup$		$\widehat{\prod}$					
		効果確認								$\bigcup$				
	A(改善)	改善計画												$(\Box)$
	P(計画)	実施計画策定 (次年度)												$\Longleftrightarrow$

# 6. その他

# (1)データヘルス計画の見直し

### ①評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、達成状況により必要に応じて次年度の実施計画の見直しを行う。



# ②評価時期

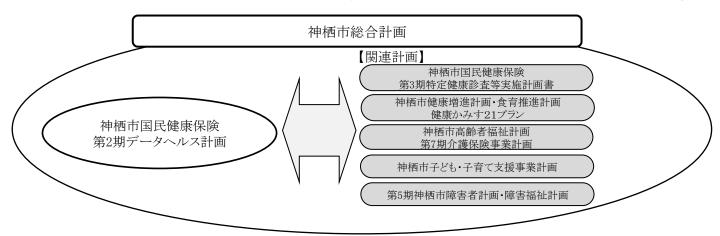
本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

# (2)計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

# (3) 本計画の位置付け

本計画は、当市の関連計画で定めた評価指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図る。

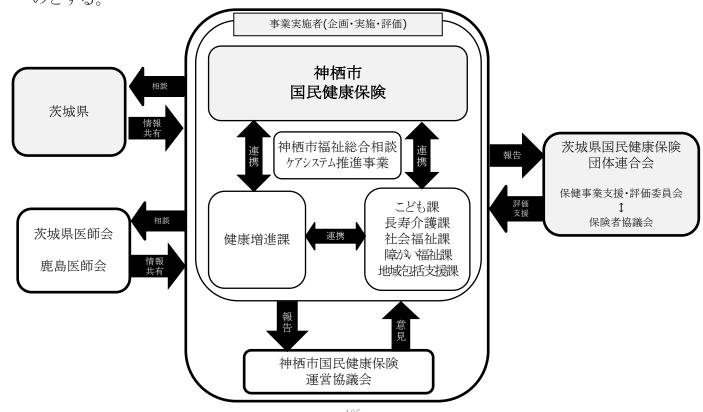


# (4)事業運営上の留意事項

保健事業の推進に当たっては、一般衛生部門等との連携が重要になる。地域全体の健康課題を底上げするためのポピュレーションアプローチの実施等は一般衛生部門との連携により事業を実施する。また、生活習慣病の合併症は、要介護状態の原因疾患になることも多いため、65歳以上の前期高齢者に関する事業は、介護部門と連携する。

さらに、福祉サービス等を総合的、包括的に提供するための支援体制として実施している「神栖市福祉総合相談ケアシステム推進事業」に参画し、国民健康保険の立場で福祉部門全般と連携する。

また、計画の評価・見直しについては、茨城県国民健康団体連合会の支援を受けるものとする。



# (5)個人情報の保護

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティーポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

# 参考資料 中学校区における医療費状況

## 1.上位3疾病のレセプト件数の多い上位3医療機関

平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、中学校区における上位3疾病のレセプト件数の多い上位3医療機関を以下に示す。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

## 【神栖第一中学校】

### 大分類 入院

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	神栖済生会病院	総合病院国保旭中央病院
2	IX. 循環器系の疾患	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	神栖済生会病院	総合病院国保旭中央病院
3	XI. 消化器系の疾患	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	神栖済生会病院	公益財団法人 鹿島病院

#### 大分類 入院外

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	IX. 循環器系の疾患	野口医院		社会福祉法人白十字会 白十字総合病院
2	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	野口医院	加州冷生金洞层	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院
3	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	神栖済生会病院	総合病院国保旭中央病院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院

#### 中分類 入院

順位	疾病項目(中分類)		疾病項目(中分類) 医療機関(レセプト件数の多い上位3医療機関)		3医療機関)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	神栖済生会病院	総合病院国保旭中央病院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院
2	0902	虚血性心疾患	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	鹿嶋ハートクニリック	総合病院国保旭中央病院
3	0503	統合失調症,統合失調症型障 害及び妄想性障害		医療法人精光会 みやざきホスピタル	医療法人碧水会 汐ケ崎病院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0901	高血圧性疾患	野口医院	神栖済生会病院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院
2	0402	糖尿病	神栖済生会病院	野口医院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院
3	0403	脂質異常症	野口医院	神栖済生会病院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

## 【神栖第二中学校】

## 大分類 入院

順位	疾病項目(大分類)	医療機関(レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	┃Ⅱ. 新生物〜胆場>	日十子総合物阮	仲怬済生会病院	東京医科大学茨城医療 センター
2	IX. 循環器系の疾患	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	鹿嶋ハートクニリック	医療法人社団善仁会 小山記念病院
3	XI. 消化器系の疾患	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	神栖済生会病院	医療法人社団善仁会 小山記念病院

## 大分類 入院外

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	IX. 循環器系の疾患	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	牧医院	城之内医院
2	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	牧医院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	鹿嶋ハートクニリック
3	X   V   管脉影生硼宏彩(/) 海电	医療法人社団善仁会 小山記念病院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	牧医院

## 中分類 入院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関(レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	ひとひら	統合失調症,統合失調症型障 害及び妄想性障害	八光时  注	医療法人聖和会 つくば病院	医療法人三省会 本多病院
2	1113	その他の消化器系の疾患	日十子総合劢院	伸怬済生会病院	医療法人社団善仁会 小山記念病院
3	0903	その他の心疾患	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	鹿嶋ハートクニリック	神栖済生会病院

順位			医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0402	糖尿病	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	鹿嶋ハートクニリック	牧医院
2	0901	高血圧性疾患	牧医院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	城之内医院
3	1402	腎不全	にへいなかよしクリニック	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	児玉医院

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

## 【神栖第三中学校】

## 大分類 入院

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	111111111111111111111111111111111111111	総合病院国保旭中央病院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院
2	IX. 循環器系の疾患	神栖済生会病院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	総合病院国保旭中央病院
3	XI. 消化器系の疾患	神栖済生会病院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	総合病院国保旭中央病院

## 大分類 入院外

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	神栖済生会病院	かしまなだ診療所	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院
2	IX. 循環器系の疾患	かしまなだ診療所	神栖済生会病院	野口医院
3	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	神栖済生会病院	総合病院国保旭中央病院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院

## 中分類 入院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	神栖済生会病院	総合病院国保旭中央病院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院
2	0902	虚血性心疾患	神栖済生会病院	医療法人盡誠会 宮本病院	鹿嶋ハートクニリック
3	1113	その他の消化器系の疾患	神栖済生会病院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	総合病院国保旭中央病院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0402	糖尿病	神栖済生会病院	かしまなだ診療所	総合病院国保旭中央病院
2	0901	高血圧性疾患	かしまなだ診療所	神栖済生会病院	野口医院
3	1402	腎不全	神栖済生会病院	総合病院国保旭中央病院	児玉医院

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

## 【神栖第四中学校】

## 大分類 入院

順位	疾病項目(大分類)	医療機関(レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	神栖済生会病院	総合病院国保旭中央病院
2	IX. 循環器系の疾患	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	医療法人社団善仁会 小山記念病院	医療法人盡誠会 宮本病院
3	XI. 消化器系の疾患	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院		医療法人社団善仁会 小山記念病院

## 大分類 入院外

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1		社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	牧医院	あきら医院
2	IX. 循環器系の疾患	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	牧医院	児玉医院
3	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	医療法人社団善仁会 小山記念病院	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	児玉医院

## 中分類 入院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0210	その他の悪性新生物<腫腸>	日十千総合物原		総合病院国保旭中央病院
2	0903	その他の心疾患	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	鹿 峠 ハー トク こ リ ック	医療法人盡誠会 宮本病院
3	0906	脳梗塞	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	医療法人社団善仁会 小山記念病院	医療法人盡誠会 宮本病院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0402	糖尿病	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	あきら医院	牧医院
2	0901		社会福祉法人白十字会 白十字総合病院	牧医院	児玉医院
3	1402	腎不全	にへいなかよしクリ ニック	児玉医院	前田病院

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

## 【波崎第一中学校】

## 大分類 入院

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	IX. 循環器系の疾患	医療法人積仁会 島田総合病院	総合病院国保旭中央病院	神栖済生会病院
2	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	総合病院国保旭中央病院	神栖済生会病院	医療法人積仁会 島田総合病院
3	V. 精神及び行動の障害	公益財団法人 鹿島病院	医療法人盡誠会 宮本病院	医療法人精光会 みやざきホスピタル

## 大分類 入院外

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	IX. 循環器系の疾患	医療法人千樹会 小田医院	波崎クリニック	独立行政法人労働者健康安 全機構鹿島労災病院
2	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	医療法人千樹会 小田医院	神栖済生会病院	独立行政法人労働者健康安 全機構鹿島労災病院
3	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	神栖済生会病院	総合病院国保旭中央病院	医療法人積仁会 島田総合病院

## 中分類 入院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0203	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	公益財団法人 鹿島病院		医療法人精光会 みやざきホスピタル
2	0902	虚血性心疾患	医療法人積仁会 島田総合病院	総合病院国保旭中央病院	神栖済生会病院
3	1901	/告·北	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	総合病院国保旭中央病院	銚子市立病院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0901	高血圧性疾患	医療法人千樹会 小田医院	沙田  原力   ーッカ	医療法人積仁会 島田総合病院
2	0402	糖尿病		独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	神栖済生会病院
3	0105	ウイルス性肝炎	神栖済生会病院	終合病  原国保加中央病  原	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

## 【波崎第二中学校】

## 大分類 入院

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	IX. 循環器系の疾患	公益財団法人 鹿島病院	総合病院国保旭中央病院	鹿嶋ハートクニリック
2	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	終合病院国保加甲央病院	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	千葉県立佐原病院
3	V. 精神及び行動の障害	公益財団法人 鹿島病院	茨城県立医療大学付属 病院	医療法人社団透光会 大栄病院

## 大分類 入院外

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	IX. 循環器系の疾患		独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	医療法人千樹会 小田医院
2			独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	医療法人千樹会 小田医院
3	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	総合病院国保旭中央病院	油栅,洛生全漏  2	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院

## 中分類 入院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関(レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0903	その他の心疾患	鹿嶋ハートクニリック	総合病  原国保加中央病  原	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	総合病院国保加中央病院	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	国立大学法人千葉大学医学部附属 病院
3	0902	虚血性心疾患	鹿嶋ハートクニリック	総合病院国保旭中央病院	医療法人積仁会 島田総合病院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0901	高血圧性疾患		独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	医療法人千樹会 小田医院
2	0402	糖尿病		医療法人永木外科胃腸 科医院	神栖済生会病院
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	総合病院国保旭中央病院	油热冷生全病	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

## 【波崎第三中学校】

## 大分類 入院

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	神栖済生会病院	総合病院国保旭中央病院	日本赤十字社 成田赤十字病院
2	IX. 循環器系の疾患	神栖済生会病院	鹿嶋ハートクニリック	社会福祉法人白十字会 白十字総合病院
3	V. 精神及び行動の障害	公益財団法人 鹿島病院	医療法人三省会 本多病院	海上寮療養所

## 大分類 入院外

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	IX. 循環器系の疾患	神栖済生会病院		医療法人永木外科胃腸 科医院
2	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	神栖済生会病院	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	かしまなだ診療所
3	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	神栖済生会病院	終合病院国保加中央病院	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院

## 中分類 入院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	1 0203	統合失調症,統合失調症型障害及び 妄想性障害	八大財団注   無具病院	医療法人三省会 本多病院	海上寮療養所
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	神栖済生会病院	日本赤十字社 成田赤十字病院	総合病院国保旭中央病院
3	0902	虚血性心疾患	鹿嶋ハートカニリッカ	医療法人晴生会 鹿島神宮前病院	公益財団法人 鹿島病院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0901	高血圧性疾患	神栖済生会病院		独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院
2	0402	糖尿病	神栖済生会病院	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	医療法人永木外科胃腸 科医院
3	0105	ウイルス性肝炎	神栖済生会病院	終今海に国保州田東海に	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

## 【波崎第四中学校】

## 大分類 入院

順位	疾病項目(大分類)	医療機関(レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	IX. 循環器系の疾患	総合加加元は11年   H 中地加元	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	医療法人社団土合会 渡辺病院
2	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	総合病院国保旭中央病院	加州及生金洞层	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院
3	V. 精神及び行動の障害	医療法人精光会 みやざきホスピタル	公益財団法人 鹿島病院	医療法人社団広文会 江戸崎病院

## 大分類 入院外

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院		医療法人社団土合会 渡辺病院
2	IX. 循環器系の疾患	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	医療法人社団土合会 渡辺病院	医療法人永木外科胃腸 科医院
3	I . 感染症及び寄生虫症	神栖済生会病院	医療法人社団土合会 渡辺病院	総合病院国保旭中央病院

## 中分類 入院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関(レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0903	その他の心疾患	空漏()	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	医療法人社団土合会 渡辺病院
2	2106	その他の理由に上ろ保健サービスの利用者	医療法人晴生会 鹿島神宮前病院	国保小目   総合病院	医療法人積仁会 島田総合病院
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	総合病院国保旭中央病院	油栅冷生金漏层	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院

順位	位 疾病項目(中分類)		医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0105	ウイルス性肝炎	神栖済生会病院	総合病院国保旭中央病院	医療法人社団善仁会 小山記念病院
2	0402		独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	神栖済生会病院	医療法人永木外科胃腸 科医院
3	1402	腎不全	総合病院国保旭中央病院	独立行政法人労働者健康安全機構 鹿島労災病院	ひかりクリニック

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

## 【その他】

## 大分類 入院

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1			独立行政法人国立病院 機構茨城東病院	医療法人財団古宿会 水戸中央病院
2	1 X 哗奶会系(/) 客单	独立行政法人国立病院 機構茨城東病院		独立行政法人国立病院機構水戸医 療センター
3	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	茨城県立こども病院	総合病院国保旭中央病院	筑波大学附属病院

## 大分類 入院外

順位	疾病項目(大分類)	医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	Ⅱ. 新生物<腫瘍>	総合病院国保旭中央病院		社会福祉法人白十字会 白十字総合病院
2	V. 精神及び行動の障害	公益財団法人 鹿島病院	早川医院	東京都千葉福祉園診療所
3	VI. 神経系の疾患	公益財団法人 鹿島病院	茨城県立あすなろの郷 病院	早川医院

## 中分類 入院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	総合病院国保旭中央病院	筑波大学附属病院	茨城県立こども病院
2	0908	その他の脳血管疾患	東京大学医学部  附属病  陰	医療法人渡辺会 大洗海岸病院	茨城県立中央病院
3	0606	その他の神経系の疾患	医療法人京友会 京友会病院	茨城県立こども病院	日本医科大学千葉北総 病院

順位	疾病項目(中分類)		医療機関 (レセプト件数の多い上位3医療機関)		
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	総合病院国保旭中央病院	神栖済生会病院	医療法人永木外科胃腸 科医院
2	1 0503	統合失調症,統合失調症型障 害及び妄想性障害	公益財団法人 鹿島病院	早川医院	医療法人鴻仁会 上の原病院
3	0603	てんかん	公益財団法人 鹿島病院	神栖済生会病院	東京都千葉福祉園診療所

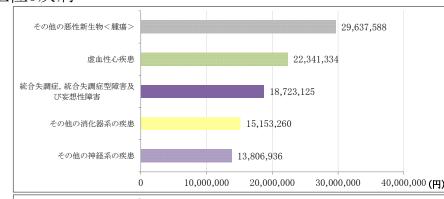
## 2. 中分類上位5疾病

平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、中学校区における中分類上位5疾病を以下に示す。

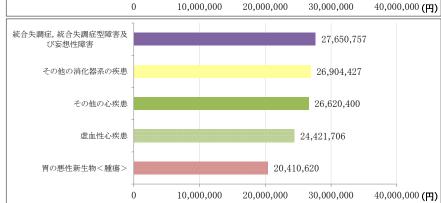
神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校
波崎第一中学校	波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校
その他		•	

## ①入院医療費の上位5疾病

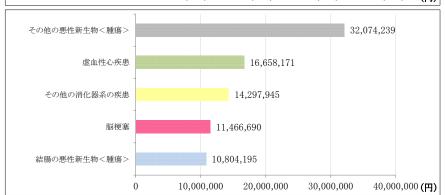
#### 【神栖第一中学校】



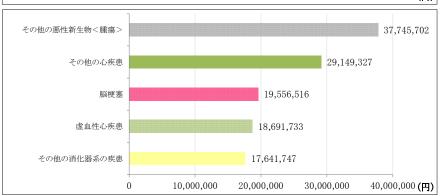
#### 【神栖第二中学校】



### 【神栖第三中学校】

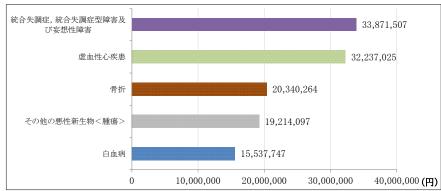


### 【神栖第四中学校】

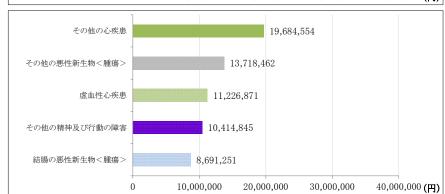


神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校
波崎第一中学校	波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校
その他			

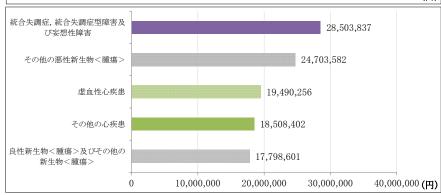
### 【波崎第一中学校】



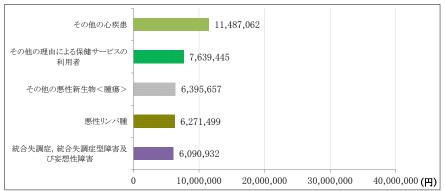
### 【波崎第二中学校】



### 【波崎第三中学校】



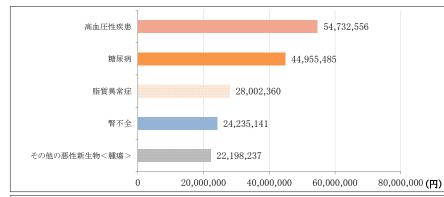
### 【波崎第四中学校】



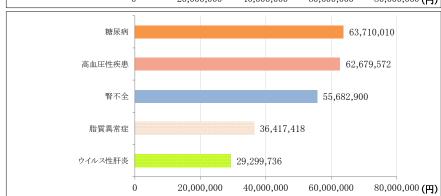
神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校
波崎第一中学校	波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校
その他			

## ②入院外医療費の上位5疾病

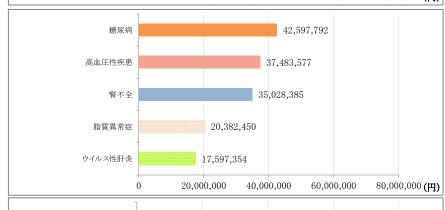
### 【神栖第一中学校】



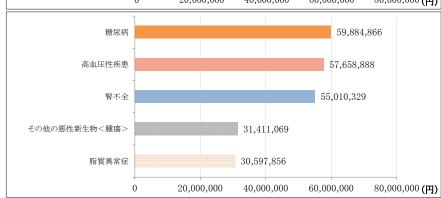
### 【神栖第二中学校】



### 【神栖第三中学校】

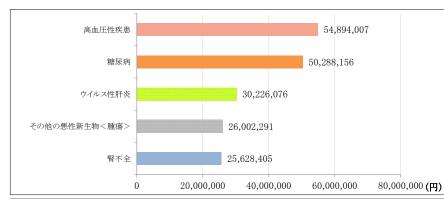


### 【神栖第四中学校】

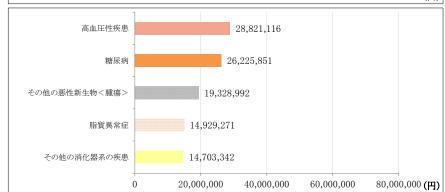


神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校
波崎第一中学校	波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校
その他			

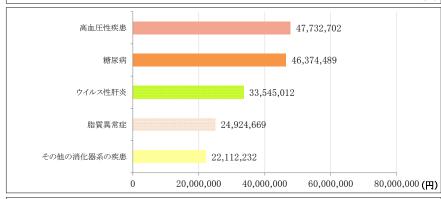
### 【波崎第一中学校】



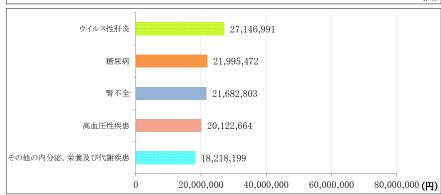
### 【波崎第二中学校】



## 【波崎第三中学校】



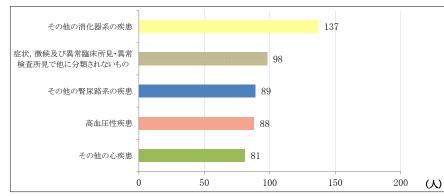
### 【波崎第四中学校】



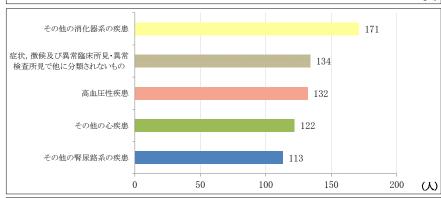
神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校
波崎第一中学校	波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校
その他			

## ③入院患者数の上位5疾病

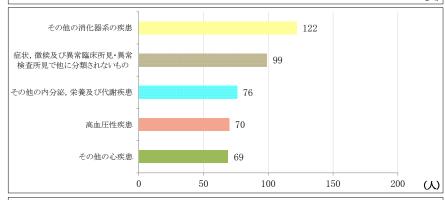
### 【神栖第一中学校】



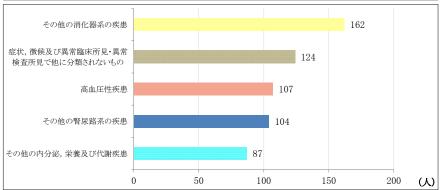
### 【神栖第二中学校】



### 【神栖第三中学校】

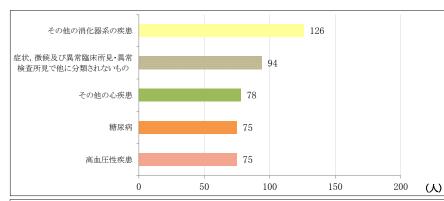


## 【神栖第四中学校】

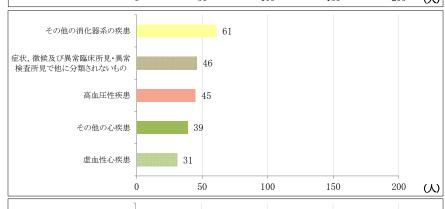


神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校
波崎第一中学校	波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校
その他			

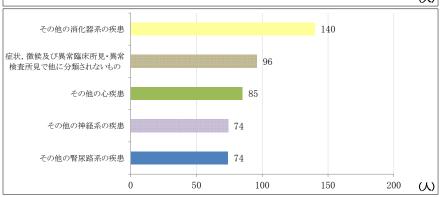
### 【波崎第一中学校】



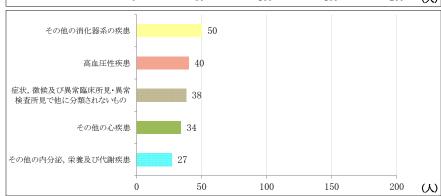
## 【波崎第二中学校】



### 【波崎第三中学校】



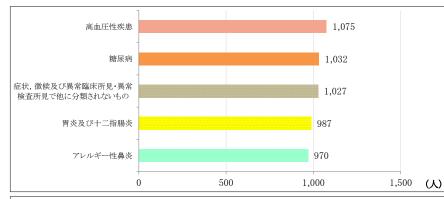
## 【波崎第四中学校】



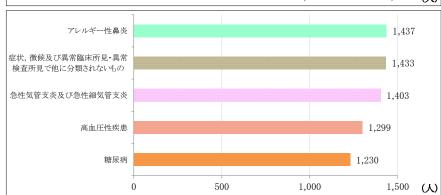
神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校
波崎第一中学校	波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校
その他			

## ④入院外患者数の上位5疾病

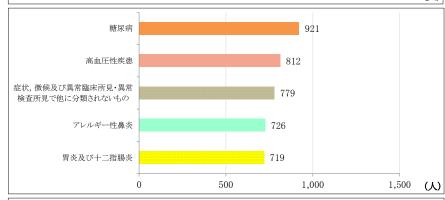
### 【神栖第一中学校】



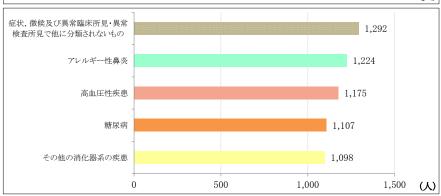
### 【神栖第二中学校】



### 【神栖第三中学校】

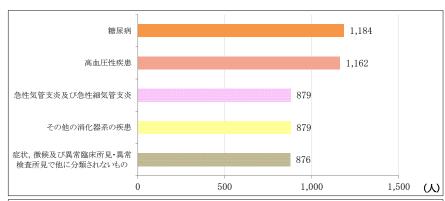


### 【神栖第四中学校】

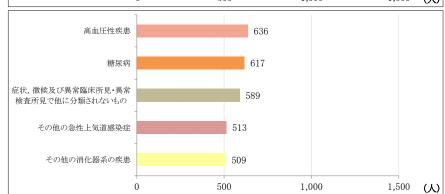


神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校
波崎第一中学校	波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校
その他			

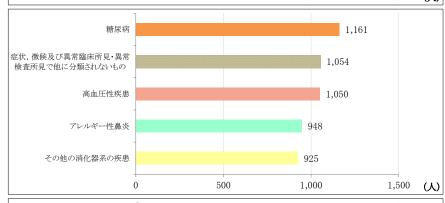
### 【波崎第一中学校】



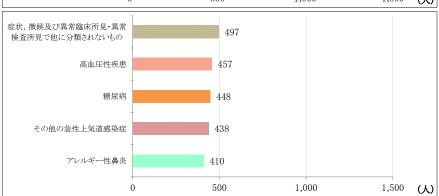
## 【波崎第二中学校】



### 【波崎第三中学校】



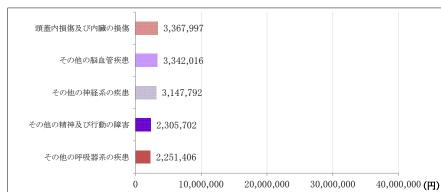
## 【波崎第四中学校】



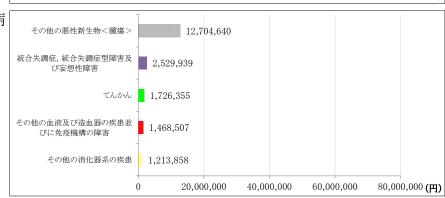
神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校
波崎第一中学校	波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校
その他			

## 【その他】

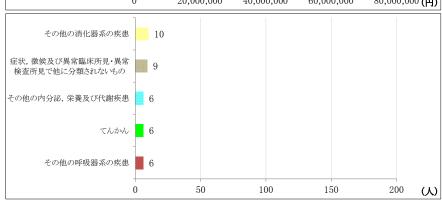
### ①入院医療費の上位5疾病



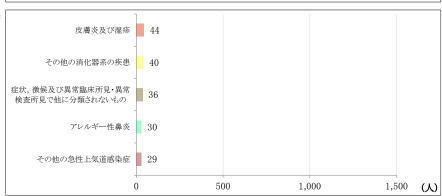
### ②入院外医療費の上位5疾病



### ③入院患者数の上位5疾病



### ④入院外患者数の上位5疾病



## 3. 大分類による疾病別医療費統計

平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、中学校区における大分類疾病項目毎の医療費統計を示す。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【神栖第一中学校】大分類による疾病別医療費統計

【神栖第一中学校】大分類による疾			:17 L	- 佐原佐宝	. F	網掛け		<b>本子</b> 士	Z
					W13171 ()		表示す	ഗം	
	A	A		В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	43,048,375	4.8%	10	3,980	10	992	8	43,396	12
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	128,027,212	14.4%	2	3,504	12	959	10	133,501	1
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,249,400	1.0%	15	1,183	15	330	15	28,028	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	90,910,980	10.2%	3	15,252	2	1,512	3	60,126	8
V. 精神及び行動の障害	50,997,989	5.7%	7	4,407	8	441	14	115,642	3
VI. 神経系の疾患	43,933,775	4.9%	8	6,658	6	676	12	64,991	6
VII. 眼及び付属器の疾患	32,634,802	3.7%	11	3,191	13	987	9	33,065	13
VⅢ. 耳及び乳様突起の疾患	2,696,091	0.3%	17	811	16	274	16	9,840	20
IX. 循環器系の疾患	165,429,212	18.5%	1	17,016	1	1,423	4	116,254	2
X. 呼吸器系の疾患	52,633,386	5.9%	6	9,757	5	1,879	1	28,011	15
X I. 消化器系の疾患 ※	79,304,638	8.9%	4	13,102	3	1,714	2	46,269	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	20,237,003	2.3%	13	4,976	7	1,106	6	18,297	17
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	77,573,391	8.7%	5	9,823	4	1,239	5	62,610	7
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	43,855,135	4.9%	9	3,551	11	823	11	53,287	9
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	3,157,593	0.4%	16	130	19	32	20	98,675	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	108,926	0.0%	21	7	21	4	21	27,232	16
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,344,164	0.3%	18	103	20	33	19	71,035	5
XWI. 症状, 微候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19,073,410	2.1%	14	4,397	9	1,064	7	17,926	18
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	24,822,394	2.8%	12	1,602	14	551	13	45,050	11
XXI.健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,389,953	0.2%	19	592	17	115	18	12,087	19
X X Ⅱ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	688,981	0.1%	20	512	18	229	17	3,009	21
合計	892,116,810		$\overline{/}$	43,276		3,276		272,319	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

#### 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

- ※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
- ※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。
- ※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。
- ※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。
- ※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。
  ※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【神栖第二中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

	A			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	52,268,619	4.3%	9	5,697	10	1,513	7	34,546	14
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	173,214,954	14.2%	2	4,534	12	1,171	10	147,921	1
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	25,656,904	2.1%	14	1,588	15	464	15	55,295	9
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	126,712,798	10.4%	3	19,990	2	1,962	3	64,583	8
V. 精神及び行動の障害	72,871,279	6.0%	8	5,790	9	570	14	127,844	3
VI. 神経系の疾患	40,573,753	3.3%	10	8,629	6	892	12	45,486	12
VII. 眼及び付属器の疾患	35,336,356	2.9%	12	4,225	13	1,313	9	26,913	16
VⅢ. 耳及び乳様突起の疾患	5,461,440	0.4%	18	1,403	16	385	16	14,186	20
IX. 循環器系の疾患	211,923,367	17.4%	1	20,867	1	1,766	4	120,002	4
X. 呼吸器系の疾患	90,845,026	7.5%	6	15,582	4	2,806	1	32,375	15
X I . 消化器系の疾患 ※	108,742,261	8.9%	4	16,811	3	2,179	2	49,905	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	26,127,417	2.1%	13	6,536	7	1,516	6	17,234	17
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	75,227,506	6.2%	7	11,765	5	1,619	5	46,465	11
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	92,646,514	7.6%	5	4,936	11	1,128	11	82,133	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	8,006,344	0.7%	17	306	19	90	19	88,959	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,496,771	0.1%	20	37	21	19	21	78,777	7
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	8,519,904	0.7%	16	206	20	65	20	131,075	2
XVII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24,109,567	2.0%	15	6,134	8	1,480	8	16,290	19
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	35,426,347	2.9%	11	2,186	14	838	13	42,275	13
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,106,995	0.3%	19	957	17	183	17	16,978	18
Х Х Ⅱ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	576,258	0.0%	21	425	18	176	18	3,274	21
合計	1,218,850,380		$\overline{/}$	58,834	$\overline{/}$	4,714		258,560	

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【神栖第三中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

	A			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	39,867,244	5.3%	8	3,320	9	888	6	44,896	11
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	117,319,397	15.7%	2	2,859	12	702	11	167,122	2
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	8,571,444	1.1%	15	1,047	15	277	15	30,944	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	80,121,391	10.7%	3	11,622	2	1,222	3	65,566	7
V. 精神及び行動の障害	30,304,498	4.0%	10	3,214	11	317	14	95,598	5
VI. 神経系の疾患	30,773,069	4.1%	9	5,493	6	547	12	56,258	8
VII. 眼及び付属器の疾患	29,295,868	3.9%	11	2,662	13	782	9	37,463	13
VⅢ. 耳及び乳様突起の疾患	2,709,323	0.4%	18	710	16	209	16	12,963	20
IX. 循環器系の疾患	121,727,370	16.2%	1	11,718	1	1,092	4	111,472	4
X. 呼吸器系の疾患	49,148,770	6.6%	7	7,165	5	1,434	1	34,274	14
X I . 消化器系の疾患 ※	56,924,141	7.6%	5	9,871	3	1,324	2	42,994	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	16,788,199	2.2%	14	3,676	7	863	7	19,453	18
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	49,372,653	6.6%	6	7,211	4	988	5	49,972	10
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	62,789,399	8.4%	4	3,223	10	705	10	89,063	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	6,349,383	0.8%	16	160	19	43	19	147,660	3
XVI. 周産期に発生した病態 ※	3,973,435	0.5%	17	19	21	10	21	397,344	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,099,148	0.1%	20	114	20	36	20	30,532	16
XVII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	17,081,553	2.3%	13	3,361	8	823	8	20,755	17
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	23,306,720	3.1%	12	1,333	14	457	13	50,999	9
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,588,837	0.2%	19	511	17	101	18	15,731	19
ХХⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	403,848	0.1%	21	270	18	132	17	3,059	21
合計	749,515,690			31,779		2,589		289,500	

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【神栖第四中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

	A			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数(人)※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	52,411,379	4.8%	8	4,805	10	1,310	8	40,009	13
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	163,555,208	15.0%	2	4,229	12	1,137	10	143,848	1
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,560,478	0.9%	15	1,466	15	361	15	26,483	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	112,296,854	10.3%	3	17,748	2	1,730	3	64,911	8
V. 精神及び行動の障害	49,811,373	4.6%	9	5,276	9	503	14	99,029	6
VI. 神経系の疾患	45,064,800	4.1%	10	8,467	6	820	12	54,957	9
VII. 眼及び付属器の疾患	33,498,319	3.1%	11	3,600	13	1,240	9	27,015	15
WII. 耳及び乳様突起の疾患	4,406,786	0.4%	18	955	16	295	16	14,938	20
IX. 循環器系の疾患	185,267,590	16.9%	1	18,492	1	1,592	4	116,374	3
X. 呼吸器系の疾患	75,184,302	6.9%	6	12,657	4	2,362	1	31,831	14
X I . 消化器系の疾患 ※	91,694,782	8.4%	5	15,306	3	1,981	2	46,287	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	24,783,737	2.3%	13	5,795	7	1,333	7	18,592	17
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	74,961,476	6.9%	7	10,407	5	1,491	5	50,276	10
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	103,983,077	9.5%	4	4,735	11	1,016	11	102,346	5
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	5,816,055	0.5%	16	266	19	66	19	88,122	7
XVI. 周産期に発生した病態 ※	1,895,896	0.2%	20	30	21	17	21	111,523	4
X WI. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,877,194	0.4%	17	127	20	40	20	121,930	2
XVII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	20,154,634	1.8%	14	5,435	8	1,338	6	15,063	19
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	31,235,833	2.9%	12	2,202	14	761	13	41,046	12
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,827,770	0.3%	19	728	17	154	18	18,362	18
ХХⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	720,687	0.1%	21	426	18	227	17	3,175	21
合計	1,094,008,230			51,738	$\overline{/}$	4,111		266,117	

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【波崎第一中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

	A			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数(人)※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	60,568,950	6.1%	8	3,201	12	896	10	67,599	7
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	129,275,926	13.1%	2	3,128	13	871	11	148,422	2
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	16,234,515	1.6%	15	1,270	15	357	15	45,475	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	96,376,659	9.8%	3	13,972	2	1,562	3	61,701	9
V. 精神及び行動の障害	71,949,653	7.3%	5	3,744	11	358	14	200,977	1
VI. 神経系の疾患	34,200,822	3.5%	12	6,864	6	730	12	46,850	13
VII. 眼及び付属器の疾患	38,306,827	3.9%	11	4,304	8	994	7	38,538	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	5,734,303	0.6%	17	982	16	280	16	20,480	19
IX. 循環器系の疾患	168,021,154	17.1%	1	15,261	1	1,483	4	113,298	3
X. 呼吸器系の疾患	46,652,097	4.7%	9	7,851	5	1,721	1	27,108	18
X I . 消化器系の疾患 ※	63,039,342	6.4%	6	11,677	3	1,644	2	38,345	16
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	26,964,366	2.7%	13	4,016	9	957	8	28,176	17
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	90,654,900	9.2%	4	10,456	4	1,349	5	67,202	8
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	61,284,211	6.2%	7	4,391	7	1,047	6	58,533	11
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,472,241	0.1%	19	51	20	24	20	61,343	10
XVI. 周産期に発生した病態 ※	249,166	0.0%	21	7	21	5	21	49,833	12
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,652,333	0.4%	18	106	19	42	19	86,960	4
XVIII. 症状, 微候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	17,166,427	1.7%	14	3,932	10	918	9	18,700	20
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	44,583,534	4.5%	10	2,049	14	600	13	74,306	5
X X I . 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8,372,011	0.8%	16	607	17	115	17	72,800	6
Х Х Ⅱ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	316,533	0.0%	20	151	18	57	18	5,553	21
合計	985,075,970			39,964	$\overline{/}$	3,127		315,023	

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

神	申栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波	皮崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【波崎第二中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

	А			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	15,981,630	3.0%	12	1,708	13	506	11	31,584	16
Ⅱ.新生物<腫瘍>	86,382,038	16.1%	2	2,136	11	533	9	162,068	1
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,412,452	0.4%	16	762	15	199	15	12,123	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	50,964,473	9.5%	3	7,696	2	896	3	56,880	10
V. 精神及び行動の障害	28,781,775	5.4%	8	1,979	12	221	14	130,234	2
VI. 神経系の疾患	31,783,134	5.9%	7	3,385	6	390	12	81,495	7
VII. 眼及び付属器の疾患	23,972,700	4.5%	10	2,412	9	633	6	37,872	14
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患	1,446,749	0.3%	18	464	16	149	16	9,710	20
IX. 循環器系の疾患	109,209,288	20.4%	1	8,373	1	852	4	128,180	3
X. 呼吸器系の疾患	36,768,284	6.9%	5	4,553	5	1,003	1	36,658	15
X I. 消化器系の疾患 ※	34,933,537	6.5%	6	5,776	3	899	2	38,858	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	9,282,667	1.7%	14	2,409	10	603	8	15,394	18
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	38,952,791	7.3%	4	5,391	4	777	5	50,132	11
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	25,553,624	4.8%	9	2,509	8	519	10	49,236	12
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,118,426	0.2%	19	35	20	12	20	93,202	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	552,493	0.1%	20	6	21	6	21	92,082	6
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,205,879	0.4%	17	60	19	22	19	100,267	4
XVII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,463,284	2.1%	13	2,536	7	607	7	18,885	17
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	18,827,435	3.5%	11	1,017	14	328	13	57,401	9
X X I . 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,274,915	1.0%	15	432	17	78	18	67,627	8
Х Х Ⅱ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	271,806	0.1%	21	208	18	86	17	3,161	21
合計	536,139,380		$\overline{/}$	22,544	$\overline{/}$	1,842		291,064	

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【波崎第三中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

	A			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	51,603,406	5.5%	8	3,834	12	1,035	9	49,858	10
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	141,390,893	15.0%	2	3,896	10	986	10	143,398	4
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	11,708,355	1.2%	15	1,312	15	364	15	32,166	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	93,644,880	9.9%	3	13,253	2	1,583	3	59,157	7
V. 精神及び行動の障害	71,208,113	7.6%	4	3,861	11	376	14	189,383	2
VI. 神経系の疾患	49,990,573	5.3%	9	6,021	6	666	12	75,061	6
VII. 眼及び付属器の疾患	35,319,361	3.7%	11	3,704	13	1,057	7	33,415	14
WII. 耳及び乳様突起の疾患	2,938,963	0.3%	18	898	16	249	16	11,803	20
IX. 循環器系の疾患	161,644,008	17.2%	1	14,034	1	1,444	4	111,942	5
X. 呼吸器系の疾患	54,394,348	5.8%	7	8,945	4	1,849	1	29,418	16
X I . 消化器系の疾患 ※	67,827,843	7.2%	6	11,190	3	1,669	2	40,640	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	19,585,841	2.1%	14	4,176	8	1,056	8	18,547	18
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	69,480,431	7.4%	5	8,681	5	1,320	5	52,637	9
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	41,042,056	4.4%	10	4,019	9	907	11	45,250	12
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	7,576,329	0.8%	16	180	19	42	19	180,389	3
XVI. 周産期に発生した病態 ※	4,916,103	0.5%	17	36	21	16	21	307,256	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,864,772	0.2%	20	112	20	38	20	49,073	11
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	20,643,931	2.2%	13	4,312	7	1,090	6	18,939	17
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	32,659,007	3.5%	12	1,572	14	554	13	58,951	8
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,929,315	0.2%	19	559	17	115	18	16,777	19
ХХⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	661,852	0.1%	21	468	18	197	17	3,360	21
습計	942,030,380			39,649		3,360		280,366	

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【波崎第四中学校】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

	A			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	34,993,460	8.1%	4	1,554	11	422	9	82,923	9
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	53,820,255	12.4%	3	1,476	13	379	11	142,006	3
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,572,827	0.8%	16	560	15	143	15	24,985	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	55,686,957	12.9%	2	5,225	2	632	3	88,112	7
V. 精神及び行動の障害	24,243,311	5.6%	9	1,649	10	184	14	131,757	4
VI. 神経系の疾患	15,835,666	3.7%	11	2,612	6	291	12	54,418	11
VII. 眼及び付属器の疾患	13,489,212	3.1%	12	1,542	12	442	7	30,519	15
VⅢ. 耳及び乳様突起の疾患	1,047,371	0.2%	19	355	16	118	16	8,876	21
IX. 循環器系の疾患	66,335,260	15.3%	1	5,649	1	594	5	111,676	6
X. 呼吸器系の疾患	26,586,425	6.1%	8	3,669	5	827	1	32,148	14
X I . 消化器系の疾患 ※	30,210,954	7.0%	6	4,494	3	683	2	44,233	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,271,376	1.7%	15	1,784	9	431	8	16,871	17
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	27,274,251	6.3%	7	3,865	4	608	4	44,859	12
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	33,490,249	7.7%	5	1,936	8	402	10	83,309	8
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,190,862	0.5%	18	61	19	17	19	128,874	5
XVI. 周産期に発生した病態 ※	2,642,348	0.6%	17	18	21	9	21	293,594	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	196,315	0.0%	21	51	20	15	20	13,088	19
XVII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,764,996	1.8%	14	1,957	7	512	6	15,166	18
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	18,103,367	4.2%	10	818	14	270	13	67,050	10
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,768,511	1.8%	13	281	17	48	18	161,844	2
ХХⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	593,127	0.1%	20	122	18	56	17	10,592	20
合計	433,117,100			16,566		1,429		303,091	$\overline{/}$

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

	A			В		С		A/C	
疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数(人)※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,562,546	5.4%	9	209	9	47	4	75,799	10
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	14,387,946	21.7%	1	75	13	21	14	685,140	1
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,572,541	5.4%	8	63	15	13	15	274,811	2
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,087,792	3.1%	11	248	7	37	7	56,427	12
V. 精神及び行動の障害	7,464,910	11.3%	3	440	3	37	7	201,754	5
VI. 神経系の疾患	7,963,079	12.0%	2	542	2	39	6	204,182	4
VII. 眼及び付属器の疾患	516,079	0.8%	15	88	11	30	10	17,203	17
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	52,856	0.1%	19	15	17	9	16	5,873	21
IX. 循環器系の疾患	5,447,538	8.2%	5	302	6	35	9	155,644	7
X. 呼吸器系の疾患	6,365,207	9.6%	4	351	4	73	1	87,195	9
X I . 消化器系の疾患 ※	3,647,568	5.5%	7	597	1	52	3	70,146	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,155,734	3.3%	10	312	5	58	2	37,168	14
XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	686,853	1.0%	14	234	8	26	12	26,417	15
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	287,581	0.4%	17	84	12	24	13	11,983	18
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	403,377	0.6%	16	10	18	3	19	134,459	8
XVI. 周産期に発生した病態 ※	85,667	0.1%	18	5	20	4	17	21,417	16
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	32,039	0.0%	20	8	19	3	19	10,680	19
XVII. 症状, 徴候及び異常臨床所見. 異常検査所見で他に分類されないもの	1,752,218	2.6%	12	199	10	40	5	43,805	13
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,847,479	7.3%	6	75	13	27	11	179,536	6
X X I . 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	942,711	1.4%	13	24	16	4	17	235,678	3
Х Х Ⅱ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	24,949	0.0%	21	5	20	3	19	8,316	20
合計	66,286,670			1,530		139		476,883	

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、"男性"においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。 そのため他統計と一致しない。

## 4. 中分類による疾病別医療費統計

平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、中学校区における中分類疾病項目毎の医療費統計を示す。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【神栖第一中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901	高血圧性疾患	57,901,261	6.5%	1,088
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	51,835,825	5.8%	397
3	0402	糖尿病	47,606,230	5.3%	1,051
4	1113	その他の消化器系の疾患	36,629,026	4.1%	926
5	0902	虚血性心疾患	33,908,453	3.8%	410
6	0403	脂質異常症	28,400,452	3.2%	818
7	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	27,475,506	3.1%	101
8	0606	その他の神経系の疾患	26,674,345	3.0%	617
9	0903	その他の心疾患	26,458,355	3.0%	510
10	1402	腎不全	25,321,240	2.8%	49

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合 集計できない。そのため他統計と一致しない。

#### 【神栖第二中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

<b>L</b>	THEN - I IN I TANKE OF CONTAINED LEAVE I SECOND					
順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)	
1	0402	糖尿病	68,619,635	5.6%	1,253	
2	0901	高血圧性疾患	67,378,082	5.5%	1,316	
3	1402	腎不全	62,096,374	5.1%	84	
4	0903	その他の心疾患	54,212,156	4.4%	719	
5	1113	その他の消化器系の疾患	53,967,217	4.4%	1,197	
6	0902	虚血性心疾患	40,391,701	3.3%	492	
7	0403	脂質異常症	37,397,831	3.1%	1,053	
8	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	36,208,499	3.0%	137	
9	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	35,425,347	2.9%	487	
10	0105	ウイルス性肝炎	30,584,233	2.5%	182	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【神栖第三中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	47,223,195	6.3%	936
2	1402	腎不全	45,161,321	6.0%	61
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	43,444,564	5.8%	307
4	0901	高血圧性疾患	39,165,479	5.2%	824
5	1113	その他の消化器系の疾患	29,457,667	3.9%	740
6	0902	虚血性心疾患	24,875,823	3.3%	277
7	0903	その他の心疾患	24,378,599	3.3%	413
8	0403	脂質異常症	21,394,376	2.9%	631
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	20,281,209	2.7%	96
10	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	19,428,022	2.6%	142

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合 集計できない。そのため他統計と一致しない。

#### 【神栖第四中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

<b>L</b> , , , , ,	.,,,,,,				
順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	70,082,028	6.4%	71
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	69,156,771	6.3%	470
3	0402	糖尿病	66,151,710	6.0%	1,125
4	0901	高血圧性疾患	60,564,692	5.5%	1,189
5	0903	その他の心疾患	50,771,232	4.6%	607
6	1113	その他の消化器系の疾患	40,822,342	3.7%	1,141
7	0403	脂質異常症	31,007,358	2.8%	911
8	0902	虚血性心疾患	28,395,621	2.6%	390
9	0105	ウイルス性肝炎	25,801,952	2.4%	155
10	0906	脳梗塞	25,154,589	2.3%	234

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【波崎第一中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901	高血圧性疾患	57,000,063	5.8%	1,171
2	0402	糖尿病	54,490,822	5.5%	1,205
3	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	48,114,329	4.9%	92
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	45,216,388	4.6%	337
5	0902	虚血性心疾患	40,541,052	4.1%	373
6	1402	腎不全	40,285,315	4.1%	77
7	0105	ウイルス性肝炎	30,891,850	3.1%	149
8	1113	その他の消化器系の疾患	29,377,802	3.0%	913
9	0903	その他の心疾患	28,481,690	2.9%	584
10	0403	脂質異常症	25,632,302	2.6%	820

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

#### 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合 集計できない。そのため他統計と一致しない。

#### 【波崎第二中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

L 10-4						
順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	33,047,454	6.2%	226	
2	0903	その他の心疾患	32,248,509	6.0%	355	
3	0901	高血圧性疾患	30,388,556	5.7%	641	
4	0402	糖尿病	27,944,059	5.2%	628	
5	1113	その他の消化器系の疾患	19,555,593	3.6%	529	
6	0902	虚血性心疾患	17,580,197	3.3%	299	
7	0403	脂質異常症	15,065,038	2.8%	468	
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	14,932,307	2.8%	455	
9	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	13,892,427	2.6%	14	
10	1402	腎不全	13,848,360	2.6%	36	

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

#### 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【波崎第三中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	52,098,475	5.5%	1,180
2	0901	高血圧性疾患	49,130,883	5.2%	1,060
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	39,802,689	4.2%	401
4	0903	その他の心疾患	39,698,438	4.2%	579
5	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	37,988,655	4.0%	103
6	1113	その他の消化器系の疾患	37,963,561	4.0%	968
7	0105	ウイルス性肝炎	33,823,453	3.6%	152
8	0902	虚血性心疾患	29,141,254	3.1%	427
9	0403	脂質異常症	25,478,699	2.7%	808
10	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	23,648,466	2.5%	473

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

#### 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

#### 【波崎第四中学校】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

<b>L</b> 10 4	NAME OF THE STATE					
順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)	
1	0105	ウイルス性肝炎	28,943,039	6.7%	73	
2	0402	糖尿病	23,674,276	5.5%	455	
3	1402	腎不全	22,841,638	5.3%	31	
4	0901	高血圧性疾患	20,866,898	4.8%	461	
5	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	20,544,421	4.7%	208	
6	0903	その他の心疾患	19,251,085	4.4%	255	
7	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	12,658,726	2.9%	145	
8	1113	その他の消化器系の疾患	12,406,258	2.9%	395	
9	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	10,138,442	2.3%	42	
10	0403	脂質異常症	9,502,982	2.2%	295	

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

#### 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	13,934,412	21.0%	7
2	0603	てんかん	3,751,342	5.7%	22
3	0503	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	3,686,528	5.6%	23
4	0606	その他の神経系の疾患	3,631,965	5.5%	27
5	0908	その他の脳血管疾患	3,446,242	5.2%	7
6	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	3,434,470	5.2%	5
7	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,041,649	4.6%	5
8	1113	その他の消化器系の疾患	2,699,731	4.1%	43
9	0507	その他の精神及び行動の障害	2,532,990	3.8%	8
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	2,461,548	3.7%	26

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。 ※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合 集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で自治会毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下 に示す。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【神栖第一中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	57,901,261	1,088	33.2%
2	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19,073,410	1,064	32.5%
3	0402	糖尿病	47,606,230	1,051	32.1%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	10,734,302	1,009	30.8%
5	1006	アレルギー性鼻炎	9,372,483	973	29.7%
6	1113	その他の消化器系の疾患	36,629,026	926	28.3%
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	7,190,066	905	27.6%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	8,919,523	835	25.5%
9	0403	脂質異常症	28,400,452	818	25.0%
10	0703	屈折及び調節の障害	2,983,986	753	23.0%

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

#### 【神栖第二中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24,109,567	1,480	31.4%
2	1006	アレルギー性鼻炎	15,166,356	1,438	30.5%
3	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	11,157,041	1,412	30.0%
4	0901	高血圧性疾患	67,378,082	1,316	27.9%
5	0402	糖尿病	68,619,635	1,253	26.6%
6	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	5,495,512	1,250	26.5%
7	1113	その他の消化器系の疾患	53,967,217	1,197	25.4%
8	1003	その他の急性上気道感染症	6,545,968	1,186	25.2%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	12,180,439	1,164	24.7%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	13,260,524	1,160	24.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【神栖第三中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	47,223,195	936	36.2%
2	0901	高血圧性疾患	39,165,479	824	31.8%
3	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	17,081,553	823	31.8%
4	1113	その他の消化器系の疾患	29,457,667	740	28.6%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	7,201,454	735	28.4%
6	1006	アレルギー性鼻炎	7,335,138	727	28.1%
7	0403	脂質異常症	21,394,376	631	24.4%
8	1003	その他の急性上気道感染症	3,642,272	626	24.2%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	7,071,458	622	24.0%
10	0703	屈折及び調節の障害	2,381,066	585	22.6%

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

#### 【神栖第四中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	20,154,634	1,338	32.5%
2	1006	アレルギー性鼻炎	11,564,770	1,226	29.8%
3	0901	高血圧性疾患	60,564,692	1,189	28.9%
4	1113	その他の消化器系の疾患	40,822,342	1,141	27.8%
5	0402	糖尿病	66,151,710	1,125	27.4%
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	12,201,925	1,102	26.8%
7	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	5,333,082	1,068	26.0%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	10,533,189	1,021	24.8%
9	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	7,943,661	996	24.2%
10	0703	屈折及び調節の障害	3,610,958	931	22.6%

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【波崎第一中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	54,490,822	1,205	38.5%
2	0901	高血圧性疾患	57,000,063	1,171	37.4%
3	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	17,166,427	918	29.4%
4	1113	その他の消化器系の疾患	29,377,802	913	29.2%
5	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	5,411,723	887	28.4%
6	0403	脂質異常症	25,632,302	820	26.2%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	8,793,739	807	25.8%
8	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	3,128,340	801	25.6%
9	1404	その他の腎尿路系の疾患	7,472,905	784	25.1%
10	1006	アレルギー性鼻炎	7,144,489	712	22.8%

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

#### 【波崎第二中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

	• > 1 •	1 1 1/2 1 1/3 /ACC = 01 0 /2 (/1/3 1/2 th) (/E/ E/ 3/C = E/ E/ E/ E/ E/ E/ E/ E/ E/ E/ E/ E/ E/	·> +/1.4/		
順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	30,388,556	641	34.8%
2	0402	糖尿病	27,944,059	628	34.1%
3	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,463,284	607	33.0%
4	1113	その他の消化器系の疾患	19,555,593	529	28.7%
5	1003	その他の急性上気道感染症	2,723,471	515	28.0%
6	0403	脂質異常症	15,065,038	468	25.4%
7	0703	屈折及び調節の障害	1,620,844	464	25.2%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	14,932,307	455	24.7%
9	1006	アレルギー性鼻炎	4,321,054	453	24.6%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	4,747,734	447	24.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【波崎第三中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	52,098,475	1,180	35.1%
2	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	20,643,931	1,090	32.4%
3	0901	高血圧性疾患	49,130,883	1,060	31.5%
4	1113	その他の消化器系の疾患	37,963,561	968	28.8%
5	1006	アレルギー性鼻炎	10,110,926	951	28.3%
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	8,942,504	930	27.7%
7	1003	その他の急性上気道感染症	4,769,352	884	26.3%
8	0403	脂質異常症	25,478,699	808	24.0%
9	0703	屈折及び調節の障害	2,884,565	807	24.0%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	7,717,805	785	23.4%

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

#### 【波崎第四中学校】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,764,996	512	35.8%
2	0901	高血圧性疾患	20,866,898	461	32.3%
3	0402	糖尿病	23,674,276	455	31.8%
4	1003	その他の急性上気道感染症	2,704,986	440	30.8%
5	1006	アレルギー性鼻炎	3,288,753	411	28.8%
6	1113	その他の消化器系の疾患	12,406,258	395	27.6%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	3,192,363	340	23.8%
8	1306	腰痛症及び坐骨神経痛	3,418,071	319	22.3%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	3,747,747	309	21.6%
10	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,648,418	308	21.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

神栖第一中学校	神栖第二中学校	神栖第三中学校	神栖第四中学校	波崎第一中学校
波崎第二中学校	波崎第三中学校	波崎第四中学校	その他	

#### 【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位		疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1202	皮膚炎及び湿疹	1,495,938	46	33.1%
2	1113	その他の消化器系の疾患	2,699,731	43	30.9%
3	1800	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,752,218	40	28.8%
4	1003	その他の急性上気道感染症	280,608	31	22.3%
5	1006	アレルギー性鼻炎	442,700	30	21.6%
5	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	369,761	30	21.6%
7	0606	その他の神経系の疾患	3,631,965	27	19.4%
8	1011	その他の呼吸器系の疾患	2,461,548	26	18.7%
8	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	460,396	26	18.7%
10	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	105,781	24	17.3%

#### データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。 対象診療年月は平成28年3月~平成29年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

# 第3章 第3期特定健康診査等実施計画

# 1. 第3期特定健康診査等実施計画策定の概要

#### (1)趣旨

国は「医療制度改革大綱」において、平成27年度には平成20年と比較して生活習慣病有病者や予備群を25.0%減少させることを政策目標として掲げ、中長期的な医療費の伸びの適正化を図ることとされた。この考えを踏まえ、生活習慣病予防の徹底を図るため、平成20年4月から高齢者の医療の確保に関する法律により、保険者に対して、内臓脂肪の蓄積に起因した生活習慣病に関する健康診査(以下「特定健診」という。)及び特定健診の結果により健康の保持に努める必要がある者に対する保健指導(以下「特定保健指導」という。)の実施が義務づけられた。

医療保険者は、高齢者の医療の確保に関する法律第19条において、実施計画を定めるものとされている。

#### (2)計画の内容

計画の基本内容は次のとおりである。

- ①特定健康診査及び特定保健指導(以下「特定健康診査等」という。)の実施方法
- ②特定健康診査等の達成目標と取り組みについて
- ③特定健康診査等実施計画の作成に関する重要事項

#### (3)計画の位置づけ

本計画は、国の特定健康診査等基本指針(法第十八条)・特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施を図るための基本的な指針(平成24年9月28日公布)に基づき、神栖市国民健康保険が策定する計画である。

なお、「第2次健康かみす21プラン」(平成29年3月)と「データヘルス計画」の整合性を図りながら策定した。

## (4)計画の期間

計画期間は第1期及び第2期計画は5年を1期としていたが、医療費適正化計画等が見直されたことを踏まえ、第3期からは6年を1期として策定し、本計画は、平成30年度から平成35年度までの6カ年計画とする。

#### (5)計画の策定体制

- ①健康福祉部内ワーキング会議の実施 本計画策定については、健康福祉部内でのワーキング会議等を中心に策定した。
- ②神栖市国民健康保険運営協議会への報告 本計画の作成方法やスケジュール等を神栖市国民健康保険運営協議会へ報告した。
- ③パブリックコメントの実施

神栖市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画(案)について、被保険者等から意見を求めるため、パブリックコメントを実施した。

# 2. 第2期特定健康診査等実施計画の評価

#### (1) 特定健康診査の取り組み及び健診データの評価について

#### ①未受診者対策

未受診者対策として、未受診者訪問を実施した。

平成26年度は、過去6年間未受診の方5,969人を対象に1,376人訪問し、平成27年度は過去3年間未受診の60歳の方4,234人を対象に920人訪問、平成28年度は4年間未受診で過去に受診歴がある45歳から60歳の方308人を対象に227人の訪問を実施した。

受診率は横ばいだが、健診を全く受けていない新規の方の受診があった。また、訪問を 実施することにより、未受診理由を把握することができた。中でも、医療機関通院中の方 が多く、アプローチの方法、医療機関との連携等が今後の課題である。

# ②特定健康診査結果の状況

特定健康診査結果から生活習慣病発症リスクとして、肥満・血圧・脂質・血糖に関する項目を国の定める保健指導判定値以上をリスク有りと判定し、受診者に占める割合をまとめた。

腹囲では、男性が50.0%以上、女性では19.0%以上が基準値を超えており、BMIでは、男性が35.0%以上、女性では20.0%以上がリスクを保有している。

血圧では、収縮期血圧が約30.0%以上、拡張期血圧が約10.0%以上リスクを有しており、 女性よりも男性がやや多い傾向である。

脂質に関するリスクでは中性脂肪が20.0%以上、HDLコレステロール2.0%以上、LDLコレステロールでは、男性45.0%以上、女性50.0%以上であり、女性が多い傾向である。

血糖では、糖尿病の指標であるHbA1cは男女とも増加傾向であり、男女とも55.0%以上がリスクを保有している。

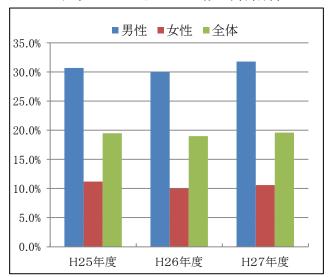
このようなことから、引き続き肥満・高血糖の予防を中心とした対策が必要である。

当市では、国の定める基準項目以外に、血清クレアチニン・尿酸・尿潜血を導入している。また、HbA1cを受診者全員に実施している。

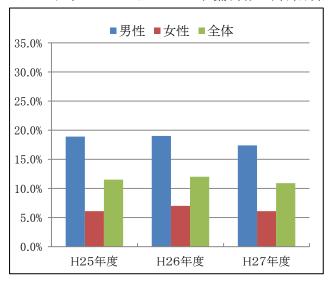
## (3) メタボリックシンドローム該当・予備群者減少率のデータ評価について

メタボリックシンドローム該当者割合では、男性30.0%以上、女性19.0%以上の方が該当し、横ばいの状況である。引き続き、予備群からの対策が必要である。

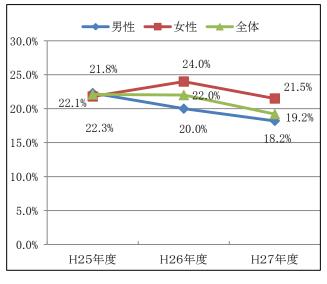
メタボリックシンドローム該当者割合



メタボリックシンドローム予備群該当者割合



メタボリックシンドローム該当者減少率



# 3. 特定健康診査の実施方法に関する基本的な事項

#### (1)神栖市国民健康保険の目標値

特定健康診査・特定保健指導の保険者全体の実施率の目標については、第1期ならびに 第2期の結果を踏まえて、市としての実施率の向上に向けて取組を進めていく必要がある ため、特定健康診査実施率45.0%以上、特定保健指導実施率は、市町村国保目標を達成す るために茨城県が設定した目標値60.0%以上とする。

#### (2)特定健康診査の実施方法

#### ①特定健康診査の基本的考え方

特定健康診査は、高血圧・糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的 として、メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣病を改善するための特定保健指導 対象者を抽出するために行うものである。

実施主体:医療保険者

対象:40歳以上74歳以下の被保険者・被扶養者

健診の内容:高血圧症、脂質異常症、糖尿病その他の内臓脂肪の蓄積に起因する生活習 慣病に関する健康診査を実施

#### ②健診の内容

#### ア. 健診項目

#### (ア)基本的な健診の項目

- •質問票(服薬歴、喫煙歴等)
- ・身体計測(身長、体重、BMI、腹囲)
- •理学的検査(身体診察)
- 血圧測定
- 血液検査
- ・脂質検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール)
- ・血糖検査(空腹時血糖またはHbA1c検査または随時血糖ただし食後3.5時間未満を 除く)
- ・肝機能検査(AST、ALT、γ-GTP)
- ・尿検査(尿糖、尿蛋白、\*尿潜血、\*尿酸)
- \*当市においては、平成20年度より、国の基準項目の他に「随時血糖検査、腎機能検査(血清クレアチニン検査、尿酸、尿潜血)を追加して実施している。平成30年度からは、集団健診受診者全員に心電図検査および眼底検査を実施する。

#### (イ)詳細な健診の項目(医師が必要と認める場合に実施)

- ・貧血検査 [赤血球数、血色素量(ヘモグロビン値)、ヘマトクリット値] 貧血の既往歴を有する者または視診等で貧血が疑われる者
- ・心電図検査 対象者は、当年度の特定健診の結果等で、血圧が受診勧奨判定値 以上の者または問診等で不整脈が疑われる者。収縮期血圧140mmHg以上または 拡張期血圧90mmHg以上
- ・眼底検査 対象者は、当年度の特定健康診査の結果等で、血圧または血糖検査が 受診勧奨判定値以上の者。収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上、 空腹時血糖が126mg/dl以上、またはHbA1c6.5%以上または随時血糖126mg/dl以上
- ・血清クレアチニン検査 [クレアチニン値、eGFR(推定糸球体濾過量)] 対象者は、当年度の特定健康診査の結果等で、血圧値または血糖が保健指導判定 値以上の者。収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上、空腹時血糖 が100mg/d1以上、またはHbA1c5.6%以上または随時血糖100mg/d1以上

#### イ. 健診形態と実施場所

健診形態と実施場所:市内公共施設などで実施する集団健診および個別に当市が委託 契約した医療機関健診のいずれかの方法を選び受診できる。

#### ウ. 健診の案内方法

特定健診の受診率向上につながるよう、対象者に受診券を発行する。その他、ホームページや広報紙等により周知を図る。

#### (3)特定保健指導の実施方法

#### ①特定保健指導の内容

健診の結果、健康の保持に努める必要がある者に対して特定保健指導を実施する。

目的:対象者が自らの健康状態を自覚し、生活習慣の改善のための自主的な取り組み を継続的に行うことができるようになること。

## ②特定保健指導の対象者と支援方法

#### ア. 特定保健指導の内容

#### 動機づけ支援

初回面接:医師・保健師・管理栄養士の面接支援(個別・グループ)により、対象者が自らの生活習慣病を振り返り、行動目標を立てる。

 $\downarrow$ 

保健師等による最終評価(3カ月後):個別支援・グループ支援・電話などにより、 身体状況や生活習慣に変化がみられたか確認する。

#### 積極的支援

初回面接:医師・保健師・管理栄養士の面接支援(個別・グループ)により、対象者が自らの生活習慣病を振り返り、行動目標を立てる。

3カ月以上の継続的な支援:「動機づけ支援」に加えて、対象者が自らの生活習慣を振り返り、行動目標を設定し、保健師等の支援のもと、目標達成へ向けた実践(行動)に取り組む。

2年連続して積極的支援に該当した場合、1年目に比べて2年目の状態が改善していれば、2年目の特定保健指導は、動機づけ支援相当とする。

 $\downarrow$ 

保健師等による最終評価(3カ月後):個別支援・グループ支援・電話などにより、 身体状況や生活習慣に変化がみられたか確認する。

# 4. 特定健康診査等の達成目標と取り組み

## (1)特定健康診査等の実施に係る目標

平成35年における神栖市国民健康保険目標として、特定健康診査実施率を45.0%、特定保健指導実施率を60.0%、平成25年度と比較したメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少率を25.0%とする。

## ①第3期計画の目標値

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査受診率	32. 0%	34. 0%	36. 0%	40.0%	43. 0%	45. 0%
特定保健指導 実施率	40.0%	43. 0%	46. 0%	50.0%	55. 0%	60.0%
メタボリック シンドローム 該当者及び 予備群の減少率						25. 0%

#### (2)受診率等の向上対策

#### ①特定健康診査受診率向上の取り組み

- ア. 特定健康診査の対象者に対して、受診券などを用いて周知を行い、被保険者が自らの健康状態を確認する機会として活用できるよう受診率の向上に努める。
- イ. 市のイベント等に機会を通じて特定健康診査制度の周知を図り健康への関心が高まるような情報提供や啓発を行う。
- ウ. 未受診者訪問を実施し、特定健康診査の目的や必要性・受診法方法などの詳細情報 を伝え、初回受診の掘り起こしを行う。
- 工. 今後もがん検診との併用健診を実施し、被保険者が利用しやすい健診体制を図る。
- オ. 心電図・眼底検査を全員に実施し、健診項目の充実を図る。
- カ. 未受診者に対しては、受診勧奨ハガキ通知などを行い、受診につなげるとともに、 食育サポーターなどの地区組織や関係課、医療機関と連携を図る。
- キ. 特定健康診査を受診した方を対象にインセンティブを与えるための「健康マイレー ジ事業」を実施する。

#### ②特定保健指導実施率向上の取り組み

- ア. 健診会場で初回面接を実施する。
- イ. 健診結果の経年的データやモバイル端末(iPad)を活用し、自らの生活習慣を見直 し、健康維持・管理につながるよう効果的な保健指導の実施に努める。
- ウ. 訪問活動による個別支援や健診結果説明会の開催、栄養教室、運動教室等の健康増進事業における健康教育と併用するなど、保健指導の機会をつくり、効果的な実施を目指す。
- エ. 最終評価を行う機会として、2次検査と保健指導を実施する。
- オ. 対象者の許可のもと、必要時には医療機関と連携をとり、対象者の健康状態に合わせた保健指導を実施する。
- カ. 筑波大学と協働で行っている疫学研究を継続実施し、健康課題を明確にし、効果的 な取り組みを推進する。

# 5. 個人情報の保護

特定健康診査・特定保健指導で得られる健康情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律(以下「個人情報保護法」という。)及び同法に基づくガイドライン並びに神栖市情報公開及び個人情報保護条例に関する条例(平成11年3月26日条例第1号)を踏まえた対応を行う。

特定健康診査等の実施結果は、国が定める標準的な電子データファイル仕様に基づく送 受信とする。

また、特定健康診査等に従事する職員及び特定健康診査等の委託先(データの管理を含む)については、業務を遂行するための個人情報について知り得ることとし、その情報を他に漏洩することがないよう守秘義務を課すこととする。

# 6. 特定健康診査等実施計画の公表・周知

法第19条第3項「保険者は、特定健康診査等実施計画を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない」に基づき、特定健康診査等実施計画を市ホームページ等に掲載する。

# 7. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

本計画について、年に1回、特定健康診査及び特定保健指導の実施結果や目標値の達成 状況についてまとめ、併せて、生活習慣病にかかる医療費などデータを集積し分析を行 い、課題を明らかにする。

評価及び見直し方法として、特定健康診査・特定保健指導の実施結果、医療費の分析に使用するデータについては、国保連合会と連携してデータを集計し、健康福祉部内ワーキング会議で課題を整理する。さらに、課題解決に向けた取り組みについて検討した後、神栖市国民健康保険運営協議会に報告して必要な審議を行う。

# 補足資料

## 1. 現状分析の方法

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理 システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行った。

#### ●医療費分解技術(特許第4312757号)

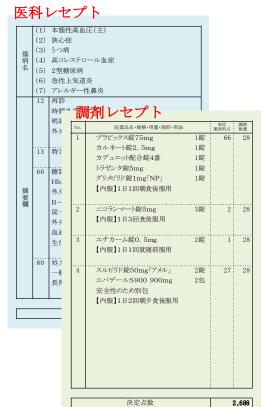
レセプトに記載されたすべての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

レセプトは傷病名毎に点数が振り分けられておらず、通常の統計資料は主傷病名で点数集計されている。そのまま分析に使用すると「傷病名毎の医療費が把握できない」「現在治療中の疾病が把握できない」等の問題がある。ここでは、株式会社データホライゾンにおいて開発した、傷病名毎に診療行為を点数分解し、グループ化する技術を用いて医療費の集計を行う。

#### ●未コード化傷病名のコード化

レセプトに記載されている未コード化傷病名を、可能な限りコード化する。

レセプトは請求情報のため、傷病名が正確でない場合があり、現状10%程度の未コード 化傷病名が含まれている。この問題を解決するため、マスタとの突合検索処理を行い、 可能な限りコード化を行う。



#### ①未コード化傷病名のコード化

未コード化傷病名を株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理しコード化する。

_			
	医科レセプトの記載		コード化
	(1)	本態性高血圧(主)	未コード化傷病名 ⇒ 8840107 本態性高血圧 <b>症</b>
	(2)	狭心症	4139007 狭心症
	(3)	うつ病	2961003 うつ病
	(4)	高コレステロール血症	2720004 高コレステロール血症
	(5)	2型糖尿病	2500015 2型糖尿病
	(6)	急性上気道炎	4659007 急性上気道炎
	(7)	アレルギー性鼻炎	4779004 アレルギー性鼻炎

#### ②医療費分解後グルーピング

レセプトに記載された全傷病名に対し、適応のある医薬 品や診療行為を関連付け、医療費を分解後、傷病ごとにグ ルーピングする。

	医科レセプトの記載	薬品	検査	診療行為	合計点数
(1)	本態性高血圧症(主)	184. 3	25. 2	266. 5	476.0
(2)	狭心症	963. 6	4. 7	61.0	1, 029. 3
(3)	うつ病	63. 7	0.3	11.0	75. 0
(4)	高コレステロール血症	858. 1	4. 1	57. 2	919. 4
(5)	2型糖尿病	618.3	356. 7	61.3	1, 036. 3
(6)	急性上気道炎	0.0	0.0	0.0	0.0
(7)	アレルギー性鼻炎	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計				

#### ●傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

例えば糖尿病の重症度を判定することで、将来の重症化予測や特定した対象患者の病期に合わせた的確な指導を行うことが可能となる。株式会社データホライゾンにおいて開発した傷病管理システムを用いて、糖尿病患者を階層化し特定する。

#### ●マスタの整備

マスタ(傷病名、医薬品、診療行為等レセプトに記載されるすべてを網羅したデータベース)を定期的にメンテナンスし最新状態に保つ。

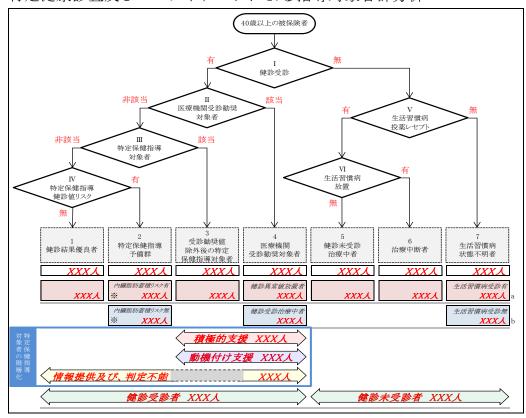
#### ●レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

レセプトに記載されている傷病名は、追記式のため、過去から現在までの傷病名が記載されており、その内、約4割が現在治療中でない傷病名といわれている。重症化予防や受診勧奨等、個別の保健事業の実施にあたっては、現在治療中の傷病名のみを取り出し、該当者を抽出する必要がある。前述の「医療費分解技術」では、当月の傷病名別にどのような医薬品や診療行為が使用されたのかは把握できたが、傷病の種類によっては、中長期にわたる投薬や診療がなされるため、必ずしもその傷病名がアクティブかノンアクティブかを識別することが困難だったが、当特許技術で解決した。

# 2.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



#### 【フロー説明】

I 健診受診

- …健診受診の有無を判定。
- Ⅱ医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者 に該当するか判定。

Ⅲ特定保健指導対象者

…厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該 当するか判定。

Ⅳ特定保健指導健診値リスク…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に 喫煙は含めない。

V生活習慣病投薬レセプト

…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。

VI生活習慣病放置

…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習 慣病放置の有無を判定。

#### 【グループ別説明】

健診受診あり

- 1. 健診結果優良者
- 2. 特定保健指導予備群

内臓脂肪蓄積リスク有

内臓脂肪蓄積リスク無

- …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
- …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)によ り保健指導対象者でない者。
- …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった
- …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指 導対象者にならなかった者。
- 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者…受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
- 4. 医療機関受診勧奨対象者

健診異常値放置者

健診受診治療中者

- - …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診が ない者。

…「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診が ある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もな いため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。

#### 健診受診なし

- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
- 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
- 7. 生活習慣病状態不明者…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
  - 生活習慣病受診有 …「7.生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。 …「7.生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。 生活習慣病受診無

# 3. 用語解説集

用語		説明
ア	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
行	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗 塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
力行	血圧(収縮期·拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低 く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
サ	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
行	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものが たまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
タ	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
行	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳~74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データへルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1:国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1~2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に 使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

# 3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頚管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴う団イルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の鏡発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
Ⅱ. 新生物	· <腫瘍>			
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頚癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	膵癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及び密の他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
Ⅲ. 血液及	び造血器の疾患髄びに免疫機構の障害			
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患・がに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌	,栄養及び代謝疾患			
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び付謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及	び行動の障害			
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害殴び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分 [感情] 障害 (躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害,ストレス関連障害吸び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系	- の疾患	<u> </u>		
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び	・ 付属器の疾患			
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VⅢ. 耳及び	乳様突起の疾患			
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器	系の疾患			
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化 (症)	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頚動脈狭窄症	頚動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化 (症)	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧 (症)	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器:	系の疾患			
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I . 消化	器系の疾患			
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎ロアルコール性のものを除く)	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変□アルコール性のものを除く)	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X Ⅱ. 皮膚	及び皮下組織の疾患			
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
XⅢ. 筋骨	格系及び結合組織の疾患			
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害 (脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頚椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頚椎椎間板ヘルニア
1305	頚腕症候群	頚肩腕症候群	頚肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頚部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
XIV. 腎尿	路生殖器系の疾患			
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類		主な疾病	
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	 尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大(症)	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性腟炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の癌患	子宮腟部びらん	細菌性腟炎	<b>膣</b> 炎
XV. 妊娠,	分娩及び産じょく			
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癎
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠,分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
XVI. 周産期	期に発生した病態			
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	ABO因子不適合
XVII. 先天音	・ 奇形,変形及び染色体異常			
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形、窗形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
ХⅧ. 症状,	徴候及び異常臨床団見・異常検査所見で他に分類	類含れないもの		
1800	症状,徴候及び異常臨床団見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
XIX. 損傷,	中毒及びその他の外因の影響			
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頚部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因囚影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
XXI. 健康	東状態に影響を及ぼす要因殴び保健サービスの利力	用		
2101	検査及び診査のための保健団ービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理節びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健団ービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービス四利用者	白内障術後	ペースメーカ植え込み後	人工股関節置換術後
XXⅡ. 特殊	集目的用コード			
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類	iに該当のない疾病	

# 神栖市国民健康保険 第2期データヘルス計画 第3期特定健康診査等実施計画

(計画期間:平成30年度~35年度)

≪平成30年3月≫

編 集:神栖市

住 所:〒314-0121茨城県神栖市溝口1746-1

電 話:国保年金課 0299-90-1142

健康増進課 0299-90-1331

FAX: 国保年金課 0299-90-1324

健康増進課 0299-90-1330

神栖市ホームページ: http://www.city.kamisu.ibaraki.jp